

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から 3 番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 11 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 11 月 1 日～12 月 1 日）	2
◇第二種研究会開催案内、発表募集案内	39
◇2013 年総合大会講演募集の御案内	46
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・ 関西支部 准員及び学生員のための講演会（後半）	47
電気四学会関西支部講演会「高齢者・障がい者の社会参加を支援するライフサポート型 ロボット技術、その最新動向と国際標準化」	47
・ 日本技術者教育認定制度（JABEE）審査講習会・受審校向け講習会	47
・ MWE 2012（2012 Microwave Workshops and Exhibition）日本産業新生—ここに生きてるマイクロ波技術—	48
・ HCG シンポジウム 2012～新たな流れを作り出すパワーを～	48
・ 本会が協賛等のもの	53
◇国際会議	54
◇論文賞候補論文推薦について	55
◇平成 24 年度エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 候補論文推薦について	57
◇受賞候補者募集等	58
◇求人欄	58
◇お知らせ	
・ 2013 年フェロー候補者推薦公募について	61
・ 「子供の科学教室基金」の募金活動について	61
・ 電子情報通信学会東京支部教育イベントの公募について	61
・ 和文論文誌 C 随時公開開始のお知らせ	61
・ 平成 24 年 11 月号及び 12 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	61
◇論文特集原稿募集	
・ Special Section on Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications（英文論文誌 NOLTA）	62
・ スマート通信・マルチメディアシステム小特集（英文論文誌 A）	63
・ 光応用電磁界計測技術の最新動向小特集（和文論文誌 B）	63
・ マイクロ波・ミリ波システムのための最新技術小特集（英文論文誌 C）	64
・ システム開発論文特集（和文論文誌 D）	65
◇論文特集論文募集カレンダー	66
◇通信ソサイエティマガジン年間購読申込みについて	68
◇各種証明，閲覧の手数料について	45
◇複写される方へ	54
◇総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	60

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会                      平成 24 年 11 月 1 日～12 月 1 日

開催プログラムは変更になることがあります。  
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。  
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

### ◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日	時	会 場	告頁
安 全 性	22日(木)	13:00~17:00	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	12
イメージ・メディア・クオリティ	23日(金)	13:00~16:15	千葉大学・西千葉キャンパス	12
回路とシステム システム数理と応用	1日(木) 2日(金)	13:30~17:20 9:30~14:45	岩手大学・工学部・一祐会館	前号
非 線 形 問 題	19日(月) 20日(火)	13:30~17:10 10:00~11:40	石巻専修大学	18
情報セキュリティ ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	21日(水) 22日(木)	13:50~17:00 10:20~16:50	静岡市産学交流センター	19
超 音 波	29日(木)	11:00~17:05	静岡大学・浜松キャンパス	19
信 頼 性	15日(木)	14:00~17:30	中央電気倶楽部	21
応 用 音 響 マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	16日(金) 17日(土)	9:30~18:10 9:30~15:50	大分大学・旦野原キャンパス	29
ワイドバンドシステム I T S	26日(月) 27日(火)	13:00~17:30 10:00~15:05	熊本大学・黒髪南地区	34
VLSI 設計技術 電子部品・材料 集 積 回 路 コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング リコンフィギュラブルシステム	26日(月) 27日(火) 28日(水)	10:30~17:15 9:00~18:00 9:00~17:15	九州大学・医学部・百年講堂	35
今後の予定；回路とシステム (38 ページ)				
11 月休会の研究会；情報理論，信号処理，思考と言語，技術と社会・倫理，スマートインフォメディアシステム				

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日	時	会 場	告頁
フォトニックネットワーク	6日(火)	10:00~16:10	日本女子大学・目白キャンパス	5
電子通信エネルギー技術	8日(木) 9日(金)	13:00~17:00 10:20~16:30	機械振興会館	7
アンテナ・伝播 無線通信システム	14日(水) 15日(木) 16日(金)	13:00~16:50 9:00~18:00 9:10~17:05	東京電機大学・東京千住キャンパス	8
宇宙・航行エレクトロニクス	30日(金)	13:00~17:40	千葉大学・西千葉キャンパス・けやき会館	12
通 信 方 式	21日(水) 22日(木)	9:00~12:10 9:00~11:30	北湯沢温泉・湯元名水亭	14
インターネットアーキテクチャ	19日(月)	13:30~18:45	かんぼの宿いわき	18
ネットワークシステム コミュニケーションクオリティ 情報通信マネジメント	15日(木) 16日(金)	9:00~17:20 9:00~17:10	長浜バイオ大学・命北館	22
情報ネットワーク モバイルマルチメディア通信	21日(水) 22日(木)	13:30~18:25 9:30~14:55	福岡工業大学・FIT ホール	31
光通信システム 光ファイバ応用技術	21日(水) 22日(木)	13:00~18:05 9:00~14:40	市民会館崇城大学ホール	32
11 月休会の研究会；衛星通信，環境電磁工学，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
電子ディスプレイ	6日(火)	10:00~17:05	工学院大学・新宿キャンパス	5
電子ディスプレイ	7日(水)	13:00~17:00	機械振興会館	5
シリコン材料・デバイス	15日(木) 16日(金)	10:00~15:45 10:00~16:10	機械振興会館	10
磁気記録・情報ストレージ	16日(金)	13:00~17:25	早稲田大学・研究開発センター	11
有機エレクトロニクス 光エレクトロニクス	16日(金)	13:00~16:10	機械振興会館	11
機構デバイス	30日(金) 12月1日(土)	10:00~17:40 10:00~16:50	千葉工業大学・津田沼キャンパス	13
マイクロ波・ミリ波フォトニクス	8日(木)	13:30~17:15	京都工芸繊維大学・松ヶ崎キャンパス	21
有機エレクトロニクス	19日(月)	10:00~16:40	大阪大学・中之島センター	23
電子デバイス	19日(月) 20日(火)	14:00~16:45 9:30~11:50	大阪大学・中之島センター	24
電子デバイス 電子部品・材料 レーザー・量子エレクトロニクス	29日(木) 30日(金)	10:00~16:40 9:30~17:40	大阪市立大学・学術情報総合センター	24
電磁界理論	15日(木) 16日(金) 17日(土)	9:30~17:25 9:30~17:20 9:30~11:10	阿蘇プラザホテル	28
マイクロ波	21日(水) 22日(木)	13:30~17:10 9:00~15:00	石垣市民会館	33
電子部品・材料 集積回路 VLSI設計技術 コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング リコンフィギュラブルシステム	26日(月) 27日(火) 28日(水)	10:30~17:15 9:00~18:00 9:00~17:15	九州大学・医学部・百年講堂	35
11月休会の研究会;超伝導エレクトロニクス, エレクトロニクスシミュレーション				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
情報論的学習理論と機械学習	7日(水) 8日(木) 9日(金)	9:20~18:00 9:20~17:30 9:30~17:30	筑波大学・東京キャンパス文京校舎	6
ソフトウェアインタプライズモデリング	30日(金)	10:30~16:50	東海大学・高輪キャンパス	13
音 声	8日(木) 9日(金)	10:30~17:30 9:45~16:00	東北工業大学・一番町ロビー	15
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	16日(金) 17日(土)	10:00~17:25 9:30~16:10	東北大学・青葉山キャンパス	16
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 情報セキュリティ	21日(水) 22日(木)	13:50~17:00 10:20~16:50	静岡市産学交流センター	19
知能ソフトウェア工学	22日(木) 23日(金)	9:30~17:50 10:00~16:15	金沢大学・角間キャンパス	20
サービスコンピューティング	16日(金)	13:00~16:50	京都大学・学術情報メディアセンター	23
ソフトウェアサイエンス	1日(木) 2日(金)	10:00~16:55 9:20~17:30	広島市立大学	26
情報通信システムセキュリティ	22日(木)	10:45~17:15	国民宿舎みやじま杜の宿	27
画 像 工 学	15日(木) 16日(金)	14:30~17:40 9:30~11:50	鹿児島大学・工学部・情報工学科棟	27
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント 応 用 音 響	16日(金) 17日(土)	9:30~18:10 9:30~15:50	大分大学・旦野原キャンパス	29
教 育 工 学	17日(土)	10:30~17:15	佐賀大学・本庄キャンパス	30

人工知能と知識処理	26日(月)	13:00~17:20	九州大学・伊都キャンパス	34
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング リコンフィギャラブルシステム VLSI設計技術 電子部品・材料 集積回路	26日(月) 27日(火) 28日(水)	10:30~17:15 9:00~18:00 9:00~17:15	九州大学・医学部・百年講堂	35
今後の予定；パターン認識・メディア理解 (38ページ)				
11月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション，コンピューテーション，データ工学，パターン認識・メディア理解，医用画像，クラウドネットワークロボット				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
ヒューマン情報処理	14日(水) 15日(木)	13:00~17:55 9:00~15:10	東北大学・電気通信研究所	16
11月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

無線電力伝送研究会 (WPT)	11月8日(木), 9日(金)	機械振興会館	7
第2回安全・安心な生活のための情報通信システム研究会	11月15日(木), 16日(金)	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	39
複雑コミュニケーションサイエンス研究会 (CCS) 日韓合同ワークショップ	11月22日(木), 23日(金)	韓国・漢陽大学・ソウルキャンパス	40
5th Pan-Pacific EMC Joint Meeting—PPEMC'12—	11月29日(木), 30日(金)	情報通信研究機構	40
第5回集積光デバイスと応用技術研究会	12月6日(木)	JR博多シティ会議室	42
第26回光通信システムシンポジウム	12月13日(木), 14日(金)	東レ総合研修センター	42

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	12月13日(木)	大阪大学・吹田キャンパス	43
第18回ネットワークソフトウェア研究会	1月18日(金)	KDDI 研究所	44

## ★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

日時 11月6日(火) 10:00~16:10

会場 日本女子大学目白キャンパス(文京区目白台2-8-1. JR山手線:目白駅下車徒歩約15分. <http://www.jwu.ac.jp/grp/access.html>)

議題 IPバックボーンネットワーク, MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク及び一般

### 1. Analytical Models for L2 versus L3 QoS Provisioning

○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・

Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

### 2. IP fast reroute の予備ルートを活用した負荷分散方式における分散値決定方法

○新井 裕・大木英司(電通大)

### 3. Performance Evaluation for Median-Pump Wavelength Assignment Scheme in Optical Networks with Parametric Wavelength Conversion

Nattapong Kitsuwat

○Maesaporn Leelasetakul

Eiji Oki (Univ. of Electro-Comm.)

### 4. クロック回復なしのデータ回復

太田昌孝(東工大)

午後(12:40~)

### 5. 環境変動に容易に対応可能な仮想ネットワーク構成

○吉成正泰・大下裕一・村田正幸(阪大)

### 6. 広域同期型光スイッチ網における高精度時刻同期手法の検討

○楠田考広・岡本佳祐・高橋達郎(京大)

### 7. ファイバブラッググレーティング型光相関器の位相誤差推定

○飯島 理・埜 雅典(山梨大)

### 8. 位相非同期型光スイッチ網におけるタイムスロット割り当てアルゴリズムの検討

○岡本佳祐・高橋達郎(京大)

### 9. マルチレーン転送を用いた容量可変光トランスポートにおける個別レーン監視・通知方法の検討

○北村 圭・

山田義朗・久留賢治・手島光啓(NTT)

### 10. [招待講演] 欧米における将来ネットワークへの取組みと光デバイス技術への期待

築島幸男(NTT)

☆PN研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス[未定]

テーマ: フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大木英司(電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩(名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

## ★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子

幹事 伊達宗和・山口雅浩

幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・

新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 11月6日(火) 10:00~17:05

会場 工学院大学新宿キャンパス 3F アーバンテックホール(新宿区西新宿1-24-2. 新宿駅下車西口より徒歩5分. <http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>)

議題 高臨場感ディスプレイフォーラム2012

### 1. [招待講演] 高臨場感映像技術の応用に向けて

妹尾 宏(NHK エン지니어リングサービス)

### 2. [招待講演] 3D裸眼映像伝送「daVinci」によるLive手術

中村康則(FA・システムエンジニアリング)

### 3. [招待講演] 臨場感の設計・評価に関する新たなパラダイム

河合隆史(早大)

午後(14:10~)

### 4. [招待講演] 代替現実(SR)システムにおける現実感と臨場感

脇坂崇平(理研)

### 5. [招待講演] 五感ディスプレイと感覚間相互作用

鳴海拓志(東大)

### 6. [招待講演] 視聴覚情報の迫真性と臨場感

鈴木陽一(東北大)

### 7. [招待講演] 超臨場感コミュニケーションの可能性

榎並和雅(NICT)

◆電気学会; 電子デバイス委員会インタラクティブディスプレイ協同研究委員会, 映像情報メディア学会; 映像表現&コンピュータグラフィックス研究会/情報ディスプレイ研究会/立体映像技術研究会連催. 画像電子学会; 企画委員会, 日本バーチャルリアリティ学会共催. 映像情報メディア学会; メディア工学研究委員会, SID日本支部, 画像電子学会; 多次元画像研究委員会, 芸術科学会, 3Dコンソーシアム, 三次元映像のフォーラム, 照明学会; 固体光源分科会, 電子情報通信学会; 画像工学研究専門委員会, 日本映画テレビ技術協会, 日本液晶学会, 日本光学会; ホログラフィックディスプレイ研究会, 立体映像産業推進協議会, 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム協賛(予定を含む)

◎12:10~14:10 講演者と展示参加企業によるデモ展示を, 研究会終了後懇親会(有料)を予定しています.

◎タイトル, 開始時刻, 講演順は変更になることがあります. 最新情報は共催/連催学会のホームページで御確認下さい.

【問合せ先】

小黒久史(凸版印刷)

E-mail: Hisashi.Oguro@toppan.co.jp

## ★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子

幹事 伊達宗和・山口雅浩

幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・

新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 11月7日(水) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下3階1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒

歩 20 分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅  
下車徒歩 10 分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

#### 議題 IMID'12 報告会

1. OLED 関係 佐土貴康 (出光興産)
2. LC 関係 木村宗弘 (長岡技科大)
3. FLX 関係 本村玄一 (NHK)
4. TFT 関係 日野 綾・林 和志 (神戸製鋼)
5. Emissive display 関係 高橋儀宏 (東北大)
6. 3D 関係 妹尾孝憲 (NICT)
7. Display elec. 関係 服部励治 (九大)

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催. SID 日本支部, 照明学会; 固体光源分科会共催

### ★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之  
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

日時 11月7日(水) 9:20~18:00  
8日(木) 9:20~17:30  
9日(金) 9:30~17:30

会場 筑波大学東京キャンパス文京校舎

議題 第15回情報論的学習理論ワークショップ

7日午前 企画セッション1 学習理論のフロンティア

7日午後(13:20~) 企画セッション2 ビジネスと機械学習の  
接点

ポスターセッション(1) (15:30~18:00)

1. No Bias Left Behind: Covariate Shift Adaptation for Discriminative 3D Pose Estimation ○Makoto Yamada (NTT)・Leonid Sigal・Michalis Raptis (DRP)
2. 大画像の複層ベイズ超解像と位置ずれ推定に関する検討 ○木下俊貴・三好誠司 (関西大)
3. 異常箇所同定のためのグラフィカルモデルの学習 ○原 聡・鷲尾 隆 (阪大)
4. サブセット無限関係モデル ○石黒勝彦・上田修功・澤田 宏 (NTT)
5. Perplexity on Reduced Corpora Hayato Kobayashi (Toshiba)
6. 混合ベルヌーイ分布の変分ベイズ学習におけるモデル選択 ○大工廻和美・渡辺澄夫 (東工大)
7. マルコフ決定過程におけるロバスト性とリスク嗜好性 恐神貴行 (日本 IBM)
8. 二次形式の大域的最適化によるクラスタリング 広瀬俊亮 (SAS)
9. 変分ベイズ法の局所解における自由エネルギーと汎化誤差の関係 ○中村文士・渡辺澄夫 (東工大)
10. Stacked Nonnegative Matrix Factorization とそのマイクロプロゲデータ解析への応用 ○竹内 孝・石黒勝彦・木村昭悟・澤田 宏 (NTT)
11. 自由エネルギーによる潜在変数推定精度の計算法 ○山崎啓介 (東工大)・渡辺一帆 (奈良先端大)・梶 大介 (エニカミ/リタエムジ)
12. テキスト分類問題におけるカテゴリ情報を用いた適応的距離学習に関する一考察 ○三川健太・石田 崇・後藤正幸・平澤茂一 (早大)

13. 半正定値行列の差分プライバシー 佐久間 淳 (筑波大)
14. 交通流の時空図における ZRP のパラメータ推定と能動学習 ○小林浩一・山崎啓介 (東工大)
15. Regularization of Restricted Boltzmann Machine Learning through entropy minimization ○Taichi Kiwaki・Takaki Makino・Kazuyuki Aihara (Univ. of Tokyo)
16. プライバシー保護を目的とした線形回帰モデルにおける最小二乗推定量の分散計算法について ○須子統太・堀井俊佑 (早大)・小林 学 (湘南工科大)・後藤正幸・松嶋敏泰・平澤茂一 (早大)
17. Dictionary Learning におけるサンプル複雑度の典型時解析 ○坂田綾香・樺島祥介 (東工大)
18. 音楽音響信号解析のためのガンマ過程に基づく無限複合自己回帰モデル ○吉井和佳・後藤真孝 (産総研)
19. Gaussian process regression を用いた確率的方策に対する方策勾配法 ○中村 泰・石黒 浩 (阪大)
20. ベイジアンネットワークを用いた LDA の特徴選択 ○大畑亮介・植野真臣 (電通大)
21. Online Large-margin Weight Learning for First-order Logic-based Abduction ○Naoya Inoue・Kazeto Yamamoto・Yotaro Watanabe・Naoaki Okazaki・Kentaro Inui (Tohoku Univ.)
22. ハッシュ関数を用いた Gaussian Process Regression の高速化 ○岡留有哉・中村 泰・石黒 浩 (阪大)
23. 入れ子階層ディリクレ過程による文書-トピック同時クラスタリング ○富永将至・下坂正倫・福井 類・佐藤知正 (東大)
24. 重み付き最尤推定に基づく方策探索法 ○植野 剛 (JST)・林 浩平 (東大)・鷲尾 隆・河原吉伸 (阪大)
25. ラベル伝播アルゴリズムにおける複数グラフのスパース結合法 ○鳥山昌幸・馬見塚 拓 (京大)
26. 有限客数待ち行列のモデル解析 ○阿座上誠也・池田成夫・井上真郷 (早大)
27. 類似検索におけるプライバシー漏えいの評価及び差分プライバシーの保証 ○荒井ひろみ (理研)・佐久間 淳 (筑波大)
28. 潜在クラス型階層ベイズプロビットモデルによる大規模購買行動モデル ○石垣 司・照井伸彦 (東北大)・佐藤忠彦 (筑波大)
29. データ分布の2次モーメントのみにもとづくバイナリコーディング手法 ○鈴木幸一郎・安倍 満・佐藤育郎 (フェソ-IT ラボ)
30. ユーザのステレオタイプに基づく推薦 ○納 竜也・佐久間 淳 (筑波大)
31. 潜在トピックモデルの漸近解析 ○加藤嘉浩・植野真臣 (電通大)

8日午前 企画セッション3 ヘルスケアと機械学習

8日午後 特別招待講演 (13:30~)

1. Learning with structured sparsity in computational biology Jean Philippe Vert (Mines ParisTech/Institut Curie)
- ポスターセッション(2) (15:00~17:30)
2. 論文精読によるシステムズのシステム工学一言語という複雑系システムを解析する手法の提案— 得丸公明 (システムエンジニア)
  3. Classification and Numbering on Posterior Dental Radiography using Histogram Intersection Agus Zainal Arifin・Ahmad Mustofa Hadi・Anny Yuniarti・

- Wijayanti Nurul Khotimah・Arya Yudhi Wijaya (ITS)・  
Eha Renwi Astuti (Unair)
4. On Dimensionality Recovery Guarantee of Variational Bayesian PCA  
○Shinichi Nakajima (Nikon)・  
Ryota Tomioka (Univ. of Tokyo)・  
Masashi Sugiyama (Tokyo Inst. of Tech.)・  
S. Derin Babacan (Illinois Univ.)
5. Concurrent Q Learning と Sarsa, Q 学習の動的環境への適応能力  
○村上和謙・尾関智子 (東海大)
6. Efficient AUC Maximization by Approximate Reduction of Ranking SVMs  
○Daiki Suehiro・Kohei Hatano・  
Eiji Takimoto (Kyushu Univ.)
7. 線形代数的アプローチによるノード置換不変な行列カーネルの構成  
広瀬俊亮 (SAS)
8. 逐次的な重点サンプリングを用いた WAIC 計算法  
○三木拓史・渡辺澄夫 (東工大)
9. パス追跡を用いた再重み付け L1 最小化アルゴリズム  
○新村祐紀・竹内一郎 (名工大)
10. 緩和マルチインスタンス SVM  
○石原直樹・  
久留美里織・竹内一郎 (名工大)
11. パラメトリック計画法を用いた SVM ブートストラップ計算の高速化  
○鈴木良規・小川晃平・竹内一郎 (名工大)
12. 圧縮センシングに基づく自由視点画像合成の高効率化  
○苦米地 大・保坂忠明・浜本隆之 (東京理科大)
13. An Efficient Sampling Algorithm for Bayesian Variable Selection  
○Takamitsu Araki・Kazushi Ikeda (NAIST)
14. 事後確率最大化推定に基づく圧縮センシングのデータ復元アルゴリズム  
○竹田晃人・樺島祥介 (東工大)
15. 疎データに対する並列確率勾配法のための属性割当最適化  
○林 浩平 (東大)・藤巻遼平 (NECLA)
16. 新グラフィカルモデル「発火過程ネットワーク」—学習が簡単な新モデル—  
○高嶋一哉・赤穂昭太郎 (産総研)
17. 漸近展開による近似精度の予測可能性  
○野村亮介 (東大)・日野英逸・村田 昇 (早大)・  
吉田朋広 (東大)
18. 収益率が相互に影響する銘柄群と複数の制約条件を持つポートフォリオ最適化問題の情報統計力学  
新里 隆 (秋田県立大)
19. Usage of Winnowing Algorithms and WordNet for Recognizing the Possibilities of Paraphrasing Sentences in Academic Papers  
○Diana Purwitasari・Achmad Affandi・  
Umi Laili Yuhana・Daniel Oranova Siahaan (ITS)・  
Yoshifumi Chisaki・Tsuoyoshi Usagawa (Kumamoto Univ.)
20. [ポスター講演] スパースコーディングにおける基底生成のための単一母基底の学習  
○有竹俊光・日野英逸・  
村田 昇 (早大)
21. 特定物体認識とマルコフ確率場によるモノクロ画像の自動彩色法  
○松尾 恒・牧野貴樹 (東大)
22. 線形回帰モデルにおける NC スペクトラルクラスタリングを用いた入力変数選択  
○藤原幸一 (京大)・  
澤田 宏 (NTT)・加納 学 (京大)
23. M 元位相偏移変調による CDMA 通信のレプリカ解析  
○加藤弘之 (関西大)・岡田真人 (東大/理研)・  
三好誠司 (関西大)
24. フィードバックを導入した半教師付きガウス過程回帰  
○カク シンロ (神戸大)・安村禎明 (芝浦工大)・

- 上原邦昭 (神戸大)
25. ロジスティック回帰モデルを組み合わせた順序回帰モデルと高速な疎 Bayes 学習  
○長島主尚・井上真郷 (早大)
26. 経路アノテーションからの学習による無線 LAN 位置推定の簡易な構築  
○川尻亮真・下坂正倫・福井 類・  
佐藤知正 (東大)
27. 解の多重度を考慮した混合分布モデルはより良い解をもたらす  
古川徹生 (九工大)
28. Characteristic kernels for compact groups  
○Pierre Chiche・Kenji Fukumizu (ISM)
29. Passive aggressive タイプアルゴリズムを利用したロジスティック回帰  
北原洋一 (東芝)
30. MCMC Strategy for Protein Complex Prediction Using Cluster Size Frequency  
Daisuke Tatsuke・  
○Osamu Maruyama (Kyushu Univ.)
31. Cavity 法による次数相関のある相互依存型ネットワークの解析  
○渡辺駿介・樺島祥介 (東工大)
- 9 日午前 企画セッション4 マルチメディアと機械学習  
9 日午後 オーラルセッション  
テクニカルトラック/インダストリアルトラックから選出された発表数件の口頭発表  
企画セッション5 気候変動問題に挑む機械学習  
◎ポスターセッションには上記に発表に加え、ディスカッショントラック及びインダストリアルトラックの発表が含まれます。  
◎8 日の発表終了後、ディスカッションと夕食会が開催されます。

### ★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智  
幹事 石塚洋一・馬場崎忠利

### ★無線電力伝送研究会 (WPT) (第二種研究会)

専門委員長 藤野義之 副委員長 篠原真毅  
幹事 袁 巧微・小紫公也 幹事補佐 三谷友彦・平山 裕

◎本研究会は EE 研究会と WPT 研究会 (第二種) の併催です。  
研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11 月 8 日 (木) 13:00~17:00  
9 日 (金) 10:20~16:30

会場 機械振興会館地下 3 階 6 号室 (8 日), 地下 3 階 2 号室 (9 日)

議題 回路・制御技術関連, 無線電力伝送, 一般

8 日

WPT-1. [特別講演] ワイヤレス電力伝送における効率向上—電磁誘導 (LC ブースター) 方式を例に—  
○松木英敏・  
田倉哲也・佐藤文博 (東北大)

WPT-2. [特別講演] EV 用ワイヤレス給電システムにおける効率向上  
高橋俊輔 (昭飛)

WPT-3. [特別講演] 高周波パワーエレクトロニクスによる ZVS 共鳴型ワイヤレス給電の結合係数を用いた設計理論  
細谷達也 (村田製作所)

WPT-4. [特別講演] EV・PHV 向けワイヤレス給電システムの概要・開発動向と今後の課題  
漆畑栄一 (パナソニック)

WPT-5. [特別講演] 無線電力伝送研究会と世界の無線電力伝

送学会の現状 篠原真毅 (京大)

9 日午前

EE-1. LC 相殺を用いたワイヤレス給電について

○河村祐輔・庄山正仁 (九大)

EE-2. 高周波非接触給電向け入力インピーダンス整合形 AC-DC コンバータの動作解析

○日下佳祐・伊東淳一 (長岡技科大)

EE-3. ポータブル機器間の双方向の非接触充電の検討

○三浦慎平・西嶋仁浩・佐藤輝被・鍋島 隆 (大分大)

EE-4. 固定周波数電流複共振 ZVS コンバータに関する FFT 電力解析

○志治 肇・細谷達也 (村田製作所)

WPT-5. 環境の変化に対して安定な結合共振器型 WPT システム

○澤原裕一・石崎俊雄 (龍谷大)・粟井郁雄 (リユテック)

WPT-6. 同軸誘電体共振器と分散キャパシタにより高効率化を図ったマイクロ波帯レクテナ

○山下知紘・本田和博・小川晃一 (富山大)

WPT-7. SPS 小型実証実験衛星搭載用アンテナにおけるアンテナ素子配列の検討

○井上史也 (東京理科大)・田中孝治・牧 謙一郎 (JAXA)・高橋将司 (東京理科大)・宮代健吾 (東大)・村口正弘 (東京理科大)・佐々木 進 (JAXA)

WPT-8. ZigBee 端末への間欠マイクロ波電力伝送のための受電装置の改良

○市原卓哉・三谷友彦・篠原真毅 (京大)

WPT-9. シーケンシャル回転アレーアンテナを用いた MAV への無線電力伝送

○宮代健吾 (東大)・井上史也 (東京理科大)・牧 謙一郎・田中孝治・佐々木 進 (JAXA)・小紫君也 (東大)

EE-10. 複数個の 2 次コイルで受電するワイヤレス給電システムに適用可能な等価回路

○安倍秀明・入江健一・辻本豊彦・後藤弘通・坂本慎司・藪田 明 (パソニック)

EE-11. 5 エレメント複合共振形 DC-DC コンバータの定常動作解析

○水谷大斗・三島智和 (神戸大)・福本佳樹 (ダイハツ)・中岡陸雄 (慶南大)

EE-12. デジタル制御方式電流臨界モード AC-DC コンバータの基本特性について

黒川不二雄・○上野孝太 (長崎大)

◆IEEE Power Electronics Society Japan Chapter 共催

☆EE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 阿蘇ファームランド [11 月 10 日 (土)] テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

馬場崎忠利 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4872, FAX [0422] 59-5682

E-mail: babasaki@m.ieice.org

☆WPT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 6 日 (木) 横須賀リサーチパーク [締切済] テーマ: 無線電力伝送, 一般

【問合先】

平山 裕 (名工大)

E-mail: wpt@mail.ieice.org

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

## ★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

○本研究会は A・P 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11 月 14 日 (水) 13:00~16:50

15 日 (木) 9:00~18:00

16 日 (金) 9:10~17:05

会場 東京電機大学東京千住キャンパス 1 号館 1 階百周年ホール (第 1 会場・第 2 会場・共通会場) (足立区千住旭町 5。JR, 東京メトロ, 東武, つくばエクスプレス: 北千住駅東口から徒歩 1 分。 [http://atom.dendai.ac.jp/info/access/senju\\_map.html](http://atom.dendai.ac.jp/info/access/senju_map.html) TEL [03] 5284-5510 小林岳彦)

議題 アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

14 日 IEEE AP-S Japan Chapter 40 周年特別講演 第 1 会場

A・P-1. [招待講演] これからのアンテナ (口頭発表)

新井宏之 (横浜国大)

A・P-2. [招待講演] 新たな時代に対応した移动通信電波伝搬技術 (口頭発表)

藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)

A・P-3. [招待講演] ワイヤレス電力伝送技術の実用化に向けた課題と取り組み (口頭発表)

庄木裕樹 (東芝)

A・P-4. [招待講演] アジアにおける主要会議としての ISAP (アンテナ伝播国際会議) の挑戦と, IEEE APS 及び EUCAP との持続的な協力 (口頭発表)

安藤 真 (東工大)

15 日午前 AP1 第 1 会場 (9:00~10:40)

A・P-1. 屋内マルチセル環境下におけるチルト制御による協調干渉マネジメント

○村上友規・工藤理一・

石原浩一 (NTT)・本間尚樹 (岩手大)・溝口匡人 (NTT)

A・P-2. 2 ステージ法による簡易型 MIMO-OTA 評価のシミュレーション手法とアンテナカップリング特性評価への応用

○孫 桂江・中田克弘 (電通大)・大島一郎 (電気興業)・唐沢好男 (電通大)

A・P-3. 空間減結合と素子間減結合を併用した基地局間減結合の実験評価

○六戸洗太・西森健太郎 (新潟大)・本間尚樹・八巻直也 (岩手大)・川原理彰・牧野秀夫 (新潟大)

A・P-4. 固有モード伝送を用いた中継局送受信機間の干渉低減法の提案

○白井孝明・西森健太郎 (新潟大)・本間尚樹 (岩手大)・牧野秀夫 (新潟大)

RCS1 第 2 会場 (9:25~10:40)

RCS-5. Spatial Modulation のための符号化変調

○橋本樹明・石井光治 (香川大)

RCS-6. アクティブタグシステムにおけるタグ間欠受信方式の一検討

○落合麻里・平 明德・石津文雄 (三菱電機)

RCS-7. 差動時空ブロック符号化のための判定帰還伝送路予測による復調方式

久保博嗣 (立命館大)

AP 研/RCS 研チュートリアル講演 共通会場 (11:00~11:50)

共通-8. [チュートリアル講演] 多重波伝搬環境における OFDM 伝送

藤元美俊 (福井大)



15 日午後 MU-MIMO 技術特集セッション1 共通会場

(13:00~14:30)

共通-9. [依頼講演] マルチユーザ MIMO で有効となるデータ数に関する考察 西森健太郎 (新潟大)

共通-10. [依頼講演] 伝搬路の時間変動に耐性のあるマルチユーザ MIMO のためのアンテナ構成に関して 阪口 啓 (阪大)

共通-11. [依頼講演] チャネル情報圧縮と非線形プリコーディングを用いたマルチユーザ MIMO テストベッドの開発

○畑川養幸・松本知子・北川幸一郎・小西 聡 (KDDI 研)

MU-MIMO 技術特集セッション2 共通会場 (14:40~16:10)

共通-12. [依頼講演] 小セル環境への適用に向けた非線形マルチユーザ MIMO システムの研究開発—効果と実用化に向けた課題— ○矢野一人・菌部聡司・俣 亜飛・塚本悟司・伴 弘司・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

共通-13. [依頼講演] 次世代無線 LAN におけるマルチユーザ MIMO 及びセル間干渉制御技術 ○石原浩一・村上友規・浅井裕介・市川武男・溝口巨人 (NTT)

共通-14. [依頼講演] LTE-Advanced 下りリンクにおける固有値分解に基づく CSI フィードバックを用いるマルチユーザ MIMO の屋内及び屋外実験 ○川村輝雄・井上祐樹・齊藤敬佑・安川真平・安藤英浩 (NTT ドコモ)

RCS 研 招待講演 共通会場 (16:20~17:10)

RCS-15. [招待講演] 移動通信のセル構成と基地局アンテナ技術 中野雅之 (KDDI 研)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演 (Fellow 受賞記念) 共通会場 (17:10~18:00)

共通-16. [特別講演] 表面波アンテナと光導波路の接点 (口頭発表) 山内潤治 (法政大)

16 日午前 AP2 第1会場 (9:10~10:50)

A・P-1. 広帯域直交偏波共用導波管開口アンテナの設計 ○丸山貴史・高橋智宏・山口 聡・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

A・P-2. Dogbone 構造を用いた表面波アンテナの指向性制御 ○田之頭優太・福迫 武 (熊本大)

A・P-3. 衛星搭載 X/Ka 帯共用カセグレンアンテナ1次放射器の試作結果 ○加藤優一・小林岳彦 (東京電機大)・富木淳史・戸田知朗 (JAXA)・武田茂樹・鹿子嶋憲一 (茨城大)

A・P-4. AMC 反射板付ダイポールアンテナのための AMC 反射板の最適構成 ○村上靖宜・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)

URSI-F 特別講演 第1会場 (11:00~11:50)

A・P-5. [特別講演] ITU-R における電波伝搬技術の標準化動向 (口頭発表) 佐藤明雄 (東京工科大)

RCS2 第2会場 (9:30~10:20)

RCS-6. 双方向 2-timeslot OFDM リレー伝送におけるフィードバックを不要とする高効率チャネル推定手法の一検討

○興水佑太・岡本英二 (名工大)

RCS-7. マルチユーザ MIMO ダウンリンクチャネルにおける統計的 CSI を用いた最適な送信機設計 ○近藤寛和・石井光治・生越重章・浅野裕俊 (香川大)

RCS3 第2会場 (10:30~11:45)

RCS-8. 量子化雑音影響下における MIMO 差動符号化 GMSK 適応等化方式の特性評価 ○福永龍太・牟田 修・古川 浩 (九大)

RCS-9. Vector perturbation における拡張信号点空間上の信号

点シンメトリ配置方式の提案 ○菌部聡司・塚本悟司・前田隆宏・俣 亜飛・矢野一人・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

RCS-10. Excess-Bandwidth Joint Transmit/Receive Frequency-Domain Equalization for Single-Carrier Transmission

○Amnart Boonkajay・Tatsunori Obara・Tetsuya Yamamoto・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

16 日午後 AP3 第1会場 (13:00~14:15)

A・P-11. A Shared Aperture Transparent MIMO Antenna ○Shinduja Patchakani・Yoshihiko Kuwahara (Shizuoka Univ.)

A・P-12. MIMO 用偏波合成型オムニアンテナの検討—無給電素子付きクロス U 形ダイポールのシミュレーション検討—

○大島一郎 (電気興業)・唐沢好男 (電通大)

A・P-13. 磁界共振方式を用いた無線電力伝送における位置誤差耐性向上 ○上田典明・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)・田端隆伸・堀 智 (小島ガス)

AP4 第1会場 (14:25~16:05)

A・P-14. 見通し内・外環境における移動時の MIMO チャネル特性—アンテナ構成と相関係数— ○永島 拓・丸山雅弥・中林寛暁・小園 茂 (千葉工大)

A・P-15. 遅延の広がり OFDM のガードインターバルを超えるマルチパス環境における最大比合成ダイバーシチ特性の等価伝送路モデルによる解析 ○鄭 鶯仙・唐沢好男 (電通大)

A・P-16. A Reverberation Chamber to Realize Multipath-Rich Environment [IV]—Frequency Dependence of Propagation Characteristics in the Chamber—

○Fatahuddin Tamrin (Univ. of Electro-Comm.)・Ichiro Oshima (Denki Kogyo)・Yoshio Karasawa (Univ. of Electro-Comm.)

A・P-17. 低アンテナ基地局における時空間電波伝搬特性に関する一検討—伝搬遅延プロファイルモデル— 藤井輝也・

○太田喜元・表 英毅・杉田洋祐 (ソフトバンクモバイル)

A・P-18. 直方体構造3次元アレーアンテナによる2次元到来方向推定 ○守屋裕樹・土居勇輝・市毛弘一・新井宏之 (横浜国大)・林 高弘・松野宏己・中野雅之 (KDDI 研)

A・P-19. スペクトラム幅を用いた DOA 推定精度の簡易評価法 ○ジン悠陽・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)

AP5 第1会場 (16:15~17:05)

A・P-18. 直方体構造3次元アレーアンテナによる2次元到来方向推定 ○守屋裕樹・土居勇輝・市毛弘一・新井宏之 (横浜国大)・林 高弘・松野宏己・中野雅之 (KDDI 研)

A・P-19. スペクトラム幅を用いた DOA 推定精度の簡易評価法 ○ジン悠陽・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)

A・P-19. スペクトラム幅を用いた DOA 推定精度の簡易評価法 ○ジン悠陽・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)

RCS4 第2会場 (13:00~14:15)

RCS-20. 耐災害無線ネットワークにおける STBC 連携ダイバーシチの適用効果 ○熊谷慎也・長岡 諒・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS-21. LTE-Advanced における基地局間協調制御に関する一検討 ○稲越敦久・榮祝剛洋・山崎智春・守田空悟・童 方偉・湯田哲也 (京セラ)

RCS-22. LTE-Advanced 下りリンクにおける干渉抑圧合成受信器のシステム性能評価に向けたチャネル推定誤差を考慮したリンク性能モデリングに関する検討 ○佐野洋介・大渡裕介・三木信彦・森本彰人・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

RCS-23. 同時送信アクセス制御における同時送信判定と再送信制御に関する一検討 ○岩渕匡史・岸田 朗・新宅俊之・阪田 徹 (NTT)

RCS-24. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN におけるマルチチャネルアクセスに関する一検討

RCS-24. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN におけるマルチチャネルアクセスに関する一検討

RCS-24. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN におけるマルチチャネルアクセスに関する一検討

RCS-24. チャネル棲み分けに基づく動的チャネル配置を用いた無線 LAN におけるマルチチャネルアクセスに関する一検討

○天間克宏・松村祐輝・小原辰徳・山本哲矢（東北大）・  
石原浩一・ヒランタ アバーサーカラ・熊谷智明（NTT）・  
安達文幸（東北大）

RCS-25. IEEE 802.11 無線 LAN におけるセル間公平性改善のため  
のマスク・スレーブ型チャンネル選択法

○B. A. Hirantha Sithira Abeysekera・石原浩一・井上保彦・  
市川武男・溝口匡人（NTT）

RCS-26. IEEE802.11n PHY 可変伝送レートにおける消費電力測  
定実験による電力消費モデルの評価 ○田中利康・  
アウスト シュテファン・伊藤哲也（NEC 通信システム）

◆IEEE AP-S Japan Chapter, URSI-F 共催

○15日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日（木）、14日（金） 機械振興会館〔締切済〕 テー  
マ：一般

12月21日（金） KDDI 那覇ビル〔締切済〕 テーマ：無線設  
備・アンテナ測定技術（第二種研究会）

1月24日（木）、25日（金） ホテルメリージュ（宮崎市）〔11  
月10日（土）〕 テーマ：電波伝搬、一般

2月7日（木） 産総研臨海センター〔12月10日（月）〕 テー  
マ：放送技術、測定、一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

高橋 徹（三菱電機）

E-mail: ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

☆RCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日（木）、14日（金） 愛媛大〔締切済〕 テーマ：モバ  
イル、アドホック、ユビキタス、無線、セキュリティ、マル  
チアクセス、アクセスネットワーク・UserNetworkInter  
face、Home ネットワーク、一般

1月31日（木）、2月1日（金） ビューポートくれ〔11月8  
日（木）〕 テーマ：無線通信のための信号処理及び一般

2月27日（水）～3月1日（金） 早大〔12月6日（木）〕 テー  
マ：移動通信ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

増野 淳（NTT）

E-mail: rcs\_ac-entry@mail.ieice.org

## ★シリコン材料・デバイス研究会（SDM）

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 11月15日（木） 10:00～15:45

16日（金） 10:00～16:10

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

議題 プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般

15日午前

1. [招待講演] 2012 SISPAD レビュー—量子輸送, 新材料, 原  
子・分子モデリング, その他— 鎌倉良成（阪大）

2. [招待講演] 2012 SISPAD レビュー—コンパクトモデル, デ  
バイス（ばらつき, 信頼性）— 飯塚貴弘（広島大）

15日午後

3. [招待講演] SiC パワーデバイス・モジュールの高性能化

○中村 孝・明田正俊・中野佑紀・大塚拓一・花田俊雄（ロム）

4. 随伴変数法に基づくトポロジー最適化によるパワーデバイス  
の新設計手法 ○野村勝也・近藤継男・石川 剛・川本敦史・  
松森唯益・杉山隆英（豊田中研）

5. [招待講演] 高周波帯域雑音計測プローブによる MOSFET  
の時間揺らぎ特性評価— $1/f$ （低周波）から熱雑音（100 MHz  
超）まで— 大毛利健治（筑波大）

6. ランダム・テレグラフ・ノイズを引き起こす欠陥の種類とそ  
の特性 ○陳 杰智・平野 泉・辰村光介・  
三谷祐一郎（東芝）

16日午前

1. 20 nm 以細 MOSFET の実効移動度モデルの反転層電荷閉じ  
込めを考慮した評価 ○山本真大・廣木 彰・  
尹 鍾鐵（京都工繊大）

2. 低エネルギー LSI 応用に向けた XCT-SOI-CMOS の微細化指  
針に関する検討 ○佐藤大貴・大村泰久（関西大）

3. 経験的擬ポテンシャル法による 4H-SiC MOS 反転層の 2 次元  
電子状態の計算 ○渡辺龍太・鎌倉良成（阪大）

4. 離散不純物がナノワイヤトランジスタの電流電圧特性に及ぼ  
す影響—KMC と NEGF による研究— ○森 伸也（阪大）・  
植松真司（慶大）・三成英樹・ミリニコフ ゲナディ（阪大）・  
伊藤公平（慶大）

16日午後

5. 立体構造シリコン中の熱輸送に関する分子動力学シミュレ  
ーション ○国師知文（早大/JST）・大毛利健治・  
山田啓作（筑波大/JST）・渡邊孝信（早大/JST）

6. 現実的分散モデルを用いた Si 薄膜中のフォノン輸送モンテカ  
ルロシミュレーション ○久木田健太郎（阪大）・  
鎌倉良成（阪大/JST）

7. カーボンナノチューブやグラフェンシートの電子バンド構造  
に及ぼす三次元ひずみ場の影響解析 ○鈴木 研・大西正人・  
三浦英生（東北大）

8. Tunnel FET の非局所モデリング—デバイスモデルと回路モ  
デル— ○福田浩一・森 貴洋・水林 亘・森田行則・  
田邊明人・昌原明植・安田哲二・右田真二・  
太田裕之（産総研）

9. 準弾道輸送円筒形 GAA-MOSFET の回路コンパクトモデル  
とシミュレーション ○程 賀（名大）・  
宇野重康（立命館大）・沼田達宏・中里和郎（名大）

10. トンネル型トランジスタを用いたシステム LSI と SEA セル  
型 DRAM の設計法 ○鈴木良輔・渡辺重佳（湘南工科大）

11. 積層型 Chain 構造 PRAM のコスト, 性能の見積もり  
○加藤 翔・渡辺重佳（湘南工科大）

◆応用物理学会共催

【問合せ先】

国清辰也（ルネサスエレクトロニクス）

E-mail: tatsuya.kunikiyo.zn@renesas.com

☆SDM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月7日（金） 京大（桂）〔締切済〕 テーマ：シリコン関連  
材料の作製と評価

## ★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 11月16日(金) 13:00~17:25

会場 早稲田大学研究開発センター 120-5号館先端科学・健康医療融合研究機構(ASMeW)1階121会議室(新宿区早稲田鶴巻町513。JR高田馬場駅より徒歩25分。都バス早大正門より徒歩2分。地下鉄東西線:早稲田駅より徒歩3分。都電荒川線:早稲田駅より徒歩8分。http://www.all-nano.waseda.ac.jp/forum\_2/img/2010\_ASMeW\_map.pdf 朝日 透)

議題 ハードディスクドライブ, 一般

MR-1. [チュートリアル招待講演] ビッグデータ:大規模データ分析 佐藤一郎(NII)

MR-2. 電気化学的手法による超高密度強磁性ナノドットアレイの形成及び特性評価 ○高見 淳・間庭佑太・ヴォダルトツ ジギー・萩原弘規・本間敬之(早大)

MR-3. [招待講演] 磁気ディスク界面の測定技術:プラズモンセンサの応用—サブナノメートルへの挑戦— ○柳沢雅広・齋藤美紀子・本間敬之(早大)

MR-4. 強磁性共鳴法によるNi83Fe17(011)単結晶薄膜のダンピング定数評価 ○山中信吾(山形大)・大竹 充(中大)・桐野文良(東京藝術大)・二本正昭(中大)・稲葉信幸(山形大)

MR-5. マイクロ波アシスト磁化反転の周波数選択性を利用した多値記録に関する基礎検討 ○大塚勇人・風呂本至時・田中輝光・松山公秀(九大)・能崎幸雄(慶大)

MR-6. [招待講演] マイクロ波アシスト磁気記録過程のマイクロマグネティック計算 ○田中輝光・風呂本至時・大塚勇人(九大)・金井 靖(新潟工科大)・松山公秀(九大)

MR-7. トンボの翅を模倣したキャリッジ構造の流体加振力低減に関する研究 小金沢新治(関西大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催

◎研究会終了後, 懇親会を開催致します。奮って御参加下さい。

☆MR 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日(木), 14日(金) 愛媛大〔締切済〕テーマ: 信号処理, 一般

◎最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい。

http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html

## ★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三

幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

## ★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

日時 11月16日(金) 13:00~16:10

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光機能的有機材料・デバイス, 光非線形現象, 一般

1. 傾斜機能を持つフッ素系蒸着重合膜による反射防止効果

○泉田和夫(ミナ技術)・松田 剛・河西 匠・田中邦明・白井博明(東京農工大)

2. UV/O<sub>3</sub> アシスト熱処理法による塗布型酸化化物 FET の特性向

上 ○酒井 渉・山内 博・國吉繁一・飯塚正明・酒井正俊・工藤一浩(千葉大)

3. EFI-SHG 法によるフレキシブル有機トランジスタの特性評価(曲げ変形の効果) ○阿部洋平・田口 大・間中孝彰・岩本光正(東工大)

4. 回折偏光その場観察によるアゾベンゼン含有高分子へのベクトルホログラム形成過程の研究 ○伊沢昌浩・佐々木友之・野田浩平(長岡技科大)・川月喜弘(兵庫県立大)・小野浩司(長岡技科大)

5. 多重偏光ホログラム記録による交叉型偏光回折格子を用いた簡易偏光検出に関する研究 ○和田 巧・佐々木友之・野田浩平(長岡技科大)・川月喜弘(兵庫県立大)・小野浩司(長岡技科大)

6. 赤外キャビティリングダウン分光用多層薄膜クラッド中空導波路の製作 ○市川 遼・片桐崇史・松浦祐司(東北大)

7. オンボード光インターコネクションへ向けたGI型ポリマー光導波路端の45°反射ミラー特性 ○中野雅貴・石樽崇明(慶大)

◆ポリマー光回路時限研究専門委員会協賛

☆OME 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月19日(月) 阪大中之島センター〔締切済〕テーマ: 有機材料・一般

【問合先】

松田直樹(産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎(NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

☆OPE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月21日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 光パッシブコンポーネント(フィルタ, コネクタ, MEMS), シリコンフォトニクス, 一般

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス〔未定〕テーマ: フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

2月28日(木), 3月1日(金) 機械振興会館〔11月30日(金)〕テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ(ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

小川憲介(フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行(東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和(NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里宮宮3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

### ★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司  
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 11 月 22 日 (木) 13:00~17:00

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス研究棟 5 階大会議室 (江東区豊洲 3-7-5. 東京メトロ有楽町線: 豊洲駅から徒歩 10 分。

<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/index.html>)

議題 情報システムの安全性を主として

1. 新聞報道から見た昨今の通信ネットワーク事故に伴う社会的影響と課題 ○坂東幸一・田中健次 (電通大)
2. 情報システムの信頼性安全性技術の動向—IBM 大規模システムにおける RAS の展開の視点から— 夏目 武 (RAMS\_Office)
3. 利用者認証とフェールセーフ性について 菊池浩明 (東海大)
4. [招待講演] 逆転の発想「ウイルスは侵入するもの」として考えるサイバー攻撃対策 木城武康 (HISYS)
5. データ分析の安全性と事業性の評価を行うプラットフォームの提案と考察 小栗秀暢 (ニフテ)
6. 安全停止カテゴリーに基づく原発の運転システムについて ○延明雅通・本間慶太・杉本 旭 (明大)

☆SSS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 20 日 (木) 京都高度技研 [締切済] テーマ: 製品・機械の安全を主として

【問合先】

木村昌臣 (芝浦工大工学部情報工学科)  
TEL & FAX [03] 5859-8507  
E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

### ★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂  
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

日時 11 月 23 日 (金) 13:00~16:15

会場 千葉大学西千葉キャンパス工学部 17 号棟 1 階 111 室 (千葉市稲毛区弥生町 1-33. JR 西千葉駅より南門まで徒歩約 2 分, 京成みどり台駅より正門まで徒歩約 7 分。 <http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/> TEL [043] 290-3296 中口俊哉)

議題 医用画像と IMQ 一般

1. [特別講演] MRI における画質改善の歩み 梶田喜正 (千葉大)
2. 逐次近似法を用いた脳動脈 CT 画像の画質評価 ○高瀬郁子 (名大)・遠地志太 (阪大医学部附属病院)・川浦稚代 (名大)・森 政樹 (名大医学部附属病院)・池田 充・今井國治 (名大)
3. 頭部 3D-CT Angiography における血管輪郭の定量評価 遠地志太 (阪大医学部附属病院)・○今井國治・高瀬郁子・

- 川浦稚代・池田 充 (名大)・森 政樹 (名大医学部附属病院)
4. 主観的に判別された画像領域情報を用いた画像判別法 ○深田和也・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
  5. 立体表示におけるコントラスト感度関数の計測と評価 ○高橋恭佑・中口俊哉 (千葉大)
  6. 外科手術支援システムにおける体表投影画像の画質評価 ○鈴木 拓・中口俊哉 (千葉大)

◎研究会終了後、千葉大学サイエンスパークセンターの医工連携実験設備見学会を、その後懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆IMQ 研究会

【問合先】

杉山賢二 (成蹊大)  
E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい。

### ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一  
幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 11 月 30 日 (金) 13:00~17:40

会場 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館 (千葉市稲毛区弥生町 1-33. JR: 西千葉駅北口南門を經由し徒歩 7 分, または京成電鉄: みどり台駅正門を經由し徒歩 7 分。 <http://www.chiba-u.ac.jp/events/keyaki/index.html> TEL [043] 290-3840 ヨサファット テトコ スリ スマンティヨ)

議題 リモートセンシング及び一般

1. コンフィギュラブルな大気レーダー用デジタル受信機の開発 ○藤田俊之・山本真之・Noor Hafizah Binti Abdul Aziz・橋口浩之・山本 衛 (京大)・Tian-You Yu (オクラホマ大)
2. 50 MHz 帯大気レーダーと偏光ライダーによる層状性降水内の鉛直流・降水粒子落下速度・偏光解消度の同時観測 ○山本真之・妻鹿友昭 (京大)・柴田泰邦・阿保 真 (首都大東京)・橋口浩之・山本 衛 (京大)・山中大学 (海洋研究開発機構)・岡本 創 (九大)
3. Progress of Synthetic Aperture Radar Development for Unmanned Aerial Vehicle Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)
4. Design of a Digital Synthetic Aperture Radar Processor ○Cheaw Wen Guey・Chan Yee Kit・Koo Voon Chet (Multimedia Univ.)
5. UAV 搭載 CP-SAR 画像処理システムの Virtex-6 FPGA への実装 ○草間拓真・難波一輝・ヨサファット テトコ スリ スマンティヨ (千葉大)
6. Development of Non-Uniform Circularly Polarized Array Antenna for Synthetic Aperture Radar Sensor ○Yohandri・Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)
7. Study of Synthetic Aperture Radar Sensor onboard Small Satellite ○Prilando Rizki Akbar・Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)・Hiromi Saito (JAXA)
8. ポラリメトリック SAR データにおける船舶検出のための新しい 4-COMP-S フィルタの提案 ○杉本光伸・大内和夫・中村康弘 (防衛大)

9. 衛星搭載高エネルギー電子検出器の高計数環境下での評価実験  
○玉田幸広 (東海大)・高島 健・三谷烈史 (JAXA)・三宅 互 (東海大)

10. 双峰性クラッタ用 FIR フィルタと MTI フィルタを併用したクラッタ抑圧方式  
○原沢康弘・原 照幸 (三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月14日(金) 日本工大〔締切済〕テーマ:レーダ信号処理及び一般

1月24日(木), 25日(金) 長崎県美術館〔11月9日(金)〕  
テーマ:測位・航法及び一般

2月21日(木), 22日(金) 沖縄県青年会館〔12月7日(金)〕  
テーマ:衛星応用技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

## ★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保

幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 11月30日(金) 10:30~16:50

会場 東海大学高輪キャンパス (港区高輪 2-3-23. JR・京浜急行:品川駅下車, 高輪口より徒歩約18分(改札より右方向(田町方面)に進み,「高輪2丁目」交差点を左折). [http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic\\_map/shared/pdf/takanawa\\_campus.pdf](http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf) TEL [03] 3441-1171 野地 保)

議題 「インタプライズモデル化技術, 一般」ワークショップ (査読付き)

1. データマイニングによる求人情報の分析—企業と学生間のミスマッチ低減に向けて— ○石嶋秀太・宇田川佳久 (東京工芸大)

2. CPNによるクラウドトランザクションの等価性評価  
○田中一樹・新川芳行 (龍谷大)

3. Event-Bによるモデル駆動モバイルアプリケーション開発  
○越賀 準・新川芳行 (龍谷大)

午後

4. [特別講演] 純国産技術に基づく Shunsaku ファミリーと、ビッグデータ活用の最前線 ○松浦正卓・稲越宏弥 (富士通)

5. ウォーターフォールモデル型ソフトウェア開発におけるプロセスパフォーマンスモデルの実装手法の一試案—CMMI 成熟度レベル4の実装手順の事例報告— 林 章浩 (ISM)

6. 宮城大学情報ネットワークシステム更新プロジェクトにおけるRFPの開発  
○松田 篤・須栗裕樹 (宮城大)

7. クラス名と構造メトリックスに基づくソースコードの類似検索について  
宇田川佳久 (東京工芸大)

8. Define, Design and Deployment Scheme in Biz Informatics  
Masao J. Matsumoto (SolLab)

9. [パネルディスカッション—バジューセッション—] ビジネス

モデルを科学する

☆SWIM 研究会

【問合先】

野地 保 (東海大)

E-mail: noji@tokai-u.jp

黒瀬 晋 (NEC)

E-mail: s-kurose@cd.jp.nec.com

## ★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 11月30日(金) 10:00~17:40

12月1日(土) 10:00~16:50

会場 千葉工業大学津田沼キャンパス (習志野市津田沼 2-17-1.

JR 総武線:津田沼駅下車, 南口駅前. または京成線:京成津田沼駅下車, 徒歩10分. または新京成線:新津田沼駅下車徒歩3分. <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html> TEL [047] 478-4303 長瀬 亮)

議題 国際セッション IS-EMD2012

30日午前

1. Influence of Mixture Rate of Metal Vapor on Thermodynamic and Transport Properties of Arc Plasma

○Takuya Hara・Jyunya Sekikawa (Shizuoka Univ.)

2. Position and Shape of Break Arcs Occurring between Carbon Electrical Contacts Driven by Transverse Magnetic Field

○Tomoaki Sasaki・Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)

3. Dependence of Arc Length on Lengthening Speed of Break Arcs Magnetically Blown-out in a DC 450 V Resistive Circuit

○Hitoshi Ono・Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)

4. Study on arc behaviors at opening a 270 V resistive load by bridge-type contacts under magnetic field Xue Zhou・Xinglei Cui・Zhikai Zhou・Guofu Zhai (Harbin Inst. of Tech.)

30日午後

5. [招待講演] study of the optimization design of low voltage circuit breaker: a systematic review ○Li Xingwen・Chen Degui (Xi'an Jiaotong Univ.)

6. Contact Bounce Suppression for Automotive Relay by Shaping Electromagnetical Actuation Techniques Wanbin Ren・Zhikai Zhou・Jianbing Jin (Harbin Inst. of Tech.)

7. Observation of growth of arc damages on Ag and AgSnO<sub>2</sub> contact surfaces during switching operations

○Keisuke Takahashi・Makoto Hasegawa (Chitose Inst. of Science and Tech.)

8. Arc erosion of carbon contacts in bio-fuels for automobile

○Cheng Chan Wei・Koichiro Sawa・Takahiro Ueno (Nihon Inst. of Tech.)

9. Relation between Electrode Mass Change and Arc Energy of AgNi Contacts for Electromagnetic Contactors

○Kiyoshi Yoshida・Koichiro Sawa (Nihon Inst. of Tech.)・Kenji Suzuki・Hideaki Daijima・Kouetsu Takaya (Fuji Electric)

10. Thermomechanical characteristics of eggshells embedded in natural rubber for sponge

- Nuchnapa Tangboriboon (Kasetsart Univ.)
11. Effect of viscosity or additive substance of contact oil on contact resistance ○Takashi Murata · Shigeru Sawada · Astushi Shimizu · Kazuo Iida (Mie Univ.) · Yasuhiro Hattori (ANTech)
  12. Experimental Equipment for Measurement of Contact Resistance at Constant Contact Force ○Satoshi Ishikura · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
  13. Study of the interruption process of selective miniature circuit breaker ○Wang Qian · Li Xingwen · Chen Degui · Rong Mingzhe (Xi'an Jiaotong Univ.)
  14. Study on the arc characteristics in different gases based on spectrum measurement ○Jiang Xu · Jia Shenli · Shi Zongqian · Li Xingwen (Xi'an Jiaotong Univ.)
  15. Arc Splitting Process in Low-Voltage Device ○Liu Hongwu · Guan Ruiliang · Yin Nairui · Xie Xinyi (Changshu Switchgear Mfg.) · Chen Degui (Xi'an Jiaotong Univ.)

12月1日午前

1. Equivalent Circuit Analysis for the Transient Phenomena from Elastic Contact to Breaking Contacts through Metal Melting ○Takayuki Kudo · Noboru Wakatsuki (Ishinomaki Senshu Univ.)
2. Evaluation of a Coaxial Tube Shape Suitable for PIM Measurement using Standing-Wave Coaxial Tube Method ○Daijiro Ishibashi · Nobuhiro Kuga (Yokohama National Univ.)
3. Relational Analysis on Optical Characteristics and Accuracy of Mass-Produced Multifiber Connectors ○Motohito Takezaki (Hakusan) · Ryo Nagase (Chiba Inst. of Tech.)
4. MU-type Multicore Fiber Connector ○Ryo Nagase · Katsuyoshi Sakaime (Chiba Inst. of Tech.) · Kengo Watanabe · Tsunetoshi Saito (Furukawa Electric)
5. Review of HVAC algorithms in building management systems ○Adrian Sienicki · Piotr Borkowski (Lodz Univ. of Tech.)

12月1日午後

6. [招待講演] The Contact Resistance Performance of Gold Coated Carbon-Nanotube Surfaces under low current switching. ○John McBride · C. Chianrabutra · L. Jiang (Univ. of Southampton)
7. Effect of Lubricant on Lifetime of Au-plated Slip-Ring and Ag-Pd-Cu Brush System for Small Electric Power-2- ○Hideki Kitajima · Koichiro Sawa · Takahiro Ueno (Nihon Inst. of Tech.)
8. Fretting characteristics of dissimilar metal contacts ○Takuya Yamanaka · Tetsuya Ito · Yoshiyuki Nomura · Yasuhiro Hattori (ANTech)
9. 微摺動機構による電気接点の劣化現象—いくつかの条件下における最小摺動振幅— ○和田真一 · 越田圭治 · サインダーノロプリン · 益田直樹 · 石黒 明 · 柳 国男 · 久保田洋彰 (TMCシステム) · 澤 孝一郎 (日本工大)
10. Effect of Current Load on Fretting of Au-plated contacts Wanbin Ren · ○Peng Wang · Shengjun Xue (Harbin Inst. of Tech.)
11. Simulation and experimental study on molten bridge of Cu

- contacts at low opening speed Guofu Zhai · ○Xinyun Zhang · Xue Zhou · Yaqi Liu (Harbin Inst. of Tech.)
12. Real Time Spectroscopic Observation of Contact Surfaces being Eroded by Break Arcs ○Masato Nakamura · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
  13. Composition Distribution on Contact Surfaces Eroded by Break Arcs ○Katsuyoshi Miyaji · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
  14. A Study on Arc Waveform at Slowly Separating Silver-Tin Dioxide Contacts with Holder Temperature Change ○Yoshiki Kayano · Tomoya Tanaka · Kazuaki Miyanaga · Hiroshi Inoue (Akita Univ.)

◆継電器・コンタクトテクノロジー研究会共催

◎30日の研究会終了後に懇親会を予定していますので、奮って御参加下さい。

☆EMD研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月21日(金) 機械振興会館[締切済] テーマ:一般

1月25日(金) 日立(横浜市戸塚区)[11月15日(木)] テーマ:一般

2月15日(金) 住友電装[12月7日(金)] テーマ:機構デバイスの信頼性, 信頼性一般(継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関川純哉(静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕(横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuhiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝(NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

—北海道支部における開催—

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 小崎成治 · 梅原大祐

日時 11月21日(水) 9:00~12:10

22日(木) 9:00~11:30

会場 北湯沢温泉湯元名水亭(伊達市大滝区北湯沢温泉町300-2. 札幌より車で約1時間50分, 千歳より車で約1時間30分, JR伊達紋別駅からタクシーで約35分. <http://www.meisui-tei.com/>)

議題 ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般

21日

1. 固定バックオフを用いたCSMA/CA拡張方式のフレームバースト制御に関する一検討 ○岸田 朗・岩淵匡史・新宅俊之・阪田 徹 (NTT)
2. マルチユーザ環境における適応型周波数オフセットを用いたAFリレー伝送方式のスループット特性 ○柴 孝幸・菊池直樹・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
3. 周波数オフセット方式を用いた下りリンクリレー伝送におけるループ信号合成法の検討 ○菊池直紀・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
4. [特別招待講演] 光アクセスネットワークの仮想化技術 玉井秀明 (OKI)
5. [特別招待講演] 周期関数に対する標準化定理とOFDM信号への適用 上田裕巳 (東京工科大)
6. [特別招待講演] ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトの概要と今後の展望について 湊 真一 (北大)

22日

1. PONにおけるネットワークコーディングを利用したONU間通信の一実現法 ○久保亮吾 (慶大)・田所将志・久保尊広・鈴木謙一・吉本直人 (NTT)
2. EPONにおけるプロテクション切替時の暗号鍵更新方式に関する検討 ○佐藤昌幸・山下晃広・平野幸男・水口 潤・向井宏明 (三菱電機)
3. コンテンツの長さに注目したネットワークキャッシュ制御手法の提案と評価 ○菊地俊介 (NICT)・中里秀則 (早大)
4. Network Coder Placement for Peer-to-Peer Content Distribution ○Dinh Nguyen・Hidenori Nakazato (Waseda Univ.)
5. ZigBeeを用いたバイズ法による行き先推定法の実験的検討 ○杉下卓也・高瀬浩史・平栗健史 (日本工大)
6. MIMO伝送を利用したCollision detection—アクセス制御による衝突検知方式の提案— 平栗健史・○後藤祐太郎・小川知将・高瀬浩史 (日本工大)・西森健太郎・牧野秀夫 (新潟大)
7. MIMO伝送を利用したCollision detection—ショートプリアンブルを用いた干渉検出方法の提案— 西森健太郎・○堅岡良知 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)・牧野秀夫 (新潟大)

☆CS研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

12月6日(木), 7日(金) 福井市地域交流プラザ [締切済]  
テーマ:画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般1月24日(木), 25日(金) 愛媛大 [11月9日(金)]  
テーマ:コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域)イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

小崎成治 (三菱電機)

TEL [03] 3218-6305, FAX [03] 3218-6454

梅原大祐 (京都工繊大)

E-mail: kanji2012@csken.org

○最新情報は, CS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

## ★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 11月8日(木) 10:30~17:30

9日(金) 9:45~16:00

会場 東北工業大学一番町ロビー (仙台市青葉区一番町1-3-1  
ニッセイ仙台ビル4F. <http://www.tohtech.ac.jp/access/index.html>)

議題 合成, 生成, 韻律, 音声一般

8日午前 一般

1. テンソル表現に基づく任意話者声質変換に対する話者正規化学習の効果 ○齋藤大輔・峯松信明・広瀬啓吉 (東大)
2. 統計的手法に基づくリアルタイム声質変換処理のDSP上への実装 ○森口拓人・戸田智基 (奈良先端大)・佐野元明・佐藤 宏 (フスター)・グラム ニュービッグ・サクリアニ サクティ・中村 哲 (奈良先端大)
3. 同一文発話間における話者内スペクトル特徴量変動とその予測 ○犬飼辰夫・戸田智基・グラム ニュービッグ・サクリアニ サクティ・中村 哲 (奈良先端大)

8日午後 一般

4. 破裂子音及び摩擦子音発声時の声道容積変化の計測 ○北村達也・波多野博頭 (甲南大)
  5. 音響感度関数を用いたホルマントからの声道長及び声道断面積の推定に関する検討 ○坂本優樹・鍋木時彦 (九大)
  6. 終助詞とその音調によって聞き手に伝わる発話意図の分析 ○岩田和彦・小林哲則 (早大)
  7. 分散共有フルコンテキストモデルによるHMM音声合成の改善 ○高道慎之介・戸田智基 (奈良先端大)・志賀芳則 (NICT)・Sakriani Sakti・Graham Neubig・中村 哲 (奈良先端大)
  8. HMM音声合成におけるスペクトル特徴量の局所変動のモデル化とパラメータ生成への適用 ○能勢 隆・チュンウィジター ワータヤー・小林隆夫 (東工大)
- オーガナイズドセッション「コラボレーションのための研究者の対話—音声生成と音声合成を中心として—」1 (一般講演)
9. 二段階クラスタリングを用いたHMMに基づく韻律生成 ○三井康行・近藤玲史・加藤正徳 (NEC)
  10. ワンクリック声道音響管マッピングインタフェースの開発とその信号変換への応用 ○緒方公一・山下健太郎 (熊本大)
  11. 非対称な声道壁インピーダンス特性を表現した3次元矩形声道モデル 元木邦俊 (北海学園大)

9日午前 オーガナイズドセッション「コラボレーションのための研究者の対話—音声生成と音声合成を中心として—」2 (招待講演)

1. [招待講演] 音声合成—ヒトの音声生成機能を目指して— 句坂芳典 (早大)
- オーガナイズドセッション「コラボレーションのための研究者の対話—音声生成と音声合成を中心として—」3 (招待講演)
2. [招待講演] 音声生成研究の動向と音声合成に向けた知見 菅田雅彰 (早大)

9日午後 オーガナイズドセッション「コラボレーションのための研究者の対話—音声生成と音声合成を中心として—」4 (ワークショップ)

- ・自己紹介と場を温めるワーク
- ・ワールドカフェによる対話
- ・アイデアの共有と振り返り

◆日本音響学会；音声研究会共催，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛

◎8日17:30-18:00 東北工業大学伊藤研究室研究室紹介があり，終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい。

#### 【問合先】

大谷大和（東芝研究開発センター）

TEL [044] 549-2410, FAX [044] 520-1308

E-mail : yamato.ohitani@toshiba.co.jp

### ★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 梅村浩之・洪井 進

幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 11月14日(水) 13:00~17:55

15日(木) 9:00~15:10

会場 東北大学電気通信研究所2号館4階大会議室(仙台市青葉区片平2-1-1.五橋駅下車.北2番の出入口より地上へ,徒歩約8分.または,仙台駅より約20分. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml> TEL [022] 217-5461 坂本修一)

議題 「マルチモーダル」, 「感性情報処理」, 「視知覚とその応用」及びヒューマン情報処理一般

14日

HIP-1. 視聴覚統合における時空間処理の視野非対称性

○竹島康博(東北大学/学振)・行場次郎(東北大学)

HIP-2. 乳児は視覚と嗅覚の連合を形成するか—未知のにおいを用いた連合学習による検討—

○作田由衣子(中大)・

稲田祐奈(日本女子大)・小川紗貴子(中大)・

和田有史(農業・食品産技総研機構)・園枝里美(高砂香料)・

金沢 創(日本女子大)・山口真美(中大)

HIP-3. 表情と音声の情動価を不一致にした刺激に対する感情判断—基本6感情を用いた日蘭比較研究—

○田部井賢一(三重大)・高木幸子・田中章浩(東京女子大)

HIP-4. 健常大学生を対象とした自閉症スペクトラム指数及び愛着スタイルの個人差と社会スキルとの関連

○高橋純一(東北大学/学振)・玉木宏樹(福島大)・

山脇望美(名大)

5. 電子書籍の可読性に対する環境照度の影響

○小飯塚達也・宮尾 克・小島健仁・佐野峻太・

石尾暢宏(名大)

6. 電子書籍の可読性に及ぼす視角依存性

○佐野峻太・

小島健仁・小飯塚達也・宮尾 克(名大)

7. 映像の中に表示されている文字情報の視認性, 可読性

○大橋拓実(名大)・石尾広武(福山市大)・岡田悠希・

柳瀬友彦・小島健仁・宮尾 克(名大)

8. 定常的視覚誘発電位による物体ベースの注意に関する検討

○大森暢喬・徳永留美・松宮一・栗木一郎・

塩入 諭(東北大)

9. 立体映像のボヤケの程度に関する定量的測定

○上本啓太(名大)・石尾広武(福山市大)・塩見友樹・

宮尾 克(名大)

HIP-10. スマートフォン上での無線LANを用いた屋内位置推定

手法 ○窪澤駿平・杉本真佐樹・小島 実(東工大)

11. ネットワーク型音響情報視覚化インターフェースを用いた音空間への可視的情報呈示 ○三枝英一・及川靖広(早大)

15日午前

HIP-1. 視野の動きを検出して外界のモデルを構築する脳幹の仕組み 唐澤信司(宮城高専)

2. 頭部方向は注視点分布を偏らせる ○中島亮一・方 イク・松宮一・徳永留美・栗木一郎・塩入 諭(東北大)

HIP-3. 自発的・自動的サッカーで生じる時間順序判断逆転へのサッカー距離による影響 ○谷部好子・

繁樹博昭(高知工科大)

4. 3D映像の画面輝度レベルが調節, 輻輳, 瞳孔径に及ぼす影響 ○小島健仁・上本啓太・岡田悠希・宮尾 克(名大)

HIP-5. [招待講演] 眼球運動と瞳孔ゆらぎによる眠気予兆検出 平田 豊(中部大)

15日午後

HIP-6. 漢字刺激を用いた RSVP 課題における画像特徴量変化の影響 ○矢後妃奈子・中山 実(東工大)

HIP-7. 高速フリッカ刺激の経時提示により生じる瞬き知覚は刺激間の輝度差に依存する ○中嶋 豊・阪口 豊(電通大)

HIP-8. 視野狭窄が視覚認知速度及び認知精度に及ぼす影響—健常人におけるシミュレーションII—

○早川友恵(帝京大)・成瀬 康・森戸勇介・篠崎隆志・

梅原広明(NICT)

9. Investigation of the integration process of color and luminance motion using adaptation technique—comparison between MAE duration and reaction time— ○Hongfei Xie・

Ichiro Kuriki・Rumi Tokunaga・Kazumichi Matsumiya・

Satoshi Shioiri (Tohoku Univ.)

◆映像情報メディア学会；ヒューマンインフォメーション研究会／コンシューマーエレクトロニクス研究会連催。東北大学電気通信研究所音響工学研究会，日本認知心理学会；感性学研究会，日本光学会視覚研究グループ，日本心理学会「注意と認知」研究会共催。

◎14日プログラム終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆HIP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日(木), 14日(金) 山形大〔締切済〕テーマ：持続可能な社会に貢献するパターン認識

### ★MEとバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

### ★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月16日(金) 10:00~17:25

17日(土) 9:30~16:10

会場 東北大学大学院情報科学研究科青葉山キャンパス2階大講堂(仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09. 仙台駅西口バスプー



ル9番乗り場から、1. 青葉通・理・工学部・仙台城址南經由動物公園循環 2. 青葉通・工学部經由宮教大・青葉台 3. 青葉通・工学部經由宮教大・成田山いずれかに乗車し、「情報科学研究科前」にて下車。http://www.is.tohoku.ac.jp/access/index.html TEL [022] 795-7160 中尾光之)

#### 議題 BCI/BMI とその周辺, 一般

##### 16 日午前 MBE1-1

MBE-1. ラット片側坐骨神経内交感神経束への microstimulation に対する対側交感神経活動反応 ○塩飽 裕・中村嶺一・小泉俊太郎・佐藤大介 (山形大)・楠 正隆 (愛知医科大)・中村孝夫 (山形大)

MBE-2. 四肢動物の歩行パターンを制御する電子回路ネットワークの設計 ○小島 颯・久保田真仁・土門立志 (新潟大)・鈴木康之・野村泰伸 (阪大)・前田義信 (新潟大)

MBE-3. カルマンフィルタを用いた慣性センサによる下肢角度計測法の精度改善に関する検討 ○照山裕太・渡邊高志 (東北大)

MBE-4. 脳性麻痺児におけるリハ支援のためのウェアラブル歩行解析・ネットワークシステムの基礎的検討 ○本井幸介・小山崇宣 (弘前大)・窪田美穂・福永奈美子・田中あすか (藤元早鈴病院)・谷口早弥香・湯地忠彦 (金沢大)・東 祐二・藤元登四郎 (藤元早鈴病院)・田中直登・山越憲一 (金沢大)

MBE-5. 筋骨格モデルを使用した表面筋電位による手先位置推定 ○川瀬利弘 (国立障害者リハビリテーションセンター)・小池康晴 (東工大)・神作憲司 (国立障害者リハビリテーションセンター)

MBE-6. 打撃動作時の習熟と表面筋電信号の関係 ○大和田敬吾 (公立はこだて未来大)・戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (公立はこだて未来大)・秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・中村裕一 (京大)

MBE-7. 直流増幅眼電図を用いた意思伝達入力デバイスの高精度化 ○佐々木宏基・堀 潤一 (新潟大)

MBE-8. 機械刺激及び温度刺激による体性感覚の客観評価 ○近 竜太・堀 潤一 (新潟大)

MBE-9. 打撃動作時の習熟と表面筋電信号の関係 ○大和田敬吾 (公立はこだて未来大)・戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (公立はこだて未来大)・秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・中村裕一 (京大)

MBE-10. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-11. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-12. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-13. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-14. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-15. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-16. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-17. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-18. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-19. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-20. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-21. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-22. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-23. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-24. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-25. 変調周波数追従反応の眠気依存性に関する研究 ○向田寛美・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-26. 恐怖学習後の睡眠時脳活動の計測と解析 ○黒石岳広・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

MBE-27. 視交叉上核振動子集団の非一様な同期パターンのモデル化 ○鈴木理昂・辛島彰洋・片山統裕・中尾光之 (東北大)

共通-3. SSVEP を用いた脳波インタフェースのための信号処理 ○船瀬新王 (名工大/理研)・板井陽俊 (中部大)・チホツキ アンジェイ (理研)・内匠 逸 (名工大)

##### NC2-1

NC-4. 言語野における音読と黙読の類似性について ○池田純起・柴田智広・池田和司 (奈良先端大)

NC-5. バーチャル環境におけるマウスの移動運動と海馬脳波の解析 ○日高慶太・片山統裕・石川大晃・辛島彰洋・中尾光之 (東北大)

NC-6. 視覚系の男女差に着目した色情報処理モデル ○長谷川知美・早坂太一 (豊田高専)

NC-7. 2部グラフ型ボルツマンマシンに対する複合最尤法 ○浅利 岳・安田宗樹・和泉勇治・田中和之 (東北大)

NC-8. 層内共通入力をもつフィードフォワードモデルにおける層間相関 ○唐木田 亮・五十嵐康彦・永田賢二 (東大)・岡田真人 (東大/理研)

NC-9. 3次元物体認識に関わる景観予測機能のモデル化 ○植野 徹・朝倉暢彦・乾 敏郎 (京大)

NC-10. ガウシアングラフィカルモデルを用いた確率的画像補修フィルタの設計 ○北川智隆・安田宗樹・田中和之 (東北大)

NC-11. リカレンスプロットに基づくスパイク信号の解析:カオスのスパイク発振器の例 ○四辻和希・斎藤利通 (法政大)

NC-12. デジタルスパイク写像の基本特徴量と解析 ○堀本成俊・斎藤利通 (法政大)

NC-13. ガウシアングラフィカルモデルを用いた確率的画像補修フィルタの設計 ○北川智隆・安田宗樹・田中和之 (東北大)

NC-14. リカレンスプロットに基づくスパイク信号の解析:カオスのスパイク発振器の例 ○四辻和希・斎藤利通 (法政大)

NC-15. デジタルスパイク写像の基本特徴量と解析 ○堀本成俊・斎藤利通 (法政大)

◆MBE: 日本生体医工学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催

NC: 日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

☆MBE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月12日(水) 豊橋技科大 [締切済] テーマ: ME, 一般

1月25日(金), 26日(土) 九工大 [11月9日(金)] テーマ: ME, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】 吉村奈津江 (東工大) 〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-J3-10 TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085 E-mail: yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

☆NC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

・12月12日(水) 豊橋技科大 [締切済] テーマ: ME, 一般

【問合せ先】 木村聡貴 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所) 〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1 TEL [046] 240-3681, FAX [046] 240-4721 E-mail: kimura.toshitaka@lab.ntt.co.jp

・1月24日(木), 25(金) 北大百年記念会館 [11月14日(水)] テーマ: 非線形問題, 一般 (NLP 研究会, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)

【招待講演】 培養神経回路網の非線形ダイナミクス 郷原一寿 (北大)

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tid=NC



### ★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一  
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

### ★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学  
幹事 杵渕哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

日時 11月21日(水) 13:50~17:00  
22日(木) 10:20~16:50

会場 静岡市産学交流センター(静岡市葵区御幸町3-21 ベガ  
サート6階・7階。JR静岡駅から徒歩5分。http://www.b-  
nest.jp/ TEL [054] 275-1655 (B-nest 静岡市産学交流セン  
ター) 大石和臣(静岡理工科大))

議題 情報セキュリティ, ライフログ活用技術, ライフインテリ  
ジェンス, オフィス情報システム, 一般

21日

- 電磁波照射を用いたフォールト攻撃によるICカードからの  
AES鍵の抽出 ○土屋 遊・岸川 剛・齋藤翔平・  
遠山 毅(横浜国大)・佐々木明彦(森田テック)・  
佐藤 証(東大)・松本 勉(横浜国大)
- Lightweight Hashing Mode Using Lesamnta-LW Compression  
Function and MDP Domain Extension  
○Asraf Akhimullah・Shoichi Hirose (Fukui Univ.)・  
Emi Matsuyama (ELCOM)
- ネットワークコーディングに適したMACの一考察  
○浅野貴哉・宮地充子・面 和成(北陸先端大)
- 秘密分散法を利用した乗算が可能な秘密計算の提案  
○中田亮太・仲地孝之(NTT)
- ライフログ可視化フレームワーク MashMap の実装と評価  
○高橋昂平・まつ本真佑・中村匡秀(神戸大)
- スマートシティにおける大規模住宅ログ活用プラットフォーム  
のためのAPI実装 ○山本晋太郎・高橋昂平・  
まつ本真佑・中村匡秀(神戸大)
- 生活支援サービス連携システムにおいて柔軟に人的リソース  
割当を行う手法の検討 ○林 瑞恵(NTT)・  
美原義行(NTT西日本)・中平 篤・岡本 学・山崎毅文・  
佐藤 敦(NTT)

22日午前

- CNF式に対する匿名属性認証システムのWeb実装  
○濱田雄治・中西 透・渡邊 寛・船曳信生(岡山大)
- SVMによる暗号化トンネル内通信のアプリケーション識別  
○ゲン タイン トゥアン・中村康弘(防衛大)
- Local Outlier Factorを用いた異常なHTTPアクセスの検知  
○朝倉浩志・折原慎吾・熊谷充敏・岡野 靖(NTT)・  
柏原秀蔵・比戸将平(PFI)
- 意味レベルの暗号化状態処理の概念提起—自然言語による秘  
匿検索・回答作成の実現に向けて— ○辻井重男・  
山口 浩(中大)・森住哲也(ネットエスアイ東洋)

22日午後(13:15~)

- 中国人剰余定理による秘密分散法とその応用  
○辻 敏雄・笠原正雄(阪学院大)
- 公共システム調達における共通言語としてのBPMNの可能性  
について—BPMNによる情報提供ネットワークシステムの

可視化— ○御代川知加・小尾高史・藤田和重・  
谷内田益義・李 中淳・夏目哲也・平良奈緒子・庭野栄一・

岩丸良明・大山永昭(東工大)

- Android 端末の加速度センサを用いた歩行状態推定に関する  
一検討 ○太田麗二郎・廣津登志夫(法政大)
- Greedy algorithm を改良したDBNS利用による効率的な楕円  
曲線暗号のスカラー倍算 ○河面祥男・  
宮地充子(北陸先端大)
- Brier-Joyeの楕円曲線加算法の一考察  
白勢政明(公立はこだて未来大)
- 部分群判定問題とベアリング逆問題の関係について  
○金山直樹(筑波大)・内山成憲(首都大東京)・  
岡本栄司(筑波大)
- 格子の最短ベクトル問題に対する並列化 Gauss Sieve アルゴ  
リズム ○石黒 司・清本晋作・三宅 優(KDDI研)・  
高木 剛(九大)
- Concrete relation between trace, j-invariant, and embedding  
degree on elliptic curves Atsuko Miyaji・  
○Xiaonan Shi (JAIST)

☆ISEC研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月12日(水) 機械振興会館[締切済] テーマ:一般

【問合せ先】

岩田 哲(名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

☆LOIS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月17日(木), 18日(金) 九州[未定] テーマ: ライフロ  
グ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

山元規靖(福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

### ★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎  
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 11月29日(木) 11:00~17:05

会場 静岡大学浜松キャンパス(浜松市中区城北3-5-1。JR浜  
松駅前北口バスターミナル15, 16番乗り場から「静岡大学」  
下車(20分)。http://www.shizuoka.ac.jp/access/index.html  
TEL [053] 478-1221 近藤 淳)

議題 非線形音響, 一般

- 観察に基づく弾性表面波による液滴搬送の検討  
名和弘紀・深谷智彦・○近藤 淳(静岡大)
- 超音波照射によるガラス板上の溜まり場中での微粒子の挙動  
○小塚晃透・安井久一(産総研)・  
江口稜正(長野県工技総合センター)・畑中信一(電通大)・  
秋葉龍郎(産総研)
- 超音波エコー信号の重ね合わせと周波数分割を用いたイメー  
ジング—強力超音波を使用する場合を含む— ○炭 親良・  
石井陽介(上智大)

午後 (13:30~)

4. 水銀中における気泡振動の数値シミュレーション—ソノルミネッセンス—  
○安井久一・加藤一実 (産総研)
5. シングルバブル・ソノケミストリーの実験的研究—ソノルミネッセンス閾値でのラジカル量変化— 畑中信一 (電通大)
6. 超音波照射によるマイクロカプセルの破壊及び内包物放出過程の観測  
○田畑 拓・末松 周・吉田憲司・小山大介 (同志社大)・中村健太郎 (東工大)・渡辺好章 (同志社大)
7. 直管型超音響エンジンにおける全長及び内径が発振条件に与える影響 ○柳本浩平 (同志社大)・坂本真一 (滋賀県立大)・中野陽介・柴田健次・高原教揮・渡辺好章 (同志社大)
8. 超音響エンジンの低温度駆動に向けた検討—並列接続型ダブルスタックループ管が発振温度比に及ぼす影響—  
○中野陽介 (同志社大)・坂本真一 (滋賀県立大)・渡辺好章 (同志社大)
9. パラメトリックスピーカを用いたステレオ再生の音像定位  
○青木茂明・鳥羽正義・辻田典久 (金沢工大)
10. パラメトリックスピーカの2チャンネル駆動による音像定位  
○眞城弘海・鎌倉友男・野村英之 (電通大)
11. チャープ信号によるパラメトリック超音波のパルス圧縮  
○野村英之・安達日出夫・鎌倉友男 (電通大)・Gregory T. Clement (HMS)

◆日本音響学会：超音波研究委員会，非線形音響研究会，IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月18日(火) 東工大すずかけ台キャンパス [締切済]  
テーマ：強力超音波，一般 (日本塑性加工学会超音波応用加工分科会共催)

1月24日(木)，25日(金) 同志社大室町キャンパス寒梅館 [11月9日(金)] テーマ：応用 (電気) 音響，超音波，一般 (音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

2月19日(火) 機械振興会館 [12月12日(水)] テーマ：アコースティックイメージング，一般 (日本音響学会アコースティックイメージング研究会共催，日本非破壊検査協会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

美谷周二郎 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail : mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光 (日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail : miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

## ★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 猿渡卓也・檀山淳雄 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宣

日時 11月22日(木) 9:30~17:50

23日(金) 10:00~16:15

会場 金沢大学角間キャンパス自然科学本館 1F ワークショップ  
1 (金沢駅東口よりバス6番乗り場発91 (平日のみ)・93・94・97 金沢大学行き (兼六園下経由) で「金沢大学自然研前」下車 (約30分)。 <http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>)

議題

22日午前

1. 地域組織連携による継続的リアル PBL の試み—現状と課題—  
○糸野文洋・辻村泰寛・大木幹雄・山地秀美・石原次郎・松田 洋 (日本工大)
2. ITSS とシラバスに基づく産学における期待される人的資源の差異に関する研究 ○岡野道太郎・中谷多哉子 (筑波大)
3. アシユアランスケース構築法の提案 ○松野 裕 (名大)・高井利憲 (奈良先端大)・ヴァイセ パテウー・山本修一郎 (名大)
4. 組込みソフトウェアのアセンブラのレジスタレベルでの SMT 検証 ○小橋潤平・山根 智・竹下 淳 (金沢大)
5. デイペンダビリティ・コンテキストの推定手法の提案  
○高間翔太・松野 裕・山本修一郎 (名大)

22日午後 (13:30~)

6. ERP 導入の為のカスタマージャーニーマップを用いた分析方法  
○中尾 仁・津田和彦・中谷多哉子 (筑波大)
7. 要求変動に対する進化社会心理学的考察 妻木俊彦 (NII)
8. ユースケース記述の意図の明確化を目的とした初学者特有の問題点の分析  
○奥田博隆・松井駿介・式見 遼・野呂 惇・岡田康治 (芝浦工大)・小形真平 (信州大)・松浦佐江子 (芝浦工大)
9. 要求分析のための質的調査に基づく AsWas-AsIs 分析手法の提案  
○渡辺将弘 (日産自動車)・中谷多哉子 (筑波大)
10. 私物デバイスの業務活用におけるセキュリティ要求変化予測法  
○鈴木祐司・海谷治彦・小形真平 (信州大)・大久保隆夫・金谷延幸 (富士通研)・吉岡信和 (NII)
11. 要求仕様の部品化による要求仕様作成支援手法  
○伊豫田善隆・大西 淳 (立命館大)
12. 要求抽出プロセス観察のための要求分類ルールの作成に向けて  
○佐野俊一 (筑波大)・近藤城史 (名古屋経営短大)・中谷多哉子 (筑波大)

23日午前

1. オブジェクト指向論理ペトリネットによるシミュレーションのためのエージェントモデリング—集団的振る舞い，個体行動，意思決定過程の統一的記述に向けて— 飯島 正 (慶大)
2. リポジトリマイニングの進化に対応した分析ツール E-CUBE の構築 ○山下一寛・亀井靖高・久住憲嗣・鶴林尚靖 (九大)
3. Application of D-Case to the usage flow diagram scenario of the Distributed E-Learning System called KISSEL in Asian Pacific Universities ○Vaise Patu・Yutaka Matsuno・Shuichiro Yamamoto (Nagoya Univ.)

23日午後 (12:30~)

4. デイペンダビリティケースへの責任属性の導入法の検討  
○山本修一郎・松野 裕 (名大)
5. ミューテーション解析と遺伝的アルゴリズムを用いたソフトウェアのテストデータの自動生成  
○末廣暁久・芳賀博英 (同志社大)
6. システム運用作業へのモデル検査手法の適用  
○宮崎 勉・中谷多哉子 (筑波大)
7. TOGAF NEXT に対する ADM プロセステンプレートの提案  
○徳野達也・松野 裕・山本修一郎 (名大)
8. データライフサイクルの妥当性に着目したモデル検査ツールの自動利用法  
○小形真平 (信州大)・青木善貴・奥田博隆・松浦佐江子 (芝浦工大)
9. デイペンダビリティ用語辞書構築方法の提案  
○松村昌典・山本修一郎・松野 裕 (名大)

☆KBSE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月28日(月), 29日(火) 機械振興会館 [11月7日(水)]  
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

**【問合せ先】**

松浦佐江子 (芝浦工大)  
E-mail: [matsuura@se.shibaura-it.jp](mailto:matsuura@se.shibaura-it.jp)  
◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。  
<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

**——関西支部における開催——**

**★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)**

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟  
幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 11月8日(木) 13:30~17:15  
会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 60周年記念館 2F 大セミナー室 (京都市左京区松ヶ崎橋上町1. 市営地下鉄烏丸線: 松ヶ崎駅から徒歩8分. <http://www.kit.ac.jp/01/gakunaimap/matugasaki.html> 門 勇一)

**議題 光デバイス, 一般**

1. [招待講演] 大容量光通信に向けた高速光検出器  
梅沢俊匡 (NICT)
2. [招待講演] 光差周波発生を用いた光電変換技術  
村田博司 (阪大)
3. 光ファイバー接続型広帯域ミリ波レーダーの開発  
○米本成人・河村暁子・ニッ森俊一・岡田国雄 (電子航法研)
4. A Chirp Measurement Method for Integrated Parallel Mach-Zehnder-Modulators  
○Pham Tien Dat・Atsushi Kanno・Keizo Ingaki・Tetsuya Kawanishi (NICT)
5. 偏波多重4値位相変調器を用いた光技術による 25-GHz 帯 RoF 信号生成  
○山中竜太・藤田 陽・羽曾部汐里 (青学大)・菅野敦史・川西哲也 (NICT)・外林秀之 (青学大/NICT)
6. RoF-DAS over WDM-PON システムにおける無線セル構成の適応制御  
○岩國辰彦 (阪大)・東野武史 (奈良先端大)・塚本勝俊 (阪工大)・小牧省三 (MJIIT)・岩月勝美 (東北大)・宮本健司・田代隆義・深田陽一・可児淳一・吉本直人 (NTT)

◎13:30~13:40にMWP優秀学生論文賞授賞式を行います。

☆MWP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス [未定]  
テーマ: フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

**【問合せ先】**

戸田裕之 (同志社大)・川西哲也 (NICT)  
E-mail: [mwp-inquiry@mail.ieice.org](mailto:mwp-inquiry@mail.ieice.org)  
◎最新情報は, MWP 研究会ホームページを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/mwp/>

**★信頼性研究会 (R)**

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏  
幹事 馬渡宏泰・田村信幸  
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 11月15日(木) 14:00~17:30  
会場 中央電気倶楽部 (大阪市北区堂島浜2-1-25. <http://www.chuodenki-club.or.jp/map/map.html> TEL [06] 6345-6351 杉谷全令)

**議題 半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般**

1. ソフトウェア開発属性データを用いたニューラルネットワークによる潜在フォールト数の予測  
○嶋田遼平・木村光宏 (法政大)
2. 協調知識情報を考慮したワイブル分布の階層ベイズモデルと計算推論に基づくソフトウェアの信頼性解析  
貝瀬 徹 (兵庫県立大)
3. プリント基板のスクリーニング技術  
○黒川博志 (菱電化成)・松岡敏成 (三菱電機)・八木 超 (三菱リチウムイオンコントロール)
4. MEMS 薄膜の湿度による破断メカニズムと湿度試験の加速性  
○松井悦子・中尾太一・新谷淳一 (オムロン)
5. セラミックコンデンサの発火類焼についての一考察  
岩谷康次郎 (オムロン)
6. リチウムイオン二次電池の安全性と評価試験  
○岡本 学・河合秀己・奥山 新・青木雄一 (エスベック)
7. 焼損再現実験  
池本 裕・○小松泰之 (ケオルテック)
8. 海外調達基板の評価方法の一考察  
伊藤貞則 (イトケン)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛

☆R 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
12月14日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 信頼性国際規格, 保全性, 信頼性一般  
2月15日(金) 住友電装 [12月7日(金)] テーマ: 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

**【問合せ先】**

田村信幸 (法政大)  
TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126  
E-mail: [tamura@hosei.ac.jp](mailto:tamura@hosei.ac.jp)

## ★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳  
幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

## ★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎  
幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

## ★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫  
幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士

◎本研究会は NS 研究会と CQ 研究会, ICM 研究会の併催です。  
研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月15日(木) 9:00~17:20

16日(金) 9:00~17:10

会場 長浜バイオ大学命北館 4F 中講義室 (長浜市田村町 1266.  
JR 田村駅前。http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/access/in  
dex.html TEL [0749] 64-8100 (内線 132) 矢守恭子 (朝日  
大)・宮川善彦 (長浜大))

議題 ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワー  
ク仮想化, 一般

15日午前

CQ-1. Popularity-Based Modelling of Flash Events in Synthetic  
Packet Traces

○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・  
Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

CQ-2. ロジスティック回帰分析法を用いたトラフィック予測手法  
に関する一検討 ○秋月俊寛 (早大)・市野将嗣 (電通大)・

甲藤二郎・小松尚久 (早大)

CQ-3. 通信規模を考慮した信頼性評価法の検討—評価法の検証,  
及び, 評価結果の活用方法についての一検討—

○越地弘順・船越裕介・唐澤秀一 (NTT)

CQ-4. P2P ライブ配信システムの開発とロンドン五輪における  
ライブ配信実証実験 ○西村 敏・青木勝典・中川俊夫・

遠藤洋介 (NHK)

15日午後 (13:30~)

NS-5. 共用 IP ネットワークを用いた SHV 映像の高速・高信頼  
伝送 ○木村直宏・小河原成哲・藤井竜也 (NTT)

NS-6. 遅延挿入による P2PTV トラフィック誘導方式の QoS/QoE  
評価 ○篠崎友希・三好 匠 (芝浦工大)・

オリヴィエ フルモー (UPMC)

NS-7. 情報収集型サーバにおける受信バッファサイズ及び並列  
コネクション数の複数 TCP 間協調動作に基づく QoS 制御

○坂尻康隆・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-8. 遅延差の大きなネットワークにおけるマルチパス TCP パ  
ケット分配方式の提案 ○及川永寿・中山泰一 (電通大)

共通-9. [特別講演] TMForum Team Action Week Baltimore  
2012 参加報告 ○中里彦俊・清水雅史 (NTT)・

佐々木圭一 (NTT コムウェア)

共通-10. [特別講演] TMF 東京スポットライト 2012 報告

○蔭 海鷹・北井 敦 (NTT コムウェア)

共通-11. [チュートリアル講演] インターネットの資源管理を  
めぐる最近の話題 後藤滋樹 (早大)

共通-12. [招待講演] OpenFlow/SDN とネットワーク仮想化

進藤資訓 (VMware K. K.)

16日午前

CQ-1. 省電力経路選択アルゴリズムの SDN への適用に関する  
一検討 ○山田亜紀子・清水 翔・今井悟史・

宗宮利夫 (富士通)

CQ-2. Improving OLSR for highly mobile and lossy networks

○Narangerel Dashbyamba・Celimuge Wu・

Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

CQ-3. 近接した複数無線 LAN のチャンネル間距離とスループ  
ット特性 ○森内彩加 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)・

小口正人 (お茶の水女子大)

CQ-4. 無線 LAN アクセスポイントのチャンネル内競合とチャ  
ネル間干渉を同時に考慮したチャンネル割当方法

○熊谷菜津美 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)・

小口正人 (お茶の水女子大)

ICM-5. TMF SID のモデリングパターンの実装に関する一検討  
西尾 学 (NTT)

ICM-6. サーバ監視における自動追跡モデル確立の初歩探求

ザイ建一 (日本信和)

ICM-7. エリア輻輳における輻輳状況の可視化に対する一検討

○遠藤大己・堀米英明・高橋謙輔 (NTT)

ICM-8. 偏在度の拡張による WDM ネットワークの拠点重要度  
の評価手法 ○鈴木功太郎・篠宮紀彦 (創価大)・

宮下卓也 (富士通)・田島一幸・内藤崇男 (富士通研)

ICM-9. 媒介中心性を用いた WDM ネットワークの設備増強拠  
点の考察 ○宮下正明・篠宮紀彦 (創価大)・

宮下卓也 (富士通)・田島一幸・内藤崇男 (富士通研)

16日午後 (13:10~)

NS-10. [奨励講演] 細粒度トラフィック予測を用いたトラフィック  
追従型省電力ルータにおけるレイテンシ保証 ○小谷野 壮・

阿多信吾 (阪市大)・岩本 久・矢野祐二・

黒田泰斗 (ルネサスエレクトロニクス)・井上一成 (奈良高専/阪大)・

岡 育生 (阪市大)

NS-11. サービスルータにおけるトラフィック動的制御の性能向上  
を目的としたフロー検知・カットスルー方式 ○西山聡史・

大坂 健・渡辺裕太・松岡康行・新井直樹 (NTT)

NS-12. Android タブレットによる OpenFlow ネットワークのビ  
ジュアル的取扱い ○澤 友規・藤田 将・

平野浩太郎 (国情科協)

NS-13. プラグアンドプレイによる GMPLS 網自動構築方式と相  
互接続実証 ○林 理恵・島崎大作・笹山浩二 (NTT)・

戸室知二・三輪賢一郎・大槻英樹 (NICT)

CQ-14. インセンティブによる通信トラフィックの動的制御の提案  
○新熊亮一 (京大)・矢守恭子 (朝日大)

CQ-15. Analysis of Privacy Setting Behaviors in Social Network  
ing Services ○Basilisa Mvungi・Ryoichi Shinkuma・

Tasturo Takahashi (Kyoto Univ.)

CQ-16. 低遅延オンラインゲームにおける IP 位置情報を用いた  
ユーザマッチングの解析的評価 ○相川洋平・屏 雄一郎・

大岸智彦・新井田 統・長谷川 亨 (KDDI 研)

CQ-17. サービス指向ノードを用いたスマートグリッド向け低遅  
延アクセスサービスの提案 ○久保亮吾・石田慎一・

西 宏章 (慶大)・田所将志・久保尊広・鈴木謙一・

吉本直人 (NTT)

NS-18. Potential-Based Routing における輻輳回避の検討

○可見友邦・原山美知子 (岐阜大)

NS-19. トラヒックエンジニアリングに適したトラヒック予測方法  
○大蔵達也・大下裕一・村田正幸(阪大)・高橋洋介・石橋圭介・塩本公平(NTT)

NS-20. 複数キューを有する出力ポートを考慮したリンク使用率の推定法  
○伊賀井清史・大木英司(電通大)

◎15日共通-13. の〔招待講演〕は、ネットワーク仮想化第二種研究会との共同招待講演です。

◎15日10:30~12:30 ネットワーク仮想化時限研究会(NV)(第二種研究会)併催プログラム参照:<http://www.ieice.org/~nv/%e7%a0%94%e7%a9%b6%e4%bc%9a/>

◎15日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

◎会場近辺のホテル情報は、<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/201211/hotel.pdf>を御覧下さい。

☆NS研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

12月13日(木), 14日(金) 愛媛大〔締切済〕テーマ:モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Homeネットワーク, 一般

1月24日(木), 25日(金) 熊本大〔未定〕テーマ:ネットワークソフトウェア(ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NWアプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW及びシステム信頼性, NW及びシステム評価, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典(NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇(NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆CQ研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

1月25日(金) 機械振興会館〔未定〕テーマ:映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 災害時のネットワークとコミュニケーション, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

布目敏郎(名工大)

TEL & FAX [052] 735-7785

岡本 淳(NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

E-mail: cq\_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆ICM研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

1月17日(木), 18日(金) 九州〔未定〕テーマ:ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

ICM研究会幹事 E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

第一種研究会開催案内

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

## ★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹

幹事 田仲正弘

日時 11月16日(金) 13:00~16:50

会場 京都大学学術情報メディアセンター北館3階講習室(京都市左京区吉田本町. 市バス京大農学部前から徒歩5分.  
<http://www.media.kyoto-u.ac.jp/> TEL [075] 753-7496 梶田将司)

議題 「サービス・クラウドの応用及びマッシュアップ」及び一般

1. 〔招待講演〕アカデミッククラウド:大学における教育・研究・業務を支えるクラウドのための研究開発

美濃導彦(京大/大学ICT推進協議会副会長)

2. 属性検索を効率化するためのHBaseテーブル設計の一考察

中村匡秀(神戸大)

3. サービスコンピューティングのためのHTML利用基盤の確立

須永 宏(阪工大)

4. ソフトウェア開発PBLのためのDaaSを利用した開発環境の構築

○佐伯幸郎(高知工科大)・井垣 宏(阪大)・

福安直樹(和歌山大)・まつ本真佑(神戸大)・

楠本真二(阪大)

5. クラウドソーシングによる一対比較を用いた翻訳品質の評価

○後藤真介・林 冬恵・中島 悠・石田 亨(京大)

6. クラウドを動的に利用するWebサービス連携のための動作記述

○鶴見直樹(早大)・石川冬樹(NII)・

本位田真一(NII/東大)・深澤良彰(早大)

## ★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三

幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 11月19日(月) 10:00~16:40

会場 大阪大学中之島センター講義室302(大阪市北区中之島4-3-53. 地下鉄御堂筋線:淀屋橋駅下車, 6番出口から徒歩16分. <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php> TEL [06] 6444-2100(会場) 中村雅一(奈良先端大)・多田和也(兵庫県立大))

議題 有機材料・一般

1. (チオフェン/フェニレン)コオリゴマー結晶からのレーザー発振と遅延発光

○柳 久雄・水野 斎(奈良先端大)・

佐々木史雄(産総研)・堀田 取(京都工繊大)

2. 真空蒸着された電極を有する素子における導電性高分子の状態変化が与える影響

○児玉充弘・多田和也(兵庫県立大)

3. 溶液塗布形状の制御を用いた作製した導電性高分子配向膜における熱処理効果

○東 卓也・山崎修幸・吉田浩之・

藤井彰彦・尾崎雅則(阪大)

4. ヒドロキシプロピルセルロースの可変色素子

○金原由惟・石原将市・宇戸禎仁(阪工大)

5. 垂直配向フッ化ビニリデン薄膜の面内極反転による強誘電特性

○井上敬章・小柴康子・三崎雅裕・石田謙司・

上田裕清(神戸大)

6. 自己組織化単分子膜の配向性評価

○村上拓也・

告 23

前田篤志 (阪府大高専)

午後 (13:50~)

7. 溶液プロセスによる低分子系カルバゾール誘導体をホストに用いた燐光有機 EL 素子特性 ○小田尚人・梶井博武・大森 裕 (阪大)
8. インピーダンス分光法による Alq3 系有機 EL 素子の ITO-有機層界面へのバッファ層挿入による寿命改善の分析 ○大城朝是・小西将弘・梶井博武 (阪大)・大塚岳夫 (ナカ協働研)・大森 裕 (阪大)
9. グラフォエピタキシーにより面内配向制御されたペンタセン FET を利用した THz 波センサの検討 ○吉岡勇多 (奈良先端大)・李 世光 (千葉大/奈良先端大)・上田智也・松原亮介・中村雅一 (奈良先端大)
10. 強誘電-常誘電相転移に伴う強誘電体 TGS ゲート有機トランジスタの特性変化 ○大森淳平・三崎雅裕・小柴康子・石田謙司・上田裕清 (神戸大)
11. p 型/n 型有機半導体上での強誘電性分子の配向特性と界面電気物性 ○大杉拓也・小柴康子・三崎雅裕・石田謙司・上田裕清 (神戸大)
12. 塗布可能材料を用いた積層型 NAND 回路の作製 ○小寺 勲・山内 博・國吉繁一・酒井正俊・飯塚正明・工藤一浩 (千葉大)

#### 【問合せ先】

松田直樹 (産総研) E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp  
 中村二郎 (NTT) E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

### ★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀  
 幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

日時 11月19日(月) 14:00~16:45  
 20日(火) 9:30~11:50

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53. 京阪中之島線: 中之島駅より徒歩約5分, 阪神本線: 福島駅より徒歩約9分. <http://www.onc.osaka-u.ac.jp> TEL [06] 6444-2100 (会場) 若家富士男)

議題 電子管と真空ナノエレクトロニクス及びその評価技術  
 19日

1. カーボン被覆フィールドエミッタの電子放射モデルの検討 (第1報) ○樋口敏春・佐々木正洋・遠藤俊宏・堀江翔太・山田洋一 (筑波大)・松本修二・福田茂樹 (高エネルギー加速器研究機構)・吉武道子 (物質・材料研究機構)
2. グラフェンエッジ冷陰極の作製と電子放出特性の評価 ○村上勝久 (筑波大)・山口尚登 (ラトガーズ大)・若家富士男・高井幹夫 (阪大)・Manish Chhowalla (ラトガーズ大)
3. 高温燃焼グラファイト電界放出源を用いた高電圧 X 線管 ○岩井勇輔・小池高寿・定塚淳生・羽山洋平・中村智宣・鬼塚好弘 (鬼塚硝子)・三村秀典 (静岡大)
4. アモルファスセレンとダイヤモンド冷陰極を用いた光検出器の評価 ○増澤智昭・国吉真吾・大西正徳・斎藤市太郎 (国際基督教大)・Koh, A.T.T.・Chua, D.H.C. (NUS)・山田貴壽 (産総研)・下澤達雄 (東大)・岡野 健 (国際基督教大)
5. スパッタプロセスを用いたスピント型電子源の作製

○吉田知也・長尾昌善・神田信子・西 孝 (産総研)・中野武雄 (成蹊大)

6. S 帯 2kW パルス MPM 用ミニ TWT の開発 ○宗廣孝継・小林潤一・吉田 満・松岡順一 (NCS)・上田芳信・開沼 聡 (NEC)

20日

1. 簡素化 PIC-FDTD シミュレーションによる高効率スミス・パーセルテラヘルツ超放射の解析 ○岡島亜希子・松井龍之介・畑 浩一 (三重大)
2. nc-Si MOS 冷陰極からの電子放射における光照射効果 ○嶋脇秀隆 (八戸工大)・根尾陽一郎・三村秀典 (静岡大)・若家富士男・高井幹夫 (阪大)
3. 電子ビーム誘起堆積三極構造 Pt 冷陰極からの縞状電子放出パターンの観測 ○北山智久・阿保 智・若家富士男・高井幹夫 (阪大)
4. フィールドエミッタアレイを用いた電子デバイスにおける空間電荷効果 ○後藤康仁・安友佳樹・辻 博司 (京大)
5. 表面プラズモン共鳴を用いたフォトカソードの量子効率増加の取り組み ○根尾陽一郎 (静岡大)・松本貴裕 (スタンレー電機)・三村秀典 (静岡大)

◎19日研究会終了後、懇親会を予定しています。是非御参加下さい。

☆ED 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

- 11月29日(木), 30日(金) 阪市大 [締切済] テーマ: 窒化物及び混晶半導体デバイス, 及び一般  
 12月17日(月), 18日(火) 東北大通研片平北キャンパス [締切済] テーマ: ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム  
 1月16日(水)~18日(金) 機械振興会館 (11月9日(金)) テーマ: 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

須原理彦 (首都大東京)  
 TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756  
 E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp  
 上田哲三 (パナソニック)  
 TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110  
 E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

### ★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀  
 幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

### ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰  
 幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

### ★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治  
 幹事 篠田和典・田中 有

日時 11月29日(木) 10:00~16:40  
 30日(金) 9:30~17:40

会場 大阪市立大学学術情報総合センター1階文化交流室 (大阪)



市住吉区杉本 3-3-138. JR 阪和線：杉本町（大阪市立大学前）  
駅下車，東口より徒歩約 5 分. <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access> TEL [06] 6605-2676 重川直輝)

### 議題 窒化物及び混晶半導体デバイス，及び一般

#### 29 日午前

1. 表面活性化ボンディングによるシリコン貼り合わせ構造の特性評価 ○梁 剣波・重川直輝（阪市大）
2. GaN 系デバイスの機械的転写のための剥離層としての層状窒化ホウ素 ○小林康之・熊倉一英・赤坂哲也・山本秀樹・牧本俊樹（NTT）
3. III-V 族窒化物薄膜の太陽電池応用 ○角谷正友・Liwen Sang・Mickael Lozac'h（物質・材料研究機構）
4. GaN の表面処理による表面フェルミ準位変化の推定 ○杉浦洋平・網谷良介・多次見大樹（工学院大）  
尾沼猛儀（東京高専）・山口智広・本田 徹（工学院大）
5. 大口径 Si 基板（6 インチ & 8 インチ）上の AlN, AlGaIn の高速成長 ○徳永裕樹・生方映徳・矢野良樹・山岡優哉・田淵俊也・山口 晃（太陽日酸）・松本 功（太陽日酸 EMC）

#### 29 日午後（13：30～）

6. GaN/AlGaIn/GaN 接合を有するダイオードにおける特異な I-V 特性 ○渡邊則之・横山春喜（NTT）・重川直輝（阪市大）
7. 単結晶  $\beta$ -Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 基板を用いた Pt/ $\beta$ -Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub> ショットキーバリアダイオード ○佐々木公平（*ケムラ*製作所/NICT）  
東脇正高（NICT/JST）・倉又朗人（*ケムラ*製作所）  
増井建和（光波）・山腰茂伸（*ケムラ*製作所）
8. Si 基板上 GaN 系 HEMT における紫外光照射時の過渡電流評価 ○常家卓也・分島彰男・江川孝志（名工大）
9. GaN 上に ALD 成膜した Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> を用いた MIS ダイオードの電気的特性 ○岩田康宏・久保俊晴・江川孝志（名工大）
10. プロセス条件が AlGaIn/GaN ヘテロ MOS 構造特性に与える影響 ○堀 祐臣・谷田部然治・馬 万程・橋詰 保（北大）
11. 原子層堆積 Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> を用いた絶縁ゲート型 GaN-HEMT の閾値シフト低減 ○尾崎史朗・多木俊裕・金村雅仁・今田忠紘・中村哲一・岡本直哉・宮島豊生・吉川俊英（富士通研）
12. Effect of Passivation on Drain Current Dispersion for AlGaIn/GaN HEMTs ○Md. Tanvir Hasan・Hirokuni Tokuda・Masaaki Kuzuhara（Univ. of Fukui）

#### 30 日午前

1. 非極性 GaN 基板上への選択 MOVPE 成長 ○神野大樹・岡田俊祐・三宅秀人・平松和政（三重大）  
江夏悠貴（三菱化学）・長尾 哲（三菱化学科学技術センター）
2. DERI 法を用いた InGaIn 系ナノ構造の RF-MBE 成長 ○荒木 努・上松 尚・阪口順一・王 科（立命館大）  
山口智広（工学院大）・Euijoon Yoon（ソウル大）  
名西徳之（立命館大）
3. ドループ改善に向けた窒化物半導体 np 構造 LED の作製 ○森田隆敏・加賀 充・桑野侑香・松井健城・竹内哲也・上山 智・岩谷素顕（名城大）・赤崎 勇（名城大/名大）
4. Mg 共添加 GaN:Eu を活性層とした赤色発光ダイオードの作製 ○大谷龍輝・関口寛人（豊橋技科大）  
高木康文（浜松ホトニクス）・岡田 浩・若原昭浩（豊橋技科大）
5. Effects of internal fields and potential inhomogeneity on the lasing properties of InGaIn-based green laser diodes fabricated on (0001) polar substrates ○Yoon Seok Kim・Akio Kaneta・

Mitsuru Funato・Yoichi Kawakami（Kyoto Univ.）  
Takashi Miyoshi・Shin-ichi Nagahama（Nichia）

6. サファイア基板上へのモスアイ構造の形成方法の検討及び LED への応用 ○土屋貴義・梅田慎也（名城大）  
近藤俊行・北野 司・森 みどり・鈴木敦志・寺前文晴（エルシード）・関根 均（DIC）・岩谷素顕・竹内哲也・上山 智・赤崎 勇（名城大）

#### 30 日午後（13：15～）

7. n-GaN 表面層を有するトンネル接合及び p-GaN の Mg アクセプタ活性化の検討 ○桑野侑香・加賀 充・森田隆敏・山下浩司・矢木康太・岩谷素顕・竹内哲也・上山 智・赤崎 勇（名城大）
8. AlGaIn 深紫外 LED の高効率化への取り組み ○富田優志（埼玉大）・藤川紗千恵（理研）・水澤克哉・豊田史朗・鎌田憲彦（埼玉大）・平山秀樹（理研）
9. 減圧 MOVPE 法による Si-doped AlGaIn 多重量子井戸の作製とその深紫外光源応用 ○落合俊介・高木麻有奈（三重大）  
福世文嗣（三重大/浜松ホトニクス）・三宅秀人・平松和政（三重大）・小林祐二・吉田治正（浜松ホトニクス）
10. ウルツ鉍構造 InGaIn のバンド構造とオージェ再結合の解析 ○波多腰玄一・布上真也（東芝）
11. InN の非輻射性キャリア再結合過程におけるキャリア輸送及び熱活性化過程の影響 ○今井大地・石谷善博（千葉大）  
王 新強（北京大）・草部一秀・吉川明彦（千葉大）
12. 近赤外光デバイスに向けた径方向 InP/InAsP 量子井戸ナノワイヤの形成 ○河口研一・中田義昭・江川 満・山本剛之（富士通研）・荒川泰彦（東大）
13. 医療・生体イメージング光源に向けた 1 ミクロン帯域発光 InAs 量子ドットの作製 ○日野雄司・尾崎信彦（和歌山大）・大河内俊介（NEC）・池田直樹・杉本喜正（物質・材料研究機構）
14. AlGaAs 系フォトリソニック結晶作製に向けた ICP ドライエッチングマスクに関する研究 ○榎野裕二・北林佑太・石川史太郎・近藤正彦（阪大）
15. モノリシック光源に向けたゲルマニウム発光素子の研究 ○谷 和樹・斎藤慎一・小田克矢（光電子融合基盤技研）  
奥村忠嗣・峰 利之（日立）・井戸立身（光電子融合基盤技研）
16. 光スペクトル制御回路の設計と位相誤差補償による波長特性平坦化 ○池田達彦・浅倉秀明（慶大）・水野隆之・高橋 浩（NTT）・津田裕之（慶大）

◆JST/CREST「太陽光を利用した独創的クリーンエネルギー生成技術の創出」共催

◎29 日研究会終了後，懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆ED 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 17 日（月），18 日（火） 東北大通研片平北キャンパス  
〔締切済〕 テーマ：ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム

1 月 16 日（水）～18 日（金） 機械振興会館 [11 月 9 日（金）]  
テーマ：化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

須原理彦（首都大東京）

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

E-mail : michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail : ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

☆CPM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 阿蘇ファームランド [11月10日(土)] テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆LQE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日(木) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 半導体レーザー関連技術, 及び一般

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス [未定] テーマ: フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail : kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成18年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の4月1日時点で32歳以下の若手研究者(学生を含む)です。積極的に御投稿下さい。

## ——中国支部における開催——

### ★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治

幹事 鷺崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

日時 11月1日(木) 10:00~16:55

2日(金) 9:20~17:30

会場 広島市立大学講堂小ホール (広島市安佐南区大塚東3-4-

1. JR 横川駅からバスまたはアストムライン大塚駅。 <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html> 中田明夫)

議題 ソフトウェアサイエンス, 理論

1日午前 SS プログラミングと数理モデル

SS-1. 観光スケジューリングのための天候変化パターン生成アルゴリズム ○加藤宏和・村田佳洋 (広島市大)

SS-2. 三値関数を実現する Malbolge 命令列の発見のための SAT エンコーディング ○安藤 聡・酒井正彦・坂部俊樹・草刈圭一朗・西田直樹 (名大)

SS-3. 決定性線形下降木変換器における頂点問合せ保存 ○宮原一喜・橋本健二・関 浩之 (奈良先端大)

SS 検証 ○川井彬央・岸 知二 (早大)

4. モデル検査技術を用いたユースケース記述分析手法の提案 ○川井彬央・岸 知二 (早大)

5. AOP を応用した実用的なソースコードモデル検査手法 ○古賀陽一郎 (東芝)・田辺良則 (NII)

1日午後 SS 検証と品質 (13:15~)

SS-6. ネットワークの振る舞いに依存するシステムへの形式的手法の適用の検討 ○吉田信明 (京都高度技研)・張 漢明・沢田篤史 (南山大)・中村行宏 (京都高度技研)

SS-7. 並行システム記述におけるフォールトパターンに関する考察 ○張 漢明・野呂昌満・沢田篤史・横森励士・吉田 敦・蜂巣吉成 (南山大)

SS-8. 不適切な return null に対するリファクタリング ○木村秀平・肥後芳樹・井垣 宏・楠本真二 (阪大)

SE テスト ○磯田 誠・徳永雄一 (三菱電機)

9. 制御ソフトウェア向けテストケース自動生成方式の提案 ○磯田 誠・徳永雄一 (三菱電機)

10. GUI アプリケーションのテスト駆動開発の一手法 ○石井良亮・岸 知二 (早大)

SE/SS 報告 ○石井良亮・岸 知二 (早大)

11. MODULARITY : aosd.2012 参加報告 ○紙名哲生 (東大)・亀井靖高 (九大)・青谷知幸 (北陸先端大)

12. ウィンターワークショップ2012・イン・琵琶湖開催報告 ○丸山勝久・大森隆行 (立命館大)・井垣 宏 (阪大)・中村匡秀 (神戸大)・伏田享平 (NTT データ)・角田雅照 (奈良先端大)・風戸広史 (NTT)・岡田譲二 (NTT データ)・岡野浩三 (阪大)・坂本一憲 (早大)・本橋正成 (カルチャーワークス)・岸 知二 (早大)・野田夏子 (NEC)・小林隆志・林 晋平 (東工大)

SS-13. 第27回ソフトウェア工学の自動化国際会議 (ASE 2012) 参加報告 ○林 晋平 (東工大)・丸山勝久 (立命館大)・佐伯元司 (東工大)

2日午前 SE 行動・データ解析 ○丸山勝久 (立命館大)・井垣 宏 (阪大)・中村匡秀 (神戸大)・伏田享平 (NTT データ)・角田雅照 (奈良先端大)・風戸広史 (NTT)・岡田譲二 (NTT データ)・岡野浩三 (阪大)・坂本一憲 (早大)・本橋正成 (カルチャーワークス)・岸 知二 (早大)・野田夏子 (NEC)・小林隆志・林 晋平 (東工大)

SS-13. 第27回ソフトウェア工学の自動化国際会議 (ASE 2012) 参加報告 ○林 晋平 (東工大)・丸山勝久 (立命館大)・佐伯元司 (東工大)

2日午前 SE 行動・データ解析 ○丸山勝久 (立命館大)・井垣 宏 (阪大)・中村匡秀 (神戸大)・伏田享平 (NTT データ)・角田雅照 (奈良先端大)・風戸広史 (NTT)・岡田譲二 (NTT データ)・岡野浩三 (阪大)・坂本一憲 (早大)・本橋正成 (カルチャーワークス)・岸 知二 (早大)・野田夏子 (NEC)・小林隆志・林 晋平 (東工大)

2日午前 SE 行動・データ解析 ○丸山勝久 (立命館大)・井垣 宏 (阪大)・中村匡秀 (神戸大)・伏田享平 (NTT データ)・角田雅照 (奈良先端大)・風戸広史 (NTT)・岡田譲二 (NTT データ)・岡野浩三 (阪大)・坂本一憲 (早大)・本橋正成 (カルチャーワークス)・岸 知二 (早大)・野田夏子 (NEC)・小林隆志・林 晋平 (東工大)

1. プログラム実行履歴を用いたコードクローン検出手法 ○井岡正和 (阪大)・吉田則裕 (奈良先端大)・井上克郎 (阪大)

2. ソースファイルの派生関係の自動抽出 ○神田哲也・石尾 隆・井上克郎 (阪大)

3. 重み付き有向グラフを用いたセンサ隣接関係の自動推定手法 ○緑川達也・岸 知二 (早大)

4. トピック抽出に基づく開発者の活動に着目したリポジトリ可視化手法 ○山田悠太・藤原賢二・吉田則裕・飯田 元 (奈良先端大)

SS コードクローン ○山田悠太・藤原賢二・吉田則裕・飯田 元 (奈良先端大)

SS-5. オープンソースソフトウェアにおけるコードクローンの消失に関する調査 ○堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)

SS-6. A clone detection approach for a collection of similar large-scale software products ○Eunjong Choi (Osaka Univ.)・Norihiro Yoshida (NAIST)・Yoshiki Higo・Katsuro Inoue (Osaka Univ.)

2日午後 SS 開発支援とマネジメント ○Eunjong Choi (Osaka Univ.)・Norihiro Yoshida (NAIST)・Yoshiki Higo・Katsuro Inoue (Osaka Univ.)

SS-7. 派生プロダクト群における要求・実装間のトレーサビリティ抽出 ○土屋良介・鷺崎弘宜・深澤良彰 (早大)・加藤正恭・川上真澄・吉村健太郎 (日立)

SS-8. 画面トレースの解析による web アプリケーションのユースケース再構築手法の提案 ○及川 翔・神谷年洋 (公立はこだて未来大)

SS-9. 相手はかどり協調の理論とシミュレーション 鈴木雄一 (神戸大)

SE マネジメント ○鈴木雄一 (神戸大)

10. ソフトウェア開発における成果物関連性 (トレーサビリティ)

- ティ)の複雑さの計測と単純化方法の提案 ○北村充晴・高木正則・山田敬三・佐々木 淳(岩手県立大)
11. Ajax アプリケーションの保守容易性推測のためのソフトウェアメトリクス ○平山祐資(早大)・小野康一(日本IBM)・深澤良彰(早大)
12. モデルに基づいた工数見積もりにおける重み付き Moving Window 法の評価 ○天壽聡介(岡山県立大)

#### SE 開発支援

13. フレームワークサンプルアプリケーションを利用した実行シナリオの実装支援手法 ○縄江保宏・新田直也(甲南大)
14. デルタ抽出を用いたアプリケーションフレームワークの利用例抽出ツールの開発と評価 ○山根敬史・新田直也(甲南大)
15. コードからの抽象ユーザインタフェース情報抽出手法 ○井上尚紀・岸 知二(早大)
16. メタモデル進化を考慮したモデル変換開発手法の提案 ○権藤見徳・岸 知二(早大)

#### ◆情報処理学会；ソフトウェア工学研究会連催

##### 【問合せ先】

鷺崎弘直(早大)  
TEL & FAX [03] 5286-3272  
E-mail: washizaki@waseda.jp

○最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。  
<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/>

#### ★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 森井昌克 副委員長 菊池浩明・盛合志帆  
幹事 井上大介・西出隆志 幹事補佐 白石善明

日時 11月22日(木) 10:45~17:15  
会場 国民宿舎みやじま杜の宿(廿日市市宮島町大元公園内。  
<http://www.morinoyado.jp/access/index.html> TEL [082] 424-6264 大東俊博(広島大)

##### 議題 通信セキュリティ, 一般

- VANET のためのランダムネットワーク符号化を用いた証明書失効リスト配布について ○山本泰資・松川智己(名工大)・廣友雅徳(佐賀大)・毛利公美(岐阜大)・白石善明(名工大)
- グレースケール多重化二次元コードとその応用 ○古本啓祐・渡辺優平・森井昌克(神戸大)
- センサデータを収集し活用するサービスにおける利用者の安全性確保の考察 ○麻生享路・後藤厚宏(情報セキュリティ大) 午後(13:15~)
- マルウェアのバイナリを用いた機械学習によるパッカの特定手法の提案 ○伊沢亮一・班 涛・井上大介(NICT)
- マルチモーダル分析による不正通信の検出 ○笠間貴弘・衛藤将史・井上大介(NICT)
- マーク付きパケット受信率に基づく確率的パケットマーキング手法の評価 ○後藤成聡・金岡 晃・岡本栄司(筑波大)・岡田雅之(JPNIC)
- 組織内部攻撃に対するリスク緩和のためのネットワーク設計支援システムの提案 ○長谷川皓一(名大)・新 麗(IIJ-II)・加藤雅彦(IIJ)・山口由紀子・八幡博史・高倉弘喜(名大)
- TPM の AIK 証明書の発行プロセスの支援 ○篠田昭人(名工大)・毛利公美(岐阜大)・

第一種研究会開催案内

- 白石善明(名工大)・野口亮司(豊通シスコ)
9. 属性ベース暗号を利用したファイル名暗号化ファイル共有サービスの実装と評価 ○後藤めぐ美・大東俊博・西村浩二・相原玲二(広島大)
10. 帰宅困難者支援システムにプライバシー情報を登録する住民の安心感の要因に関する検討 ○奥村香保里・白石善明(名工大)
11. プライバシー保護確率検定システムの実装と評価 ○佐藤智貴・菊池浩明(東海大)・佐久間 淳(筑波大)
12. SSL/TLS サイトの脆弱性・弱鍵対策はそのサイトが属する業界に左右されるのか?—renegotiation 機能と RSA 鍵長に関するクロロリングで得られたこと— 須賀祐治(IIJ)
- 研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

##### 【問合せ先】

三宅 優(KDDI 研)  
TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510  
E-mail: icss-request@mail.ieice.org

○最新情報は、ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/~icss/index.html>

#### ——九州支部における開催——

#### ★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久  
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 11月15日(木) 14:30~17:40  
16日(金) 9:30~11:50  
会場 鹿児島大学工学部情報工学科棟 1F71号教室(鹿児島市郡元1-21-24. <http://www.kagoshima-u.ac.jp/access/index.html>)

##### 議題 高精細度画像処理・表示, 一般

##### 15日

- 再構成型超解像技術の限界 ○合志清一(工学院大)・越前 功(NII)
- IE-2. 局所領域における輝度分散を利用するフラクタル超解像処理 ○松田優樹・包 躍(東京都市大)
- IE-3. Total Variation 正則化分離を用いた学習型超解像の性能改善 ○川本祐大・作田泰隆・後藤富朗・平野 智・桜井 優(名工大)
- IE-4. 超解像自由視点画像合成の性能評価と画質改善 ○浜田宏一(東大/日立)・中島 諒(東大)・高橋桂太(電通大)・苗村 健(東大)
- IE-5. 回折イメージングにおける情報論的実像推定 ○塩谷浩之・八反田俊輔(室蘭工大)・前原洋祐・郷原一寿(北大)
- IE-6. 近赤外線 LED と画像認識を用いた鉄道信号設備の視認性検査手法 ○長峯 望・鶴飼正人(鉄道総研)
- IE-7. 局所的な画像特徴を利用した投票に基づく高速顔位置・姿勢推定 ○乗富修蔵(ATR/同志社大)・内海 章・篠沢一彦・萩田紀博(ATR)・高橋和彦(同志社大)

##### 16日

- IE-1. KINECT のリハビリアプリケーション実用化 ○狐崎直文(青学大)・安達栄治郎・増田 卓(北里大)・水澤純一(テレビッス)

2. 文化財ビデオ動画閲覧のための網状インターフェース  
○千田智博・川嶋稔夫 (公立はこだて未来大)

IE-3. バリア式裸眼 3D 表示法のモアレ対策及びバリア作成  
○平野雅之・包 躍 (東京都市大)

IE-4. カメラを用いた複数 3D ディスプレイの自動視野統合  
包 躍・○牧田直樹 (東京都市大)

5. 視差レイヤーに基づく Depth-Image-Based-Rendering  
○安部文子・清水郁子 (東京農工大)

◆映像情報メディア学会; メディア工学研究会/映像表現&コンピュータグラフィックス研究会連係

☆IE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
12月6日(木), 7日(金) 福井市地域交流プラザ [締切済]  
テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

#### 【問合せ先】

久保田 彰 (中大)  
E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

### ★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏  
幹事 安藤芳晃・平山浩一 幹事補佐 中嶋徳正

日時 11月15日(木) 9:30~17:25  
16日(金) 9:30~17:20  
17日(土) 9:30~11:10

会場 阿蘇プラザホテル (阿蘇市内牧温泉 1287. JR 阿蘇駅より車で10分 (送迎予定) <http://www.asoplaza.co.jp/> <http://www.asoplaza.co.jp/guidance/access.html>)

#### 議題

15日午前 伝搬・レーダ (A会場) (9:30~11:35)

1. 電磁波伝搬新論と遅れ電流波源  
高橋秀臣 (城所数値解析耐雷研)
2. 干渉型合成開口レーダイメージのためのバリオグラムに基づく高精度位置合わせ手法  
○ダヌディルジョドニー・廣瀬 明 (東大)
3. ALOS により観測された SAR 干渉画像に対する陰影からの形状推定と位相特異点に基づく評価による修正  
○夏秋 嶺・廣瀬 明 (東大)
4. 散乱電力分解法における体積散乱成分の評価について  
○佐藤亮一・山口芳雄・山田寛喜 (新潟大)
5. MF 帯地上波伝搬特性の実測値と計算値の比較  
○西岡泰弘・稲沢良夫・小西善彦 (三菱電機)

15日午後 数値解析 (I) (A会場) (13:00~15:05)

6. 損失媒質平板による電磁波散乱の一般化境界条件に基づく数値解析  
○稲田翔吾・松島 章 (熊本大)
7. トーラス形状における磁界形積分方程式  
菅原賢悟・○千葉英利 (三菱電機)
8. PMCHWT を用いたナノ領域電磁界解析の基礎検討  
○岸本誠也・大貫進一郎・芦澤好人・中川活二 (日大)・HuangShao Ying (Singapore Univ. of Tech. and Design)・ChewWeng C. (Univ. of Illinois)

9. Muller の定式化を用いた周期領域における電磁波動散乱問題の数値解法について  
○新納和樹・西村直志 (京大)
  10. モーメント法と解の重ね合わせを用いた多体物体からの電磁波散乱の解析法  
○田中雅宏・田中嘉津夫 (岐阜大)
- 光導波路 (A会場) (15:20~17:25)

11. 非線形磁気誘導導波路における変調不安定性の観測  
○玉山泰宏・中西俊博・北野正雄 (京大)
12. 2次元導波路アレイ系の伝搬モードの近似積分を用いた摂動解析  
狐崎直文 (青学大)
13. A-O 誘電体導波路における光波モードと SAW との横型相互作用  
宮崎保光 (愛知工科大)
14. 光 CT 用の吸収性クラッドをもつ格子型グリッドの反射・透過特性  
宮崎保光・○高橋港一 (愛知工科大)・後藤信夫 (徳島大)
15. 光直接記録に向けた局所的円偏光生成時間の検討  
大貫進一郎・○加藤 司・芦澤好人・中川活二 (日大)・ChewWeng C. (Univ. of Illinois)

15日午前 電波伝搬 (B会場) (9:30~11:10)

16. 回折波を SBR 法に組み込むためのアルゴリズムの提案  
○前田崇秀・白井 宏 (中大)
17. SBR 法を用いた 3次元空間の伝搬推定  
○細田大輝・白井 宏 (中大)・佐藤亮一 (新潟大)
18. PSO アルゴリズムに基づく不均質伝搬環境下の基地局配置  
内田一徳・○李 峻赫・武末正文 (福岡工大)・本田純一 (電子航法研)
19. 1波及び2波モデルによる複雑系伝搬環境下の電界分布推定  
内田一徳・○重富圭亮・武末正文 (福岡工大)・本田純一 (電子航法研)

15日午後 伝搬・散乱 (B会場) (13:00~15:05)

20. Rain Attenuation of Electromagnetic Waves by Multiple Spheres Model with Various Raindrop-Size Distributions  
○Nguyentien Dong・田中雅宏・田中嘉津夫 (岐阜大)
21. 円形断面をもつ伝送線路の高周波領域における複素伝搬定数  
○松木 誠・松島 章・西坂真一 (熊本大)
22. 導波路系の端面による平面波の散乱: 表面積分による表現  
小見山 彰 (阪電通大)
23. 電力ケーブルにおける二次元異方性媒質の取扱い—アフィン写像と楕円関数の応用例—  
渡辺和夫 (フジタ/千葉大)
24. 銅クラッドアルミ線における高周波抵抗解析式の導出  
○上滝千尋・官 寧 (フジタ)

高周波近似 (B会場) (15:20~17:25)

25. モーメント法に対する位相変化に基づいた領域分割法の適用と計算負荷の周波数無依存化  
○小濱臣将・安藤 真 (東工大)
  26. 補正項を加えた修正エッジ法線積分と物理光学面積分の一貫性と散乱面曲率依存性の検討  
○呂 鵬飛・安藤 真 (東工大)
  27. 導体円柱による高周波散乱界に対する近似解析  
○後藤啓次・レホアンロク (防衛大)
  28. Metamaterial 平面上における遷移領域近傍の反射・散乱界の高周波近似解析  
○河野 徹 (防衛大)・石原豊彦
  29. フランジ付導波管開口における導波管モードの高周波近似解析  
○阿部祐志・白井 宏 (中大)
- 16日午前 解析的手法 (A会場) (9:30~12:00)

1. 垂直ダイポール波源により完全導体円板に誘起される電流分布  
○黒木啓之・柴崎年彦 (都立産技高専)・木下照弘 (東京工芸大)
2. 厚い容量性アイリスによる周期構造導波路の FDTD 解析  
○吉士真輝・椛沢栄基・黒木啓之・柴崎年彦 (都立産技高専)・木下照弘 (東京工芸大)
3. 四角柱による平面 H 波の回折: Wiener-Hopf 法による解析

- 西澤朋之・小林一哉 (中大)
4. 媒質ストリップによる平面波の回折 (I) — E 波入射の場合 —  
○西林聖宜 (中大) ・  
ベリエフエルダー I (ウクライナ国立科学アカデミー) ・  
越川正一 (ヨコ) ・小林一哉 (中大)
5. 媒質ストリップによる平面波の回折 (II) — H 波入射の場合 —  
○工藤雄太 (中大) ・  
ベリエフエルダー I (ウクライナ国立科学アカデミー) ・  
越川正一 (ヨコ) ・小林一哉 (中大)
6. 地表面に沿うサブヘルツ電磁波の伝搬 塩澤俊之 (阪大)
- 16 日午後 マイクロ波 (A 会場) (13:00~15:05)
7. スロット結合パッチ FSS を用いた平面レンズアンテナ  
王 瑜・○城戸晶史・出口博之・辻 幹男 (同志社大)
8. 直交偏波共用リフレクタレーの広帯域化のための素子形状について ○豊田鷹史・出口博之・辻 幹男 (同志社大)
9. 素子間相互結合の抑制を考慮したリフレクタレー任意形状素子の最適化について ○麻田智也・出口博之・辻 幹男・  
青木祐樹 (同志社大)
10. 誘電体共振器とメッシュ状導体板を用いた 3 次元積層型 CRLH メタマテリアル ○佐藤良明・上田哲也・  
門 勇一 (京都工繊大) ・伊藤龍男 (UCLA)
11. 器械運動する可変容量コンデンサからの不要放射の時間領域解析 ○清水悠平・平田晃正 (名工大) ・  
黒田道子 (東京工科大)
- 特別講演 (A 会場) (15:20~17:20)
12. 計算電磁気学について考えていたこと 生野浩正
13. 電磁界理論研究で出会った “アイデア・着想・思い付き”  
田中嘉津夫 (岐阜大)
- 16 日午前 アンテナ・EMC (B 会場) (9:30~12:00)
14. 終端条件を考慮したテーパースロットアレーアンテナの放射／散乱特性解析 ○田中 泰・西岡泰弘・稲沢良夫・  
小西善彦 (三菱電機)
15. 地中探査用アンテナの偏波特性 ○太田 亘・吉田大祐・  
西本昌彦・田邊将之 (熊本大)
16. 粗面形状の計測値からの粗さのパラメータの推定について  
西本昌彦 (熊本大)
17. 誘電体レンズの特性評価と設計に関する検討  
○平山浩一・安井 崇 (北見工大) ・辻 寧英 (室蘭工大)
18. Cole-Cole フィッティングパラメータに基づいた生体組織電気定数を用いたばく露評価 ○佐々木謙介・和氣加奈子・  
渡辺聡一 (NICT)
19. Uncertainty Estimation on Quasi-static Computational Electromagnetic Methods for Human Dosimetry Due to Contact Current below 100 MHz ○Chan Kwok Hung ・  
Junya Hattori ・Laakso Ilkka ・  
Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)
- 16 日午後 他系・数値解析 (II) (B 会場) (13:00~15:05)
20. 暑熱環境下において太陽光をばく露した子供及び高齢者における温度上昇解析 ○大泉卓也・野村知輝・  
平田晃正 (名工大)
21. 暑熱負荷に対する高齢者の体内温度及び発汗量の数値解析  
○野村知輝・大泉卓也・ラクソイルッカ ・  
平田晃正 (名工大)
22. MFV 法を用いた任意形状物体の 2 次元電磁波シミュレーション ○村上弘和 (岐阜大) ・田中雅宏・  
田中嘉津夫 (岐阜大)

23. CIP-BS 法における各種個別技術の開発 ○高橋祐輔 ・  
安藤芳晃 (電通大)
24. 低軌道人工衛星で受信した VHF 帯電磁波形に対する考察  
○森本健志 (近畿大) ・菊池博史 ・吉田 智 ・牛尾知雄 ・  
河崎善一郎 (阪大)

17 日午前 周期構造 (A 会場) (9:30~11:10)

1. 誘電体円柱とエアホール円柱で構成された多層誘電体導波路による伝搬特性とエネルギー分布 ○尾崎亮介 ・  
山崎恆樹 (日大)
2. 周期的に配列された円柱の位置が変動した構造による電磁波散乱問題の定式化 ○渡辺仰基 ・中武義将 (福岡工大)
3. スペクトル領域法を用いた 2 次元ビラー型フォトニック結晶導波路の Floquet モード解析 ○中武義将 ・  
渡辺仰基 (福岡工大)
4. 共振器を有するエアプリッジ型 2 次元フォトニック結晶スラブ曲がり導波路の特性解析 ○中 良弘 ・中村有水 (熊本大)

17 日午前 最適化 (B 会場) (9:30~11:10)

5. PSO を用いた埋設物探索アルゴリズムでの集団の多様性を考慮した更新法 楠 敦志 (大分大)
6. 関数展開法に基づくトポロジー最適化における展開関数と構造単純化に関する検討 ○加藤 駿 ・辻 寧英 (室蘭工大) ・  
安井 崇 ・平山浩一 (北見工大)
7. 関数展開法に基づくトポロジー最適化によるフォトニック結晶導波路デバイスの分散特性最適化に関する検討  
○後藤裕之 ・辻 寧英 (室蘭工大) ・安井 崇 ・  
平山浩一 (北見工大)
8. VLF 帯大地-電離層導波管伝搬を用いた電離圏電子密度プロファイルの同定に関する数値検討 ○伊藤 仁 ・  
安藤芳晃 (電通大)

◆電気学会；電磁界理論技術委員会連催

◎16 日研究会終了後に同会場にて懇親会 (夕食を兼ねて) を予定しています。奮って御参加下さい。

【問合先】

安藤芳晃 (電通大)

E-mail: emt-secretary@ns.iceice.org

### ★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄  
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

### ★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会 (EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治  
幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 11 月 16 日 (金) 9:30~18:10

17 日 (土) 9:30~15:50

会場 大分大学旦野原キャンパス (大分市旦野原 700. 大分駅前もしくはトキハデパート前①乗り場から大分バス「大南団地・高江ニュータウン」「大分大学」行きに乗車し、「大分大学正門」もしくは「大分大学 (構内)」下車※土曜日は「大分大学正門」で下車し、徒歩 10 分。http://www.oita-u.ac.jp/category/access.html TEL (097) 554-7837 秋田昌憲)

議題 異種メディア融合、コンテンツ処理、メディア検索、電子透かし、一般

16 日午前

1. 周波数軸変換とピーク強調を併用したロンバード音声の認識  
○佐藤有悟・緑川洋一・秋田昌憲 (大分大)
2. 口唇画像の濃淡情報を用いた数字音声認識の基礎的検討  
○清田 卓・緑川洋一・秋田昌憲 (大分大)
3. 非最小位相音響空間においても音声強調が可能となる2マイク  
クロホンアレーシステムの提案 ○岸本涼鷹・桑原佑輔・  
吉岡拓人・藤井健作 (兵庫県立大)・棟安実治 (関西大)・  
森本雅和 (兵庫県立大)
4. 周波数領域マルチチャネルシステム同定アルゴリズムの提案  
○横谷祥史・酒井龍矢・藤井健作 (兵庫県立大)・  
棟安実治 (関西大)・森本雅和 (兵庫県立大)
5. 非最小位相音響空間における残響低減法に関する検討  
○岸田裕士・藤井健作 (兵庫県立大)・棟安実治 (関西大)・  
森本雅和 (兵庫県立大)
6. MTF に基づいたパワーエンベロープ回復処理における統合  
的な雑音残響除去 ○鶴木祐史・森田翔太 (北陸先端大)・  
Lu Xugang (NICT)
7. 非音声区間情報を用いた補助関数型独立ベクトル分析による  
音声強調 ○鈴木政隆 (東大)・小野順貴 (NII)・谷口 徹・  
酒井 優・河村聡典 (東芝)・Miquel Espi・  
嵯峨山茂樹 (東大)

16日午後 (13:30~)

8. 周波数と波面の乱れを最小化する窓枠型スピーカアレイの駆  
動法 ○時岡 綾 (東工大)・安藤彰男 (東工大/NHK)
9. 適応形マイクロホンアレーにおける性能劣化の検討  
○森 一馬・金田 豊 (東京電機大)
10. 実環境雑音下におけるインパルス応答測定波形の最適切り出  
し方法の検討 ○渋澤 功・金田 豊 (東京電機大)
11. 高騒音下における車内放送音声の最適音量の検討  
○間嶋 匠・東海林 彩・金田 豊 (東京電機大)・  
山本 聡・今村勇人 (八幡電気産業)
12. Data hiding scheme for digital-audio in AM radio broadcast-  
ing systems ○Nhut Minh Ngo・Masashi Unoki・  
Ryota Miyachi (JAIST)・Yo-iti Suzuki (Tohoku Univ.)
13. 客観的評価値を用いたデータを埋め込んだ音響信号品質の推  
定の基礎検討 近藤和弘 (山形大)
14. 時間周波数領域におけるステレオ間位相差への分散埋め込み  
に基づく音響情報ハイディング 小野順貴 (NII)
15. 第1回音響電子透かしコンテスト実施結果とその講評  
○西村 明 (東京情報大)・荻原昭夫 (近畿大)・  
鶴木祐史 (北陸先端大)
16. [招待講演] 補助情報による音響信号の価値創造  
伊藤彰則 (東北大)

17日午前

1. プライバシーと著作権を保護するデジタル画像取引システム  
のためのDWTとSVDに基づく電子透かしの手法  
○仙石 祐・日置尋久 (京大)
2. 可逆電子透かしの埋め込み容量及び品質の改善  
○杉村 諒・岩村恵市 (東京理科大)・越前 功 (NII)
3. 可逆透かしを用いたJPEGモザイク手法 ○山崎淳也・  
岩村恵市 (東京理科大)・越前 功 (NII)
4. カメラを利用した難視性パターンからの情報抽出評価  
○小田俊輔・岩村恵市 (東京理科大)・金田北洋 (キヤノン)
5. 商品コード用バーコードの互換性を維持した秘匿化と大容量  
化 ○寺浦信之 (テラ研)・櫻井幸一 (九大)
6. 文字の選択的隠蔽 ○稲井浩平・フォン ヤオカイ・

17日午後 (13:10~)

7. OFDM-type Spread Spectrum Watermarking Scheme  
○Minoru Kuribayashi・Masaki Hakka・  
Masakatu Morii (Kobe Univ.)
8. スペクトル拡散型電子透かしのIHCに基づく評価の報告  
○山本隆博・川村正樹 (山口大)
9. Kirchhoff-Helmholtz 積分方程式の逆問題と順伝搬に基づく  
音場推定 ○岡本拓磨・榎本成悟・西村竜一 (NICT)
10. Narrowband ANC using variable step-size FXLMS algo-  
rithm ○Kazunari Doi・Boyan Huang・Yegui Xiao・  
Akira Ikuta (Prefectural Univ. Hiroshima)
11. 振幅変動の有限性を考慮した音声信号処理法と実環境への適  
用 ○生田 顕・肖 然 (県立広島大)・  
長谷川浩治 (広島県立総合技研)・太田光雄 (広島大)
12. 主観評価実験における被験者の状況把握に関する研究  
○近藤善隆・河納隼一・重黒木啓介・平居安康・  
福島 学 (日本文理大)・松本光雄 (九大)・  
柳川博文 (千葉工大)・黒岩和晴 (日本文理大)

◆日本音響学会; 電気音響研究会共催

◎16日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので、是非御  
参加下さい (19時30分より、大分駅周辺)。

☆EA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日 (木), 14日 (金) NII [締切済] テーマ: プライン  
ド信号処理, 一般

1月24日 (木), 25日 (金) 同志社大室町キャンパス寒梅館  
[11月9日 (金)] テーマ: 応用 (電気) 音響, 超音波, 一  
般 (音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

☆EMM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月29日 (火), 30日 (水) 東北大 [11月9日 (金)] テー  
マ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

西村 明 (東京情報大)

TEL & FAX [043] 236-4658

E-mail: akira@rsch.tuis.ac.jp

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 11月17日 (土) 10:30~17:15

会場 佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館2階多目的セミ  
ナー室 (佐賀市本庄町1. 佐賀駅バスセンター4番乗り場から  
市営バス11番「相応行」または12番「東与実行」, 63番「佐  
賀大学・女子短大前」行で「佐大前」下車 (約20分). 佐賀駅  
からタクシーで約15分. 佐賀空港からタクシーで約20分.

http://www.saga-u.ac.jp/access/ TEL [0952] 28-8506 岡崎泰久)

#### 議題 e-Learning 運用／一般

1. 携帯情報端末を利用した学習支援システムの開発と効果検証  
○松本 潤・松木裕二・盧 存偉 (福岡工大)
2. 小中学校教諭による植物図鑑 iPad アプリケーションの評価  
梶山朋子 (青学大)
3. Mizar による大学数学向け高度遠隔教育用コンテンツ開発  
○井戸貴也・岡崎裕之・山崎 浩・師玉康成 (信州大)
4. 就職活動支援のための情報共有システムの開発  
○進藤佳明・真田博文・竹沢 恵・松崎博季・上野健治 (北海道工大)

#### 午後

5. 漢字手書き学習支援システムにおける学習コンテンツ管理ツールの開発  
○井上朋美・中村理美・中島範子・園田貴章・田中久治・渡辺健次・岡崎泰久 (佐賀大)
6. 漢詩作成支援システムの提案—漢詩が持つ制約と詩語表の利用による支援—  
○邱 楓 (芝浦工大)・中村恵一 (住友重機械)・古宮誠一 (芝浦工大)
7. 日本語文提示システムの日本語文読書困難傾向を持つ生徒への適用  
○村山慎二郎・青木恭太 (宇都宮大)・原田浩司 (鹿沼みみ小)
8. DLS (Dynamic Listening and Speaking Method) 英語学習法を元にしたスピーキング練習支援システムの開発  
○仲谷佳恵・室田真男 (東工大)
9. プログラミング学習履歴分析のための系列パターンマイニング手法の開発  
○野崎 要・森本康彦 (学芸大)・中村勝一 (福島大)・宮寺庸造 (学芸大)
10. 推敲過程の蓄積・理解支援を重視した研究資源管理システム  
○安齋洋行・中山祐貴・神長裕明 (福島大)・宮寺庸造 (学芸大)・中村勝一 (福島大)
11. スライドベースのオンライン講義における学習者の理解を促すための教師エージェントの設計と実装  
○松田恵理菜・室田真男 (東工大)
12. 受講者観察システムにおける Saccade 有無の判別  
○中北真偉・中川祐治 (愛媛大)
13. 高等教育における e ラーニングシステムの操作手引書作成—テクニカル・ライティングにおける「暗黙知」と「形式知」—  
爲川雄二 (東北大)
14. 触読学習を可能にした音声ガイド付き点字 e-learning  
○大田美香 (神戸大病院)・小田 剛・三浦研爾 (神戸大)・梅田由紀恵・塚本紗代・花岡澄代・松浦正子 (神戸大病院)・渡辺哲也 (新潟大)・喜多伸一 (神戸大)・前田英一・菅野亜紀・高岡 裕 (神戸大病院)
15. オンライン練習問題システムへの模試機能の追加  
飯高敏和 (熊本学園大)

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月 関東 [未定] テーマ：若手支援企画／一般

1月 12日 (土) 東京農工大小金井 [11月5日 (月)] テーマ：特別な教育的ニーズへの対応と人にやさしい教育／一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合せ先】

渡辺健次 (佐賀大)

TEL [0952] 28-8828

E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

第一種研究会開催案内

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

#### ★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

#### ★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉

幹事 鶴岡行雄・榎原 茂

幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

◎本研究会は IN 研究会と MoMuC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月21日 (水) 13:30~18:25

22日 (木) 9:30~14:55

会場 福岡工業大学 FIT ホール 2F セミナー室 (JR 福工大前駅から徒歩 2 分。学内マップの 19 番の建物。http://www.fit.ac.jp/daigaku/gaiyo/koutsu TEL [092] 606-4948 若原俊彦)

議題 ホームネットワーク、ユビキタスネットワーク、クラウドコンピューティング、コンテキストウェア、位置情報サービス、e-コマース及び一般

#### 21日

IN-1. 個人向けモバイル環境センシングを活用した付加価値サービスの検討 ○大櫛章裕・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)

IN-2. ランダム移動シンクノードへのセンサデータ配送手法 ○鶴巻利樹・松垣博章 (東京電機大)

IN-3. センサデータ品質保証のための中継ノードの試作とその移動方法 ○木ノ内隆幸・松垣博章 (東京電機大)

IN-4. センサデータ収集効率化のためのマルチオーバレイネットワーク ○梶本修平・朝香卓也 (首都大東京)

MoMuC-5. Time Space Stream: 時間的・空間的位置関係に基づくパーソナル動画のストリーム生成サービス

○谷川 諒・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)

MoMuC-6. テキストマイニングによる Web ブラウジング表示制御法 ○横 俊孝・若原俊彦 (福岡工大)

MoMuC-7. カラー二次元コードの照明条件及び表示条件に対する読み取り特性の検討 ○サムレットウィット ダムリ・若原俊彦 (福岡工大)

共通-8. [招待講演] 次世代 Web 技術 HTML5 の動向とコンテンツ流通サービスへのインパクト 桑野秀豪 (NTT)

共通-9. [招待講演] 無線メッシュネットワークの国際的動向と将来 池田 誠 (福岡工大)

#### 22日午前

IN-1. Steiner tree の省エネルギールーティングへの適用検討 松浦 洋 (NTT)

IN-2. Fast-FACE プロトコルの性能改善 ○江崎智和・松垣博章 (東京電機大)

IN-3. A Performance Enhancement Method of Tor Circuit by Employing Flags Selection on Cooperative Relays

○Kale Timothy Girry・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

IN-4. 車載ノード間無線アドホック通信による仮想信号機の実現手法 ○阿部恵介・松垣博章 (東京電機大)

IN-5. 公衆無線 LAN によるデータダウンロードサービスにおけるユーザの協調行動の有効性に関する研究 ○木村龍明・奥田隆史・井手口哲夫・田 学軍 (愛知県立大)

IN-6. 無線 LAN における NAV 期間の制御による高優先チャネルアクセス制御 ○熊谷雄太・大坐島 智・加藤聰彦 (電通大)

22 日午後 (13:15~)

MoMuC-7. 多目的遺伝的アルゴリズムを用いたメッシュルータ配置における様々な遺伝的オペレータの検討 ○小田哲也・坂本真仁・池田 誠・パロリ レオナルド (福岡工大)

MoMuC-8. スマートフォンを用いた車椅子用の屋内ナビ支援手法 ○Wattanavarangkul Nattapob・若原俊彦 (福岡工大)

MoMuC-9. Wi-Fi Direct と Bluetooth を用いた要救助者捜索手法に関する考察 ○鈴木規之・Jane Louie Fresco Zamora・榎原 茂・山口 英 (奈良先端大)

MoMuC-10. モバイルデバイスによる被災者捜索システム ○永井智大 (電通大)・鶴岡行雄 (NTT)

☆IN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月13日(木), 14日(金) 広島市大〔締切済〕テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般

1月24日(木), 25日(金) 鹿児島県産業会館〔11月9日(金)〕テーマ: ソーシャル・ネットワーク, セキュリティ管理, 災害時情報流通, オーバーレイネットワーク, P2P ネットワーク, 自律分散制御及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in\_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆MoMuC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 仙台〔未定〕テーマ: モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワーク, RFID, 一般及び技術展示

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

鶴岡行雄 (NTT)

榎原 茂 (奈良先端大)

E-mail: momuc-sec-contact@mail.ieice.org

◎MoMuC 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~momuc/jpn/>

## ★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司

幹事 平野 章・斎藤恒聡

## ★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月21日(水) 13:00~18:05

22日(木) 9:00~14:40

会場 市民会館崇城大学ホール大会議室 (熊本市中央区桜町 1-3. 熊本交通センターから徒歩 2 分。 [http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/content/web/asp/kiji\\_detail.asp?ID=4119&mid=6&LS=25](http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/content/web/asp/kiji_detail.asp?ID=4119&mid=6&LS=25) TEL [096] 355-5235 (会場))

議題 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

21 日

OCS-1. デジタルホモダイン受信 BPSK 偏波 OTDR の提案・実証—相対位相揺らぎの推定補償法— ○小関 健・工藤輝彦 (上智大)・小熊 学 (NTT)・岩崎王亮 (アリッ)

OCS-2. 光周波数同期網を前提とする 12.5 GBit/sBPSK ホモダイン検波 ○水鳥 明・菅本真陸・古賀正文 (大分大)

OCS-3. 3 kHz 線幅レーザを用いた高精度注入電流制御光 PLL ○菅本真陸・水鳥 明・古賀正文 (大分大)

OCS-4. 長距離・多分岐型 10G/1G-EPON 用上りバースト対応中継器の伝送実験 ○大石将之・釣谷剛宏・西村公佐 (KDDI 研)

5. 次世代地上放送に向けた伝送技術—STC-SDM 方式による偏波 MIMO 伝送向け SFN に関する検討— ○蒨 拓也・村山研一・田口 誠・朝倉慎悟・渋谷一彦 (NHK)

6. 次世代地上放送に向けた伝送技術—同一チャンネル干渉対策の一検討— ○朝倉慎悟・村山研一・田口 誠・蒨 拓也・渋谷一彦 (NHK)

7. 整合の影響を考慮した連絡無線のアンテナ特性の解析 ○小郷直人・池田哲臣 (NHK)

8. 特定ラジオマイク用低遅延デジタル伝送方式の検討 ○田口 誠・中村円香・居相直彦・岡野正寛・濱住啓之 (NHK)

OFT-9. 可変電気遅延器を用いた光線路無瞬断切替システムの基本検討 ○真鍋哲也・納戸一貴・片山和典・井上雅昌・東 裕司 (NTT)

OFT-10. 光ファイバカールコードの振動に伴う出射光の偏光動特性と侵入位置検知への応用 ○水鳥明洗・立田光廣 (千葉大)

OFT-11. ファイバ・ファブリ・ペロ・エタロン透過周波数の広



温度域特性 ○張 欣・立田光廣 (千葉大)

22 日午前

OCS-1. MU 形マルチコアファイバコネクタ ○境目賢義・長瀬 亮 (千葉工大)・渡辺健吾・斎藤恒聡 (古河電工)

OCS-2. 弱結合型 MCF における長手方向パワー減衰  
○濱口浩輝・石田 格・竹永勝宏・松尾昌一郎 (フジクラ)・齊藤晋聖・小柴正則 (北大)

OCS-3. 広波長域モード分割多重伝送に向けた数モードフォトリック結晶ファイバの検討 ○森 崇嘉・坂本泰志・和田雅樹・山本貴司・馬 麟・半澤信智・辻川恭三・山本文彦 (NTT)

OFT-4. 非対称モードカプラを用いたモード多重伝送実験  
○半澤信智 (NTT)・齊藤晋聖 (北大)・坂本泰志・松井 隆・富田 茂 (NTT)・小柴正則 (北大)

OFT-5. 低クロストークコア拡大空孔遮蔽型マルチコアファイバ 姚 兵・○大蘭和正・小倉 明 (日立電線)・関谷晴彦エジソン・齊藤和也 (豊田工大)

OFT-6. 間欠接着型 4 心テープを用いた超細径高密度光ケーブルの開発 ○宮野 寛・山本圭吾・平間隆郎・佐藤文昭・高見正和・佐藤平次・長尾美昭・石上茂久 (住友電工)

22 日午後

7. 二重化リング通信のための共有メモリ制御方法の開発  
○大西直哉・鮫田芳富・酒井宏隆・児島 敦・林 俊文・新田能之 (東芝)

8. 分散アンテナシステムと小型基地局におけるスループット性能差に関する考察 ○田代太一・山本敬治・中村幸太・大野健一 (東芝)

OCS-9. 光アクセス技術によるモバイルブロードバンド  
○寺田 純・吉本直人 (NTT)

OCS-10. TWDM-PON 方式を用いた光アクセス系の波長アンバドリング 笠 史郎 (ソフトバンクテレコム)

◆電気学会; 通信研究会, 映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催

◎21 日の研究会終了後, 懇親会を予定しています。

☆OCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 愛媛大 [11 月 9 日 (金)] テーマ: コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2 月 28 日 (木), 3 月 1 日 (金) 機械振興会館 [11 月 30 日 (金)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

斎藤恒聡 (古河電工)  
TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340  
E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ  
<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し,

第一種研究会開催案内

翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) アステイトくしま [11 月 2 日 (金)] テーマ: 一般

2 月 28 日 (木), 3 月 1 日 (金) 機械振興会館 [11 月 30 日 (金)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)  
TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340  
E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT 研究会では, 2011 年 1 月より「奨励賞」, 「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので, 積極的な御投稿をお願い致します。選奨規定については, OFT ホームページを参照下さい。  
<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

## ★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正

幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 11 月 21 日 (水) 13:30~17:10

22 日 (木) 9:00~15:00

会場 石垣市民会館 (石垣市浜崎町 1-1-2. [http://www.city-ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/cityhall/city\\_hall.htm](http://www.city-ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/cityhall/city_hall.htm) TEL [0980] 82-1515・1516 (石垣市民会館) 岡崎浩司 (NTT ドコモ))

議題

21 日

1. MHz 帯高調波アクティブ・ロードブルシステムを用いた GHz 帯高調波処理高効率電力増幅器の設計手法

○石川 亮・高山洋一郎・本城和彦 (電通大)

2. 一般化した出力結合条件による小型・広帯域マイクロ波ドハティ増幅器構成の提案 ○高山洋一郎・本城和彦 (電通大)

3. [特別講演] 2012 年 IEEE MTT-S 国際マイクロ波シンポジウム出席報告 ○清水隆志 (宇都宮大)・大平昌敬 (埼玉大)・岡崎浩司 (NTT ドコモ)・陳 春平 (神奈川大)・

檜橋祥一 (NTT ドコモ)・ボカレル ラメシュ (九大)・山中宏治 (三菱電機)

4. [特別講演] マイクロ波帯におけるセルラ利用の可能性—石垣島における 11 GHz 帯フィールド実験紹介—

小田恭弘 (NTT ドコモ)

22 日午前

1. 発振回路の Q ファクタを適用したスパイラルインダクタ等の値回路解析 伊山義忠 (熊本高専)

2. ダブルループ帰還 FET 発振回路の Q ファクタ解析及び実験による SSB 雑音評価 ○崎原孫周・南 昂孝・

ウリン トヤ・上原秀幸・大平 孝 (豊橋技科大)

告 33

3. 左手系フェライト導波管の入出力特性改善に関する検討  
田中紀久・○大久保賢祐・岸原充佳・滝本裕則 (岡山県立大)
4. 誘電体基板測定用平衡形円板共振器法の測定可能範囲に関する検討  
小林禎夫 (サムテック)
5. 遮断円筒導波管法用 80 GHz 共振器を用いた誘電体平板の複素誘電率の温度依存性測定  
○小又大祐・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
6. FET スイッチ内蔵の散乱体を用いた空間変調方式の検討  
○長谷川光平・石川 亮・斉藤 昭・本城和彦 (電通大)
- 22 日午後 (13:30~)
7. フリップチップ実装した 60 GHz 帯受信フロントエンド CMOSIC の試作  
○津留正臣・田中俊行・稲垣隆二・谷口英司・中山正敏 (三菱電機)・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)
8. 定時間積分方式による高速・高精度位相検出回路  
○平井暁人・堤 恒次・高橋貴紀・谷口英司 (三菱電機)
9. 同相クロックで動作する 2 つの PH-DDS を用いたデジタル信号源の位相差調整型不要波抑圧手法  
○橘川雄亮・田島賢一・川上憲司 (三菱電機)

◆IEEE MTT-S Nagoya Chapter, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter 協賛

◎21 日 16:30~17:10 に特別講演に関連する実験装置の見学会を行います。

☆MW 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 13 日 (木), 14 日 (金) 山梨大 [締切済] テーマ: マイクロ波一般

1 月 16 日 (水)~18 日 (金) 機械振興会館 [11 月 9 日 (金)]  
テーマ: 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

2 月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鴨田浩和 (ATR)

TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508

E-mail: kamoda@atr.jp

加屋野博幸 (東芝)

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801

E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

## ★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治  
幹事 森山甲一・片上大輔

日時 11 月 26 日 (月) 13:00~17:20

会場 九州大学伊都キャンパスウエスト 2 号館 521 教室 (福岡市西区元岡 744, 峯恒憲)

議題「コンテキストを意識した知識の利用」及び一般

1. 特徴語に注目した Smith-Waterman アルゴリズムに基づく剽窃ソースコードの自動検出手法  
○日比健太・雲居玄道・三川健太・後藤正幸 (早大)
2. ECOC 法における分類器の予測精度を考慮した分類法に関する一考察  
○石橋想太郎・三川健太・石田 崇・後藤正幸 (早大)
3. ニューラルネットワークによる数独の難易度判定手法の提案

- 天野秀亮・篠埜 功・杉本 徹 (芝浦工大)
4. タブレット端末に基づく分散ディスプレイシステムにおける Web 同期機構について  
○今井翔太・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
5. 参加者の映像をスクリーンにオーバーレイするユーザ参加型サイネージシステムの試作  
○丹羽佑輔・山田裕之・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
6. ユーザ参加型サイネージシステムのための仮想タッチ領域の試作  
○山田裕之・丹羽佑輔・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
7. 段階的平面検出を用いた室内環境における点群データの高速セグメンテーション  
○レイノルズ ジェームズ俊介・菅原俊治 (早大)
8. Web からの行動プロセス抽出手法の提案  
○高橋公海・佐藤進也・松尾真人 (NTT)

## ★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊・前原文明  
幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至

## ★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀨裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也  
幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

◎本研究会は WBS 研究会と ITS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11 月 26 日 (月) 13:00~17:30

27 日 (火) 10:00~15:05

会場 熊本大学工学部共用棟黒髪 1 (黒髪南地区) 1F 情報電気電子講義室 (熊本市黒髪 2-39-1. JR 熊本駅から都市バス: 第 1 環状線 [駅 2] (大学病院・大江渡鹿経由)「子飼橋」下車徒歩 10 分. <http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou> TEL [096] 342-3638 内村圭一)

議題 一般, ポスター講演

26 日 特別講演・招待講演

ITS-1. [特別講演] IEEE ICVES2012 及び IEEE ITSC 2012 参加報告  
橋本尚久 (産総研)

WBS-2. [特別講演] PIMRC'12 会議報告 稲森真美子 (慶大)

ITS-3. [招待講演] ホワイトスペースを用いた自律分散マルチホップ車車間通信実証実験  
○井原 隆・

アルトゥンタシュ オヌル・クレモ ハリス・

田中英明 (トヨタ IT 開発センター)・安藤圭佑・吉村 力・

塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)・大竹賢明・

藤井威生 (電通大)

ポスター講演

ITS-4. [ポスター講演] メッシュレス時間領域法を用いた任意形状領域における EV 音場シミュレーション  
○大井祥栄 (電通大)・土屋智将・藤田宜久・黒川弘章・

生野壮一郎 (東京工科大)

ITS-5. [ポスター講演] 周辺構造物からの反射波を利用した推定誤差低減手法の特性評価  
○吉田友祐・羽多野裕之・

杉山和哉 (静岡大)

ITS-6. [ポスター講演] ITS スポットを想定した路上障害物検知に関する研究  
○築瀬京平・藤井雅弘・

渡辺 裕 (宇都宮大)  
ITS-7. [ポスター講演] 携帯電話のセンサーを用いた位置推定システムに関する一検討 ○小河原 亮・藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)

ITS-8. [ポスター講演] 自動隊列走行のための目標走行地点作成アルゴリズム ○河藤雄基・坂本 徹・福本勝功・谷 侑樹・和田友孝・岡田博美 (関西大)

ITS-9. [ポスター講演] 追従車両に対する先行車両の加減速情報の提示効果—被験者実験による運転への影響の考察—  
○佐藤宏明 (東京理科大/産総研)・齋藤裕一・橋本尚久 (産総研)・伊丹 誠 (東京理科大)・加藤 晋 (産総研)

WBS-10. [ポスター講演] 磁界共振型ワイヤレス複数電力伝送におけるデータ通信 ○野口慎平・稲森真美子・真田幸俊 (慶大)

WBS-11. [ポスター講演] 部屋体積を考慮した人体近傍 UWB チャネルの統計的モデル化とその検証 ○広瀬 幸・小林岳彦 (東京電機大)

WBS-12. [ポスター講演] MB-OFDM システムにおける AIC を用いた周波数共用システムの検出に関する一検討  
○佐藤 峻・藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)

WBS-13. [ポスター講演] 小型無人航空機間無線リンクの通信性能評価 ○山川泰典 (明大)・滝沢賢一・三浦 龍 (NICT)・井家上哲史 (明大)

WBS-14. [ポスター講演] レイリーフェージング環境下におけるブロック符号化 ZCZ-CDMA 方式の性能評価  
○大田晃弘・松元隆博・松藤信哉 (山口大)

WBS-15. [ポスター講演] 送信電力制御を用いた OFDM 非線形ひずみの抑圧法の MU-MIMO 伝送への適用に関する検討  
○長田 弦・竹淵翔矢・前原文明 (早大)

WBS-16. [ポスター講演] UAS を用いたネットワーク符号化に関する一検討 ○小野文枝 (NICT)・落合秀樹 (横浜国大)・三浦 龍 (NICT)

#### 27 日午前

WBS-1. ノード飛び越しするマルチホップ通信のシミュレーションによるスループット解析 ○中 敬之・大内浩司 (静岡大)

WBS-2. アダマール符号の並列組合せによる定振幅マルチコード伝送方式の拡張法 ○太田達也・大内浩司 (静岡大)

WBS-3. マルチチャネル信号伝送における各チャネルのインパルス雑音の非独立性を利用した受信機構成 ○石牟礼涼太・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)

WBS-4. 電力線ネットワークを介した多地点情報収集における中継器でのパケット圧縮を利用したトラフィック低減手法  
○谷口知弘・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)

#### 27 日午後

ITS-5. EV 走行時発生音の音場シミュレーション  
○土屋智将 (東京工科大)・大井祥栄 (電通大)・藤田宣久・黒川弘章・生野壮一郎 (東京工科大)

ITS-6. 車載カメラからの道路補助標識画像の高解像度化及び認識  
○平野和弘・上瀧 剛・内村圭一・日高大貴 (熊本大)

ITS-7. 信号機制御による交通渋滞緩和システムの性能向上に関する研究  
○西原稔貴・I Gede Pasek Suta Wijaya・内村圭一・上瀧 剛 (熊本大)

ITS-8. 3次元道路データ内からの道路地物の認識  
○関 俊明・上瀧 剛・内村圭一 (熊本大)

ITS-9. 視覚情報を用いた歩行者への注意喚起効果の検討  
○山本直樹・内海 章・多田昌祐・篠沢一彦・萩田紀博 (ATR)  
◎26 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

#### ☆WBS 研究会

##### 【問合せ先】

藤井雅弘 (宇都宮大大学院工学研究科情報システム科学専攻)  
〒321-8585 宇都宮市陽東 7-1-2  
TEL & FAX [028] 689-6280  
E-mail : fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

☆ITS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2 月 [未定] テーマ: ITS 画像処理, 映像メディア, 視覚及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

##### 【問合せ先】

高取祐介 (神奈川工科大工学部電気電子情報工学科)  
〒243-0292 厚木市下荻野 1030  
TEL [046] 242-0030 (内線 3365)  
E-mail : takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

#### ★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠  
幹事 竹中 崇・中武繁寿

#### ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰  
幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

#### ★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅  
幹事 松岡俊匡・竹内 健  
幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

#### ★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努  
幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

#### ★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康  
幹事 中村友洋・土屋達弘

#### ★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・渡邊 実  
幹事 渡邊誠也・山田 裕 幹事補佐 山口佳樹

◎本研究会は VLD/DC (共催)/IPJSJ-SLDM (連催) 研究会と CPM/ICD 研究会, CPSY 研究会, RECONF 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11 月 26 日 (月) 10:30~17:15  
27 日 (火) 9:00~18:00  
28 日 (水) 9:00~17:15

会場 九州大学医学部百年講堂 (福岡市東区馬出 3-1-1, 地下鉄

箱崎線：馬出九大病院前下車，徒歩8分。http://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/ TEL [092] 642-6257 杉原 真)

議題 デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—

26 日午前 動作合成(1) (10:30~11:45)

VLD-1. Java VM を搭載した再構成可能なシステムのためのリソースシェアリング手法—インスタンス生成タイミングでの再構成— ○伊藤仁貴・田中清史(北陸先端大)

VLD-2. 配列アクセス実行条件の厳密な解析に基づくスカラリプレイス技術 ○竹鼻宏晃・瀬戸謙修(東京都大)

VLD-3. 島内消費電力量見積もりにもとづく温度特性を考慮した RDR アーキテクチャ向け高位合成手法 ○川村一志・柳澤政生・戸川 望(早大)

システム設計技術(1) (10:30~11:45)

VLD-4. 組込みシステムのアーキテクチャ探索における性能ボトルネック解析 ○安藤友樹(名大)・柴田誠也(NEC)・本田晋也(名大)・富山宏之(立命館大)・高田広章(名大)

VLD-5. 再帰的制約記述を用いた組合せ列挙 ZDD の効率的な構築手法 ○岩下洋哲・川原 純(JST)・湊 真一(北大)

VLD-6. Partially-Programmable Circuits with CAMs ○Atsushi Matsuo・Shigeru Yamashita(Ritsumeikan Univ.)・Hiroaki Yoshida(Fujitsu Laboratories of America)

26 日午後 招待講演(1) (13:00~13:50)

VLD-7. [招待講演] 組込み自己テストによるフィールド高信頼化について 梶原誠司(九工大)

プロセッサアーキテクチャ (14:30~15:20)

CPSY-8. スヌープキャッシュをベースにした投機的メモリアクセス機構の提案 ○関口祐司・十鳥弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史・馬場敬信(宇都宮大)

CPSY-9. 履歴情報詳細化によるバス予測の高精度化の検討 ○十鳥弘泰・馬場敬信・大川 猛・大津金光・横田隆史(宇都宮大)

招待講演(2) (14:30~15:20)

VLD-10. [招待講演] LUMIX ミラーレス一眼 G シリーズの開発発について 房 忍(パソニック)

招待講演(3) (16:00~16:50)

CPSY-11. [招待講演] 世界の基本技術となった way selection cache 井上弘士(九大)

セキュア設計 (16:00~17:15)

VLD-12. 鍵ベース構成の State Dependent Scan Flip-Flop を用いたセキュアスキャンアーキテクチャ ○跡部悠太・史 又華・柳澤政生・戸川 望(早大)

VLD-13. Camellia 暗号回路に対するスキャンベース攻撃手法 ○小寺博和・柳澤政生・戸川 望(早大)

VLD-14. 歩留まり改善のための2つの遅延値に調整可能な遅延素子に対する遅延調整手法 ○増子 駿・小平行秀(会津大)

ディメンダブル設計(1) (16:00~17:15)

VLD-15. ランダム・テレグラフ・ノイズに起因した組合せ回路遅延ゆらぎに対する基板バイアスの影響

○松本高士(京大)・小林和淑(京都工繊大)・小野寺秀俊(京大)

VLD-16. 低電力かつ省面積な耐ソフトエラー多重化フリップフロップ—DICE ACFF— ○久保田勘人・増田政基・小林和淑(京都工繊大)

VLD-17. 商用 FPGA のばらつきと BTI による経年劣化 ○石井翔平・小林和淑(京都工繊大)

27 日午前 ネットワークオンチップ (9:00~10:15)

CPSY-1. 3 次元 NoC におけるバスとネットワークを併用したルーティング手法 ○加賀美崇紘・松谷宏紀(慶大)・鯉淵道紘(NII)・天野英晴(慶大)

CPSY-2. ネットワークオンチップにおける仮想チャンネル利用法の再考 ○笹河良介・藤枝直輝・高前田(山崎)伸也・吉瀬謙二(東工大)

CPSY-3. Network Performance of Multifunction On-chip Router Architectures ○Shinya Takamaeda-Yamazaki・Naoki Fujieda・Kenji Kise(Tokyo Inst. of Tech.)

最適化 (9:00~10:15)

VLD-4. 先見近傍解生成による焼きなまし法の並列化手法 ○太田悠介・伊藤和人(埼玉大)

VLD-5. GPGPU による準ニュートン法を用いた解析的配置の高速化手法 ○小平行秀(会津大)・高島康裕(北九州市大)

VLD-6. プログラマブル論理デバイスを対象とした配置配線問題の整数計画法に基づく定式化 ○西山大樹・稲木雅人・若林真一・永山 忍(広島市大)

応用システム (10:30~11:20)

CPSY-7. トリプル DES 回路に組み込まれたハードウェアトロイの試作とその検知手法の検討 ○望月陽平・熊木武志・藤野 毅(立命館大)

CPSY-8. 再構成可能なリアルタイムビジョンアーキテクチャの FPGA への実装 ○平岩丈治・天野英晴(慶大)

動作合成(2) (10:30~11:45)

VLD-9. 高位合成における繰り返し回数未決定ループに対する投機実行手法 ○荒木達真・高瀬英希・高木一義・高木直史(京大)

VLD-10. 束データ方式による非同同期パイプライン回路を対象とした動作合成手法 ○濱田尚宏・齋藤 寛(会津大)

VLD-11. クロック周波数向上のための動作合成におけるコントローラ設計手法 ○祖父江亮哉(立命館大)・原 祐子(奈良先端大)・稗田拓路・谷口一徹・富山宏之(立命館大)

27 日午後 招待講演 (13:00~13:50)

RECONF-12. [招待講演] FPGA の応用事例—並列計算機とネットワーク— 児玉祐悦(筑波大)

リコンフィギャラブルアクセラレータ (13:50~14:40)

RECONF-13. SOTB を用いた低消費電力リコンフィギャラブルアクセラレータの設計 ○蘇 洪亮・王 蔚涵・天野英晴(慶大)

RECONF-14. 組込みシステムを対象としたリコンフィギャラブル Java アクセラレータの一検討 ○高田誠也・尼崎大樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則(熊本大)

低消費電力設計 (13:00~14:40)

VLD-15. Accurate I/O Buffer Impedance Self-Adjustment using Vth and Temperature Sensors ○Zhi Li・Hiroshi Tsutsui・Hiroyuki Ochi・Takashi Sato(Kyoto Univ.)

VLD-16. 加算器アーキテクチャ比較・評価のための消費エネルギー解析モデルの提案 ○小西奈緒・宇佐美公良(芝浦工大)

VLD-17. HDR アーキテクチャを対象とした同時実行指向スケジューリングを用いたクロック設計考慮低電力化高位合成手法 ○赤坂宏行・柳澤政生・戸川 望(早大)

VLD-18. SAAV: AVHDR アーキテクチャを対象とした動的複数電源電圧指向の低電力化高位合成手法 ○阿部晋矢(早大)・宇佐美公良(芝浦工大/早大)・柳澤政生・戸川 望(早大)

システム設計技術(2) (13:00~14:40)

DC-19. 解の再利用を用いたSATに基づくテスト生成における  
インスタンス順序と変数割当順序の決定法 ○上田健司・  
岩垣 剛・市原英行・井上智生(広島市大)

DC-20. 耐過渡故障データパス合成における演算器バインディン  
グのためのヒューリスティックアルゴリズム ○中祖達也・  
大窪涼子・岩垣 剛・市原英行・井上智生(広島市大)

VLD-21. Dynamic Timing-Test Scheduling for Post-Silicon  
Skew Tuning Mineo Kaneko (JAIST)

VLD-22. DAG パタンを効率よく共有するためのデータ構造の  
提案 松永裕介(九大)

ポスターセッション (15:00~16:20)

基調講演 (17:00~18:00)

共通-23. [基調講演] 動的再構成プロセッサ(DRP)技術の現  
状と今後の展望 ○本村真人(北大)・古田浩一朗・  
栗島 亨・志田靖斉(ルネサスエレクトロニクス)

28日午前 リンコンフィギャラブルアーキテクチャ(9:00~10:15)

RECONF-1. スケールフリーネットワークに基づくFPGA配線  
構造の提案 ○早馬悟司・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・  
末吉敏則(熊本大)

RECONF-2. 0.18um CMOS プロセスダイナミック光再構成型  
ゲートアレイVLSI ○窪田貴之・渡邊 実(静岡大)

RECONF-3. 偏光依存性ホログラムメモリを用いた9コンテキ  
スト光再構成型ゲートアレイ ○森脇 烈・  
渡邊 実(静岡大)・荻原昭文(神戸高専)

LSI・集積回路及び実装技術 (10:00~11:40)

ICD-4. 車載表示器向け映像処理LSI "Cammue"  
○小川吉大・加藤義幸・篠原 隆・藤田偉雄・  
峯岸孝行(三菱電機)

ICD-5. SoC高速電力見積システムFPA2の開発  
佐々木貴行(富士通研)

CPM-6. 多層BD記録学習向け信号品質評価回路の開発  
○中村悠介・峯邑浩行・黒川貴弘・星沢 拓(日立)

ICD-7. Dual-Rail RSLメモリ方式を利用したサイドチャネル攻  
撃耐性を有するAES暗号回路 ○橋本祐樹・汐崎 充・  
久保田貴也・藤野 毅(立命館大)

配置配線 (9:00~10:15)

VLD-8. アナログ集積回路での近接共通重心配置制約を考慮し  
た配置手法の研究 ○藤吉邦洋・上 慧太郎(東京農工大)

VLD-9. Routability-oriented Common-Centroid Capacitor Ar  
ray Generation Jing Li・Bo Yang (DAL)・○Qing Dong・  
Shigetoshi Nakatake (Univ. of Kitakyushu)

VLD-10. ピアプログラマブルロジックVPEXの配置配線ツール  
を用いた性能評価 ○大谷 拓・堀 遼平・  
上岡泰輔(立命館大)・吉川雅弥(名城大)・  
藤野 毅(立命館大)

リコンフィギャラブル応用 (10:30~11:45)

RECONF-11. 大規模グラフの最大クリーク問題に対する部分再  
構成可能FPGAを用いたハードウェア解法

○三浦智香子・永山 忍・若林真一・稲木雅人(広島市大)

RECONF-12. インデックス生成器を用いたコネクタ6の必勝パ  
ターン検出器に関して ○椎原康士郎・井戸川裕樹・  
中原啓貴(鹿児島大)

RECONF-13. エクステンシブル・プロセッシング・プラット  
フォームへの電波望遠鏡用小型分光器の実現に関して

○中原啓貴・中西裕之(鹿児島大)・笹尾 勤(九工大)

ノイズ解析 (10:30~11:45)

VLD-14. デジタルLSIにおけるLSIチップ・パッケージ・ポー  
ドを統合した電源雑音協調評価 ○吉川薫平・  
佐々木悠太(神戸大)・市川浩司(アソ)・  
齊藤義行(パナソニック)・永田 真(神戸大)

VLD-15. 伝送線路特性のベクトルフィッティングによる有理関  
数近似と等価回路合成 ○本多大介・関根惟敏・  
浅井秀樹(静岡大)

VLD-16. 双安定ポテンシャル回路による低S/N比信号の高感度  
検出 ○金井久亮・李 ウェン・今川健吾・幕内雅巳・  
植松 裕・大坂英樹(日立)

28日午後 FPGAシステムとハードウェア開発(13:00~14:15)

RECONF-17. 分散オブジェクトORBエンジンの導入による  
FPGA搭載システム連携の短期間開発事例 ○大川 猛・  
高野創司・植竹大地・横田隆史・大津金光・  
馬場敬信(宇都宮大)

RECONF-18. 複数のFPGAクラスタ用RC-OSの性能評価  
○児島 彰・弘中哲夫(広島市大)

RECONF-19. SysMLを用いたモデルベースハードウェア開発  
の試行 ○山崎亮太(東海大)・  
清水尚彦(東海大/IP ARCH)

設計事例 (13:00~14:15)

VLD-20. 動的再構成プロセッサを用いたアダプティブ画像処理  
の実現—DAPDNAを使用した超高速画像処理回路設計手法—  
○山田和雄・玉谷光之・奥山潤一・松本大輔(富士ゼロックス)

VLD-21. 3次元FPGAアレイHPCシステムVocaliseの性能評  
価 ○集 祐介・黎 江・久保泰正・田向 権・  
関根優年(東京農工大)

VLD-22. WEBアプリ回路と直結したTCP/IPスタック回路の  
性能評価 ○藤田琴子・田向 権・関根優年(東京農工大)

電力解析 (13:00~14:15)

VLD-23. 電源分配回路網の非構造メッシュ化と局所陰的LIM  
による高速過渡解析 ○岡田慎吾・浅井秀樹(静岡大)

VLD-24. 陽的かつ無条件安定な手法による電源分配回路網の高  
速過渡解析 ○西崎統大・関根惟敏・浅井秀樹(静岡大)

VLD-25. 仮想グラウンド線電圧の自動検出による細粒度パワ  
ーゲーティング制御 ○工藤 優・宇佐美公良(芝浦工大)

高信頼性化と画像認識 (14:30~15:20)

RECONF-26. 動的再構成機能を用いた故障回避手法の定量的信  
頼性評価 ○郡浦宏明(阪大)・今川隆司(京大)・  
密山幸男(高知科大)・橋本昌宜・尾上孝雄(阪大)

RECONF-27. 階層型特徴学習機構を有する画像認識システムの  
回路化 ○小笠原 麦・横田 怜・田向 権・  
関根優年(東京農工大)

ディペンダブル設計(2) (14:30~15:45)

VLD-28. 中性子起因一過性複数パルスの電源電圧及び基板バイ  
アス依存性測定 ○原田 諒(阪大)・  
密山幸男(高知科大)・橋本昌宜・尾上孝雄(阪大)

VLD-29. ピアプログラマブルアナログ回路VPAのチップ設計  
と特性評価 ○上田佳祐・中澤 亮・堀 遼平・汐崎 充・  
藤田智弘・藤野 毅(立命館大)

VLD-30. 超低電圧動作に向けたプロセッシングエレメントの消  
費エネルギーの実測と解析 ○安西祥生・工藤 優・  
太田雄也・太田一輝・宇佐美公良(芝浦工大)

テスト(1) (14:30~15:45)

VLD-31. フィールドテストのための温度・電圧モニタ回路構成

- の検討 ○津森 渉・三宅庸資・佐藤康夫・  
梶原誠司 (九工大)
- VLD-32. マルチサイクル BIST におけるスキャン出力の電力低減の手法 ○王 森レイ・佐藤康夫・宮瀬紘平・  
梶原誠司 (九工大)
- DC-33. 遷移故障テストパターンに基づいた微小遅延故障能力向上手法 ○若杉諒介・細川利典 (日大)・吉村正義 (九大)
- テスト(2) (16:00~17:15)
- DC-34. ネットリストを用いたドントケアビット数の見積り手法に関する研究 ○宮瀬紘平・梶原誠司・温 暁青 (九工大)
- DC-35. テスト圧縮効率化のためのテスト生成法の一考察 ○楠山友紀乃・山崎達也・細川利典 (日大)・  
吉村正義 (九大)・山崎浩二 (明大)
- DC-36. 桁上げ生成二重化によるフォールトセキュアな並列プレフィックス加算器の構成法 ○鬼頭信貴 (中京大)・  
高木直史 (京大)

☆VLD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月16日(水), 17日(木) 慶大日吉キャンパス [11月2日(金)] テーマ: FPGA 応用及び一般

**【問合先】**

竹中 崇 (NEC)  
TEL [044] 431-7194  
E-mail: takenaka@aj.jp.nec.com  
◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/~vld/>

☆CPM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月29日(木), 30日(金) 阪市大 [締切済] テーマ: 窒化物及び混晶半導体デバイス, 及び一般  
1月24日(木), 25日(金) 阿蘇ファームランド [11月10日(土)] テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆ICD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
12月13日(木), 14日(金) 会津大 [締切済] テーマ: シリコンアナログ RF (第二種研究会)  
12月17日(月), 18日(火) 東工大蔵前会館 [締切済] テーマ: 学生・若手研究会  
1月31日(木), 2月1日(金) 早大 [未定] テーマ: 新しいアプリケーション創造に向けたアーキテクチャ, 回路技術の貢献

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

渡辺 理 (東芝)  
TEL [044] 549-2283, FAX [044] 520-1806  
E-mail: osamu7.watanabe@toshiba.co.jp

☆CPSY 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月16日(水), 17日(木) 慶大日吉キャンパス [11月2日(金)] テーマ: FPGA 応用及び一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

安里 彰 (富士通)  
TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214  
E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月14日(金) アオッサ (福井) [締切済] テーマ: 安全性及び一般

**【問合先】**

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)  
E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp  
◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

☆RECONF 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月16日(水), 17日(木) 慶大日吉キャンパス [11月2日(金)] テーマ: FPGA 応用及び一般

**【問合先】**

渡邊誠也 (岡山大学院自然科学研究科)  
TEL & FAX [086] 251-8251  
E-mail: nobuya@cs.okayama-u.ac.jp

— 今後の予定 —

**★回路とシステム研究会 (CAS)**

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文  
幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

☆CAS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
1月28日(月), 29日(火) 別府国際コンベンションセンター [11月13日(火)] テーマ: 一般

◎1月の研究会では, 学生セッションを行いますので, 広く募集致します。学生セッションの形式は以下のとおりです。  
・原稿は2ページ以上 (6ページ以下)。  
・発表時間は発表+質疑応答で20分。内訳は自由。  
・「回路とシステム研究会学生優秀賞」の審査対象外とする。

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

宮北和之 (新潟大)  
TEL [025] 262-7581  
E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では, 研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は, 3月の総合大会にて表彰致しますので, 奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格はCAS研究会で御自身で発表され, かつ予稿にて第一著者のIEICE学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

**★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)**

専門委員長 山田敬嗣  
副委員長 大町真一郎・柏野邦夫  
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
2月21日(木), 22日(金) 阪府大中百舌鳥キャンパス [12月6日(木)] テーマ: 大規模データベースとパターン認識  
近年, 大規模データベースの存在が身近なものになりつつあります。例えば, Web で公開されている Flickr や Picasa, YouTube などの画像・映像共有サイトからは, 一般ユーザから投稿

された大量の静止画や動画、更にはそれらに付与されたテキストデータやジオタグデータなどのメタデータを入手することができます。Facebook や Twitter などのいわゆるソーシャルメディアからも同様のデータを入手することができます。TRECVID や PETS などのワークショップ、PASCAL、ImageNet などでもベンチマーク用に大量の画像や映像が公開されています。また、テレビ映像や監視カメラ映像、ドライブレコーダー映像など我々の身の回りにも多くの映像データが存在しています。

近年、このような大規模データベースで公開されているデータを物体認識、文字認識、シーン理解、更には人間の行動理解などに利用する研究が盛んに行われています。利用可能なデータ数の増加とともに、認識対象となるカテゴリの数やカテゴリ内でのバリエーションの数が膨らみつつあり、パターン認識技術によって解決すべき問題が更に複雑化しております。大規模データベースを効率良く扱うためには、高速な学習・認識アルゴリズム、莫大なデータから目的に応じて必要な情報のみを抽出する技術、大量のデータ間の関係を解析する技術などの実現が期待されています。

そこで、本研究会では、大規模データベースを利用したパターン認識に関する研究発表を幅広く募集致します。また、テーマセッションに加えて一般セッションの発表も受け付けますので、多数の御投稿をお待ちしております。

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

---

## ◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

---

### ●第2回安全・安心な生活のための情報通信システム研究会

委員長 岡田和則 (NICT) 副委員長 田村 裕 (中大)

日時 平成 24 年 11 月 15 日 (木) 13:15~17:00

16 日 (金) 9:30~12:15

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口 1-1 プラウカ 1・2 階. JR 新潟駅南 <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/>)

#### 概要

昨年 3 月 11 日の東日本大震災以降、見直される被害想定、新たに発見される活断層など、私たちの生活は、新たな脅威にもさらされています。このような大規模な自然災害だけではなく、交通事故、誘拐等児童への犯罪等の様々な脅威が、私たちの日常生活を脅かしています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが、果たすべき役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つシステムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。第 2 回研究会では、水害、豪雪災害、中越地震、中越沖地震等の多岐にわたる災害を乗り越えてこられました新潟県の防災における第一線を担う方からの特別講演、東日本大震災における情報行動と利用者心理に関する招待講演、高速道路の安全・安心を担う道路管制センターの方からの招待講演を企画しており、一般講演の最新の研究成果だけでなく、現場の動向やニーズを知ることができる有意義な研究会になるものと期待されます。また、懇親会を 15 日夕方

に企画しておりますので、奮って御参加下さい。

#### プログラム

15 日

1. 土砂災害予測センサーネットワークにおける隠れ端末間間の衝突回避プロトコルの検討 ○黒柳大治・D.K. Asano・鈴木彦文・不破 泰 (信州大)
2. Ad-Hoc ネットワークと EC センサーを用いた土砂災害予測センサーネットワークの構築について ○鈴木彦文・黒柳大治・D.K. Asano (信州大)・小松 満・竹下祐二 (岡山大)・澤田和明・二川雅登 (豊橋技大)・不破 泰 (信州大)
3. 広域災害における情報共有システムに関する研究 ○余 娜・Jairo Eduardo Lopez・Aldo Maetinez・陳 国偉・佐藤拓朗 (早大)
4. [招待講演] 新潟道路管制センターについて—24 時間・365 日、高速道路の安全・安心のために— ○太田和宏・佐藤雅英・臼井智徳 (ネコ東日本)
5. [招待講演] 東日本大震災における情報行動と利用者心理—仙台・盛岡訪問留置調査及び首都圏 Web アンケート調査— ○千葉直子・山本太郎・関 良明・高橋克巳 (NTT)・小笠原盛浩 (関西大)・関谷直也・中村 功 (東洋大)・橋元良明 (東大)
6. [特別講演] 県民の安全・安心な社会の実現を目指した新潟県津波浸水想定図の作成と発信 細貝和司 (新潟県防災局)

16 日

1. 遅延耐性ネットワークにおける情報伝搬経路に関する考察 ○加藤 新・中野敬介・柄沢直之・宮北和之 (新潟大)
2. エピデミック伝送を用いた定期的な情報収集に関する考察 ○相墨直人・宮北和之・中野敬介 (新潟大)
3. 8x8MIMO-OFDM システムの低消費電力化について ○杉谷将宏・宮永喜一 (北大)
4. 最長路を使ったパスワードの強化について 金子美博 (岐阜大)
5. ユーザーの活用可能性を広げた津波浸水想定図のデザイン—新潟県津波浸水想定図を事例として— ○井ノ口宗成・田村圭子・安田浩保 (新潟大)
6. 地上/衛星共用携帯電話システムにおける重要通信優先チャネル枠設定時の特性評価 ○島津貴之・岡田和則 (NICT/電通大)・藤野義之 (NICT)

#### 【参加申込】

参加費：3,000 円 (資料代含む)、特別講演のみの聴講は無料  
参加申込：氏名、連絡先、懇親会参加の有無を下記連絡先へ 11 月 5 日 (月) までに、お申し込み下さい。

#### 【申込先・問合せ先】

中野敬介 (新潟大)

TEL & FAX [025] 262-6751

E-mail : nakano@ie.niigata-u.ac.jp

川上 博 (NTT ドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail : kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報を研究会 Web ページで掲載致しますので御参照下さい。 <http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

協賛 IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter, 日本シミュレーション学会多次元移動通信網研究専門委員会

●複雑コミュニケーションサイエンス研究会 (CCS)  
日韓合同ワークショップ “Korea-Japan Joint Workshop on Complex Communication Sciences”

委員長 岡本英二 (名工大)

副委員長 田中久陽 (電通大)・長谷川幹雄 (東京理科大)

複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS) は、情報通信技術 (ICT) の全ての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そして、それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指します。「複雑コミュニケーションサイエンス」という標語は、こうした実用的・実体的システムにおける情報伝達とインタラクションのリアリティーにこそ、豊かなサイエンスへと成長する多くの芽が潜在しているはずであるという、我々の科学的直観を反映しています。

具体的には、下記の分野に芽生える新領域への取組みを計画しています。

- 1) 通信システムの理論
- 2) 分散ネットワークと分散アルゴリズムの理論
- 3) 通信システムの基盤としてのパワー、エネルギー的側面に関する基礎研究
- 4) 電力工学と通信システムの界面
- 5) 上記4領域と関連する実証的アプローチ、実システム上の諸問題
- 6) 通信システムの技術、知見から神経系、生体システムを捉え直す研究
- 7) 電磁波伝搬 (フェージングの問題等含む) の理論・モデリングの研究
- 8) レーダ、トモグラフィーの計測分野で見られる非線形性、更に信号レベルで現れる非線形ひずみ等の非線形性が本質となる諸問題
- 9) レーザ等の非線形デバイスと通信システムの界面

この度 CCS は、近年日本と韓国で独自に進められている ICT に関わる複雑コミュニケーションサイエンス研究の情報交換を行い、交流を深める目的で、ソウル市内の漢陽大学にて研究会を行います。韓国からは Samsung 社や漢陽大学の ICT 関係の研究者を、日本からも新領域の先導的な研究者をお招きし、御講演頂く予定です。

期日 平成 24 年 11 月 22 日 (木)、23 日 (金)

会場 韓国漢陽大学 (Hanyang Univ.) ソウルキャンパス

基調講演

- ・ Trend of Information-Centric Networking Research  
Yong-Jin Park (Waseda Univ.)
- ・ Modeling Communication Dynamics  
Peter Davis (Telecognix)

招待講演

- ・ Random Number Generator Using Magnetic Tunnel Junction  
Seung-Beck Lee (Hanyang Univ.)
- ・ Delay Tolerant Networking Technology for Disaster Management—Theoretical and Practical Aspects of Opportunistic Communications—  
Hiroyoshi Miwa (Kwansei Gakuin Univ.)
- ・ Emerging Issues for Human Probe and Disaster Prevention Sensing  
Masayuki Iwai (Univ. of Tokyo)
- ・ Synchronization in mobile networks using face-to-face commu-

nication data Naoya Fujiwara (FIRST/Univ. of Tokyo)

◎この他にも韓国からの招待講演者、及び日韓の一般講演を予定しております。

参加費 (食費込み) : 10,000 円程度 (未定)

【参加申込】

氏名 (和文・英文)、所属 (和文・英文)、連絡先をメールにて 11 月 10 日 (土) までに下記参加申込・問合せ先まで御連絡下さい。参加費は、事前振込みにてお支払い下さい。銀行振込口座情報は、参加申込み後にお知らせ致します。

会場では概要集のみの配布となります。御講演内容の論文発表につきましては、学術論文誌の特集号を企画しておりますので、ワークショップ終了後に改めてお知らせ致します。

【参加申込・問合せ先】

青野真士 (理研)

E-mail : masashi.aono@riken.jp

【現地世話人】

Dong Kyue Kim (韓国漢陽大)・金 成主 (理研韓国支所)

◎最新情報は、当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ess/ccs/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

後援 Advanced IT Education Program on Industrial Demand, World-renowned Research University in IT, Hanyang Univ.・Institute of Nano Science and Technology, Hanyang Univ.・Asian Research Network

●5th Pan-Pacific EMC Joint Meeting—PPEMC'12—  
(第 5 回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)

委員長 桑原伸夫 (九工大)

11 月 29 日、30 日の 2 日間、情報通信研究機構におきまして「5th Pan-Pacific EMC Joint Meeting—PPEMC'12— (第 5 回環太平洋地域環境電磁工学合同会議)」を開催致します。本会議では一般講演、若手講演のほか、環太平洋地域の EMC 研究者を招聘し、招待講演会を開催致します。多くの皆様に奮って御参加頂けますよう、よろしくお願い致します。引き続き、参加登録を受け付けています。emcj-ppemc12@mail.ieice.org にメールで御連絡下さい。

期日 平成 24 年 11 月 29 日 (木)、30 日 (金)

会場 情報通信研究機構 (小金井市貫井北町 4-2-1, JR 武蔵小金井駅北口改札を出て、5 番乗場より京王バス「小平団地」行きバスに乗り、情報通信研究機構前下車。JR 国分寺駅から北口 (立川バス) 改札を出て北口に進み、階段を降りてバス乗り場より立川バス「昭和病院」方面行きバスに乗り、情報通信研究機構前下車。南口 (京王バス) 改札を出て南口に進み、階段を降りて左へ進み、1 番のバス乗り場より京王バス「小平団地」行きバスに乗り、情報通信研究機構前下車。http://www.nict.go.jp/about/hq.html)

プログラム

29 日 9:00~18:20

[若手講演 1]

1. Electric field measurements for MIMO wireless communication transmitters in electromagnetic exposure evaluation  
Dinh Thanh Le・Lira Hamada・Soichi Watanabe (NICT)・Teruo Onishi (NTT DOCOMO)
2. Exposure assessment near a radiation source using a small electro-optic converter  
Satoshi Ishihara・



Teruo Onishi (NTT DOCOMO)

3. Computational techniques for determining in-vivo threshold electric field and current for magnetophosphenes

Ilkka Laakso • Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)

4. Quasi-static computational electromagnetic analysis for dosimetry in grounded and ungrounded body due to contact current

Kwok Hung Chan • Junya Hattori •

Ilkka Laakso • Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)

5. Evaluation of polarization characteristics of millimeter-wave in vitro exposure apparatus based on disc-shaped post-wall waveguide

Takeo Shiina •

Yukihisa Suzuki (Tokyo Metropolitan Univ.) •

Kanako Wake (NICT) •

Masao Taki (Tokyo Metropolitan Univ.)

[若手講演 2]

6. Local SAR evaluation of anatomical human head model implanted with metal plates exposed to UHF radio waves

Yoshifumi Kawamura • Takashi Hikage •

Toshio Nojima (Hokkaido Univ.) • Yomoaki Nagaoka •

Soichi Watanabe (NICT)

7. Wireless energy transmission for subcutaneous implantable medical devices by using capacitive coupling—Analysis of receiving power and biological effect of electromagnetic field—

Atsushi Taneda •

Kenji Shiba (Tokyo Univ. of Science)

8. Variability of SAR in human models due to wireless power transmission with magnetic resonance

Shogo Tsuchida •

Fumihiro Ito • Ilkka Laakso •

Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)

9. Antenna characterization for near-field wireless power transfer using S-parameter

Mingda Wu •

Qiang Chen (Tohoku Univ.) •

Qiaowei Yuan (Sendai National College of Tech.) •

Kunio Sawaya (Tohoku Univ.)

10. Variable capacitance loaded reconfigurable antenna with frequency and beam switching

Hiroto Abe •

Qiang Chen • Kunio Sawaya (Tohoku Univ.)

[若手講演 3]

11. A Study on interference characteristics of an IEEE 802.11 g wireless LAN system by a Zigbee system using 2.4 GHz band

Yuichiro Okugawa • Atsushi Nagao •

Yoshiharu Akiyama (NTT)

12. Fundamental study on an estimation of connector contact conditions using HF signals

Kazuya Uehara •

Yu-ichi Hayashi • Takaaki Mizuki •

Hideaki Sone (Tohoku Univ.)

13. Analysis of center frequency of noise suppression for ferromagnetic thin-film noise suppressor

Sho Muroga •

Yuki Asazuma • Masahiro Yamaguchi (Tohoku Univ.)

14. Dependence on number of signals for radiating electric field strength from LAN cable

Yosuke Ogi •

Nobuo Kuwabara (Kyusyu Inst. of Tech.)

15. Influence to measurement level by difference of measurement circuit

Yoshihiko Abe •

Nobuo Kuwabara (Kyushu Inst. of Tech.) •

Hidehiko Muramatsu (VCCI) •

Toshiki Shimasaki (NEC Engineering)

[若手講演 4]

16. Characterization of differential line across a ground slit

Yusuke Konishi (Univ. of Electro-Comm.) •

Kimitoshi Murano (Tokai Univ.) •

Yoshio Kami • Fengchao Xiao (Univ. of Electro-Comm.)

17. Lossy resonators for suppressing power-bus resonance of printed circuit board

Farhan Zaheed Mahmood •

Yoshitaka Toyota • Kengo Iokibe (Okayama Univ.)

18. Practical model of an on-board type common mode choke coil for 3D EMC simulation

Fujiyuki Nakamoto •

Yuichi Sasaki • Yosuke Watanabe • Chiharu Miyazaki •

Naoto Oka (Mitsubishi Electric)

19. Identification of a noise source in a wireless terminal using the APD method

Kenta Tsukamoto • Manabu Kusumoto •

Eiji Hankui (NEC)

20. [一般] An arbitrary dipole source localization algorithm using two antennas and reciprocity theorem

Atsuhiko Nishikata (Tokyo Inst. of Tech.)

[招待講演 1]

21. Signal integrity design of TeraByte/s TSV and interposer for future 3D IC

Joungho Kim (Korea Advanced Inst. of Sci. and Tech.)

[見学会] (17:20~18:20)

30日 9:30~16:50

[招待講演 2]

1. HPEM impacts on smart grid electronics

William A. Radasky (Metatech)

2. EMC on smart grid

Masamitsu Tokuda (Univ. of Tokyo)

3. Development of near-field emission limit for radiated emission pre-compliance check

Kye Yak See (Nanyang Technological Univ.)

[一般講演 1]

4. E-field probe calibration in a G-TEM cell

Takehiro Morioka (AIST)

5. Transient voltage measurement on a PC board exposed by a small gap spark discharge

Satoshi Isifuku (TET) •

Masamitsu Honda (IPL)

6. Geometrical configuration effect in reducing FM-band cross-talks between two parallel signal traces including return grounds on printed circuit boards for vehicles

Michihira Iida (DENSO/Nagoya Inst. of Tech.) •

Tsuyoshi Maeno (Qualtec) • Jianqing Wang •

Osamu Fujiwara (Nagoya Inst. of Tech.)

7. Noise propagation model for radio receiver in AM-band using capacitance between vehicle and ground

Takanori Uno •

Kazuma Kawai • Hiroshi Taki • Takahiro Tsuda (DENSO)

8. Identifying imbalance component and EM radiation from asymmetrical differential-paired lines with different U-shape bend equi-distance routing

Yoshiki Kayano •

Hiroshi Inoue (Akita Univ.)

[一般講演 2]

9. A measuring method for 3-D EMF distribution using the Wiimote

Ken Sato • Yoshinori Kashimura •

Yoshitsugu Kamimura (Utsunomiya Univ.)

10. A study on change in conductance and susceptance

components of kidney disease patients' blood for real-time quality monitoring of hemodialysis

Akira Takeda (Chubu Univ.) · Kazuyuki Takata (Toyota National Colleges of Tech.) · Hirotomo Nagao (Iwakura Hospital) · Jianqing Wang · Osamu Fujiwara (Nagoya Inst. of Tech.)

11. Experimental studies of separation between telecom signal and noise of common mode noise Kazuo Murakawa · Yasunori Ogura · Kei Tominaga · Yuichiro Okugawa · Hideki Itou (NTT EAST)

12. Study for the operational guideline of wireless applications' use in telecommunication equipment rooms Kimihiro Tajima (NTT) · Hidenori Itou · Norihito Hirasawa (NTT East) · Yuichiro Okugawa · Yoshiharu Akiyama (NTT) · Kazuo Murakawa (NTT East)

【参加費】 (講演論文集代を含む) 一般7,000円, 学生2,000円

【参加申込・問合せ先】

石上 忍 (NICT) · 王 建青 (名工大) E-mail: emcj-ppemc12@mail.ieice.org

◎29日の全講演終了後、懇親会(会費4,000円)を開催致しますので御参加下さい。

◎最新の情報につきましては、下記URLで詳細を御確認下さい。  
[http://www.ieice.org/cs/emcj/jpn/international/pan-pacific/index\\_jpn.html](http://www.ieice.org/cs/emcj/jpn/international/pan-pacific/index_jpn.html)

主催 環境電磁工学研究専門委員会

協賛 電気学会電磁環境技術委員会, IEEE EMC Society Japan/Sendai Chapters

●第5回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 裏 升吾 (京都工繊大)

副委員長 粕川秋彦 (古河電工)

日時 平成24年12月6日(木) 13:00~17:20(予定)

(受付12:45)

会場 JR博多シティ会議室(A+B)(福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ9階)

テーマ:有機デバイス及びプリンタブルデバイス

趣旨

近年、有機ELや各種バイオセンサといった有機材料と従来の無機エレクトロニクス融合による新しいデバイス創成が注目を集めています。有機材料あるいは有機・無機ハイブリッド材料は有機分子の設計どの自由さも相まって今後も新しい材料が出現し、ブレークスルーも期待されています。更に、有機材料の特長としてプリンタブル作製が容易であることが挙げられる。製膜技術から始まり、直接描画・三次元実装・低ランニングコストを可能とする本技術についても盛んな研究が行われています。第5回集積光デバイスと応用技術研究会では、このような有機及びプリンタブルデバイスをテーマとして下記講演会を企画することとなりました。活発な議論ができますよう、多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム

1. [招待講演] 分子設計が拓く新しい有機半導体材料・デバイス 安達千波矢 (九大)
2. [招待講演] 感性ナノバイオセンサー 都甲 潔 (九大)
3. [招待講演] ポリフルオレン系材料を用いたプリンタブル光

デバイス

大森 裕 (阪大)

4. [招待講演] 逆構造による有機薄膜太陽電池の高性能化

吉田郵司 (産総研)

5. [招待講演] 画素サイズの微細化に適した有機CMOSイメージセンサ 井浜三樹男 (富士フイルム)

◎フリーディスカッション

参加申込 研究会開催当日、会場にて受け付けます(事前申し込み不要)。

参加費 一般5,000円, 学生1,000円

【講演に関する申込・問合せ先】 第5回研究会担当委員

興 雄司 (九大大学院システム情報科学研究院)

TEL [092] 802-3742, FAX [092] 802-3739

E-mail: oki@ed.kyushu-u.ac.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

大磯義孝 (NTT フォトニクス研)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4345

E-mail: ohiso@aecl.ntt.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は、集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ipd/jpn/welcome.html>

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●第26回光通信システムシンポジウム「人間とICTの新しいかわりを求めて—光通信がつなぐもの—」

実行委員長 石田 修 (NEL)

実行副委員長 水落隆司 (三菱電機)

光通信システム研究会では、毎年12月に第二種研究会として光通信システムシンポジウムを企画しています。本年も12月13日(木)、14日(金)の両日、第26回光通信システムシンポジウムを開催致します。

概要

光通信技術が支えるグローバルな情報通信ネットワークを基盤に、クラウドに代表される様々な新サービスやスマートフォンに代表される新しい高機能端末の浸透が急速に進展しています。このようなサービスやアプリケーションの多様化に加え、その関連市場も大きく広がりがつつあります。一方で光通信技術はポスト100Gに向けた動きが活発化しています。今年26回を迎える光通信システムシンポジウムでは、「人間とICTのかわり方」という俯瞰的観点からサービスやアプリケーションを捉えなおし、これからの光通信に求められるもの、果たすべき役割について、光通信技術をベースに展望します。今回は、近年花開いている様々なサービスやアプリケーション、そしてそれを支える技術等について広く網羅する基調講演、招待講演、ワークショップ、ランプセッションを企画しています。更に将来の担い手となる若手の方を対象としたポスターセッション、光通信用部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会、及び公的ファンドの委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します。関係者多数の御参加をお待ちしております。

日時 平成24年12月13日(木) 12:30~20:40

(受付は11:30より開始予定)

14日(金) 9:00~16:40

(終了時間は予定)

会場 東レ総合研修センター（三島市末広町 21-9, JR 線三島駅より徒歩 12 分, タクシー 2 分 [http://www.toray.co.jp/location/loc\\_401.html](http://www.toray.co.jp/location/loc_401.html)）

#### 【参加費, 宿泊費, 懇親会】

参加費：会員 8,000 円, 非会員 11,000 円, 学生 1,000 円

宿泊費：15,000 円（全参加者共通）

（1泊2日, 懇親会, 2日目の朝昼食込）

懇親会：初日（13日）夕刻に開催

#### 【参加申込方法】

- ・光通信システム研究会（OCS）ホームページにて受け付けます。 <http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>
- ・会場, 宿泊室の収容人員に限りがございます。御希望に添えない場合もあることをあらかじめ御了承下さい。
- ・お申込みの際に連絡頂いた情報は, OCS 研究会にて管理し, 光通信システムシンポジウムの運営, 及び, OCS 研究会からの連絡以外の目的には使用致しません。

#### プログラム

##### 13日

1. [基調講演] SDN によるキャリア・サービス基盤の変革と今後への期待（仮） 伊藤幸夫（NTT コミュニケーションズ）

##### 2. 2012 年 OCS 表彰式

昨年 9 月～今年 8 月の光通信システム研究会で発表された論文から, 特に優れた論文と若手講演者に対し, それぞれ論文賞と奨励賞を授与します。

##### 3. ポスターセッション

昨年より引き続きポスターセッションを実施します。公募形式で原則 33 歳未満の方を対象としています（学術的内容に限ります）。

##### 4. ワークショップ 1

「ICT と光通信が創造する未来—アクティブな日本へ—」

座長 上條 健（OKI）

- （1）ストーリー・つながり・社会基盤×ICT  
森川博之（東大）
- （2）サイバーフィジカル時代を支える光ネットワーク技術（仮）  
西 直樹（NEC）
- （3）タイトル未定  
講演者調整中

◎17:50-19:10 に懇親会を行います。

##### 5. ランプセッション

「Pbps/fiber 時代に向けて—空間多重技術の可能性と課題—」

既存のファイバ 1 本当りの伝送容量は 100 Tbps 程度が限界であるといわれています。この限界を打ち破りファイバ当り Pbps を実現するために, マルチコアファイバやフューモードファイバを用いた空間多重伝送技術開発が活発化しています。本セッションでは, Pbps/fiber を実現するための技術, 及びその課題について議論します。

オーガナイザ 米永一茂（NTT）

##### 14日

##### 1. [招待講演]

座長 二見史生（玉川大）

- （1）電波望遠鏡と光通信ネットワーク  
川口則幸（国立天文台）
- （2）放送通信連携システム Hybridcast 真島恵吾（NHK）
- （3）次世代光アクセスシステムの標準化動向（仮）  
向井宏明（三菱電機）

##### 2. IEEE IPS JC 記念講演（主催 IEEE IPS JC）

座長 植之原裕行（東工大）

プレーナ光波回路を用いた次世代光通信用光集積技術の現状と

第二種研究会開催案内, 発表募集案内

#### 展望

高橋 浩（NTT）

#### 3. ワークショップ 2

「光通信の将来技術展望—2013 年に進めたい 5 つの研究—」

座長 前田譲治（東京理科大）

- （1）タイトル未定  
廣岡俊彦（東北大）
- （2）シリコンフォトリニクスによる高密度チップ間光インターコネクト  
賣野 豊（PETRA）
- （3）光 MIMO 伝送システム用光ファイバ技術の展望  
坂本泰志（NTT）
- （4）マルチコア光ファイバ技術  
杉崎隆一（古河電工）
- （5）Software Defined Photonic Networks/Elastic Optical Path Networks  
釣谷剛宏（KDDI 研）

◎タイトル等変更の場合有。最新プログラムは, OCS 研究会 HP を参照下さい。 <http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

展示会 展示時間予定

12月13日（木） 11:30~12:30, 14:00~15:15

14日（金） 8:00~9:00, 12:10~13:30

その他

東レ総合研修センター様の御好意により, インターネットルームが利用できます。希望者は PC を御持参下さい。接続は有線 LAN のみです。接続可能ポート数は限られます。ウイルス対策及びセキュリティに関して, OCS 研究会及び東レ総合研修センターでは一切の責任を負いかねます。また, インターネット接続に関する会場での技術サポートはございません。

#### 【講演内容等に関する問合せ先】

平野 章（NTT 未来ネットワーク研究所）

〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1

TEL [046] 859-2576, FAX [046] 859-5541

E-mail : hirano.akira-ocs@lab.ntt.co.jp

#### 【参加申込並びに申込に関する問合せ先】

斎藤恒聡（古河電工）

〒290-8555 市原市八幡海岸通 6

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail : ocs@furukawa.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE IPS JC, 超高速フォトリニクネットワーク協議会, フォトリニクネットワーク研究専門委員会, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

## ◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

### ●アシュアランスシステム研究会

委員長 角田良明（広島市大）

期日 平成 24 年 12 月 13 日（木）

会場 大阪大学吹田キャンパス

講演申込締切 11 月 15 日（木）

講演申込方法

氏名, 所属, 講演題目, 概要（数行）, 連絡先（住所, TEL, FAX, E-mail）を E-mail で下記問合せ先, 申込先にお送り下さい。追って必要事項をお知らせします。

本研究会は, 以下に示すような経緯と目的からディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下に第二種研究会として開

催しています。本研究会は新しい技術であるアシュアランスシステムの今後の発展に寄与することを目的とします。多くの方々の御参加をお願い致します。

[研究会の内容]

近年、ネットワークの発展に伴い、自律したシステムが接続されるようになってきました。これらシステムは異種のニーズを持つだけでなく、頻繁にニーズが変化します。このようなニーズの異種性と状況変動に対する適応性を満たし、異種システムを共存させる技術を「アシュアランスシステム技術」と呼びます。1996年には、日米欧の関係者を中心とし、IEEEにてHigh Assurance System Engineering 国際会議が設立されました。国内では、1998年以降フォールトトレラントシステム研究会（現ディペンダブルコンピューティング研究会）にて「アシュアランスシステム」が特集され、大学や企業からニーズ、問題点、解決策、実用例などについて多数発表されました。

このような経緯から、アシュアランスシステムに関する先進的な議論と提案の場として2000年にアシュアランスシステム研究会を発足致しました。また、2002年から毎年、Assurance in Distributed Systems and Networks 国際会議が開催されています。そのため、ネットワーク分野へのアシュアランスシステム技術の応用についての研究も進んできました。

本研究会では、制御/情報系システムから、大規模広域システム、超分散システムまで、システム技術、ネットワーク技術、デバイス技術、応用について、設計技術、実装技術、評価技術、先進的な応用例など幅広くアシュアランスシステムに関する諸問題を研究対象項目とします。

**【問合せ先・申込先】** 幹事

河野英太郎（広島市大）

E-mail : kouno@hiroshima-cu.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

## ●第18回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 水野 修（工学院大）

委員会の内容

本時限研究専門委員会は、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成25年1月18日（金）

会場 KDDI 研究所（上福岡）

テーマ：ネットワークサービスソフトウェアのディペンダブル化技術＋一般

概要

情報ネットワークが必要不可欠な社会基盤となるに伴い、ネットワークサービスを実現するソフトウェアに対しては、ユーザの感じる漠然とした不安を取り除き、社会から信用されるサービスを実現する信頼性、社会基盤として信用できる品質が求められる。また、同様に、サービス更新やシステムの増減などの変化に対応する継続性及び、ネットワークのトポロジ、トラフィック、需要の変動に対してサービスの揺らぎを抑制する安定性といったディペンダビリティ性が強く要求されるに至っている。本研究会では、このような観点から以下に例を示すテーマで研究発表を募り、ネットワークサービスソフトウェアのディペンダブル化に向けて幅広く議論を行う。

- ・ネットワークサービスを信頼あるものとして実現するためのソフトウェア技術
- ・ネットワークサービスを継続して実現するためのソフトウェア技術
- ・ネットワークサービスを安定して実現するためのソフトウェア技術
- ・ディペンダブルなネットワークサービスを実現するためのソフトウェア基盤技術
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

発表形式：下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向へ  
1件当り約50分（質疑含む）という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。
- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向へ  
1件当り約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

[各種締切]

一般講演申込み：12月13日（木）

一般講演原稿提出：1月7日（月）

ポジションペーパー申込み：1月7日（月）

研究会参加申込み：1月7日（月）

参加費振込み：1月17日（木）

**【一般講演の申込と原稿提出】**

- ・申込方法  
講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号）、講演者の方の参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法

PDF ファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPoint などの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF 化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きますので、あらかじめ御承下下さい。

**【ポジションペーパーの申込と原稿提出】**

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDF ファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方

は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

**【参加申込】**

氏名、所属、連絡先（住所、E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号）、参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mail を掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

**【参加費（予定）と参加費支払方法】**

一般 4,000 円 学生 2,000 円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

**振込先**

みずほ銀行 三鷹支店  
口座名：ネットワークソフトウェア研究会  
口座番号：普通 4298770

**【講演・参加申込先・原稿提出先】**

西村豪生（NTT）  
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL [0422] 59-7339  
E-mail：nws-kanji@mail.ieice.org

**【研究会全般に関する問合せ先】**

別所寿一（NTT）  
TEL [0422] 59-6921  
主催 ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会  
<http://www.ieice.org/~nws/>



——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。  
TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊（綴）ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

期 日 2013 年 3 月 19 日(火)~22 日(金)

会 場 岐阜大学 (岐阜市)

電子情報通信学会総合大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDF による原稿送信となっています。

募集期間

2012 年 11 月 9 日(金)~2013 年 1 月 9 日(水)17:00(厳守)

2013 年総合大会ホームページ

[http://www.toyoag.co.jp/ieice/G\\_top/g\\_top.html](http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html)

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の受付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集 PDF 原稿の送信期限」・「紙面による論文原稿の送付期限」については、すべて上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器は PC プロジェクターです。PC は御持参下さいませようお願い致します。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録をされている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込み Web 登録上のお願

講演申込み締切日とその 2~3 日前は回線が混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演発表ができます。

講演参加費 (予定)

※本会会員：不課税，本会会員外：消費税込

講演参加費につきましては、DVD 論文集 (全講演収録・プログラム) のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：3 月 5 日)

2 月初旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正 員：10,000 円 (講演発表料+DVD)

学生員 : 3,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：社会人：20,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：学生 : 6,000 円 (講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正 員：11,000 円 (講演発表料+DVD)

学生員 : 3,500 円 (講演発表料+DVD)

非会員：社会人：22,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：学生 : 6,500 円 (講演発表料+DVD)

\*電気学会，照明学会，映像情報メディア学会，情報処理学会の会員，本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

〔講演申込みの流れ〕

学会 Web 上の〔講演申込み手順〕に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込み内容の確認・修正」，「講演申込み内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF 原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿を PDF ファイルで送信して下さい。(PDF 原稿はメール添付での申込みはできません。)

なお、総合大会聴講参加・冊子講演論文集申込案内等については、2013 年 1, 2 月会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会大会係

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

—— 関西支部 ——

● 准員及び学生員のための講演会（後半）

例年、電気四学会関西支部では、平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように、定期講演会を開催しています。

平成24年度の後半分は、下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう、御案内申し上げます。

● 11月20日（火） 13:00～14:30

テーマ：スマートグリッドとスマートコミュニティ その現状と課題

講師：石田文章（関西電力）

会場：大阪産業大学（4号館5階会議室）

TEL〔072〕875-3001

● 12月13日（木） 13:00～14:30

テーマ：電気工学が支える私たちの未来—宇宙から電気を送る—

講師：篠原真毅（京大）

会場：奈良工業高等専門学校（大講義室）

TEL〔0743〕55-6102

● 電気四学会関西支部講演会「高齢者・障がい者の社会参加を支援するライフサポート型ロボット技術、その最新動向と国際標準化」

高齢社会が進む中、社会参加を支援するネットワークを利用したロボットサービスを実現する技術開発が進み、多地点間でサービス連携を実現するためのプラットフォームのα版が公開され、一般に利用できる準備が整いつつあります。そこで、ロボットサービスによる高齢者・障がい者の社会参加を支える技術や、その災害復興への試み等の紹介を行います。奮って御参加下さい。

日時 平成24年12月4日（火） 14:00～17:00

会場 中央電気倶楽部513号室（大阪市北区堂島浜2-1-25, ドージマ地下センター南詰を右側に上がり、右へ約50m, 左側のレンガ造り建物）

講師・題目：

- |  |              |
|--|--------------|
| (1) 開講の挨拶                                  | 電子情報通信学会関西支部 |
| (2) 高齢者・障がい者のためのユビキタスネットワークロボット（UNR）技術の最前線 | 萩田紀博（ATR）    |
| (3) ロボットサービス間を連携するユビキタスネットワークロボットプラットフォーム  | 亀井剛次（ATR）    |
| (4) コミュニケーションロボットによるコミュニティ形成と災害復興支援        | 山口智治（NEC）    |
| (5) ロボットサービスを支える空間台帳とその応用                  | 富田仁志（日立）     |
| (6) ヘルスケアを支えるネットワークロボットサービス技術の発展           | 土井美和子（東芝）    |
| (7) 閉講の挨拶                                  | 電子情報通信学会関西支部 |

受講料 無料（会員以外の方でも参加できます）

定員 80名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込方法 電子情報通信学会関西支部のHP（<http://www.ieice.org/kansai/>）からお申込み下さい。なお、はがき、FAX、E-mailでも受け付けますので、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先（会社、学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号）を下記の申込先まで御連

絡下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25  
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター  
TEL〔06〕6341-2529, FAX〔06〕6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

—— 本会・ソサイエティ・グループ・

研究専門委員会等主催 ——

● 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 主催

日本技術者教育認定制度（JABEE）審査講習会・受審校向け講習会

日時 2012年12月1日（土）審査講習 10:00～16:50, 受審校向け講習 17:00～18:30

10:00～16:50の審査講習を受講頂くと、JABEE審査のオブザーバ資格が得られます。

場所 電気学会会議室（千代田区五番町6-2, HOMAT HORIZONビル8F）

募集人員 50名（先着順）

交通手段 <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf> を御参照下さい。

講習費用 10,000円（消費税含む）（審査講習のみ、受審校向け講習のみ受講の場合も同じ）

申込方法 電気学会技術者教育課に電子メールにて11月16日（金）までに以下の各項を御連絡下さい。

- ・所属機関名 ・部署名 ・役職 ・所属学協会名（注. 入会している学協会名は全て記載下さい）
- ・氏名（ふりがな） ・電子メールアドレス ・電話番号
- ・審査員養成講習会への参加経験（参加した年）
- ・質問事項があれば記載のこと

申込電子メール宛先 jabee-office@iee.or.jp

電子メールの題目に「2012年度JABEE審査講習会申込」と記載下さい。

支払方法 当日現金にてお支払い下さい。

問合せ 一般社団法人電気学会技術者教育課（担当：荒井・佐藤）

TEL〔03〕3221-3710, FAX〔03〕3221-3704

E-mail: jabee-office@iee.or.jp

講習内容

- |             |                       |                |
|-------------|-----------------------|----------------|
| 9:30～10:00  | 登録・資料確認               |                |
| 10:00～10:10 | エンジニアリング教育認定に関する国際的動向 | JABEE事務理事：青島泰之 |
| 10:10～10:15 | 本講習会の位置付けと講習会後の資格     | 講師：佐藤之彦        |
| 10:15～10:50 | 認定制度の考え方と基本方針         | 講師：佐藤之彦        |
| 10:50～11:35 | 認定基準の解説               | 講師：古閑隆章        |
| 11:35～12:20 | 認定・審査の手順と方法           | 講師：長尾雅行        |
| 12:20～13:00 | 昼食・休憩                 |                |
| 13:00～13:45 | 自己点検書                 | 講師：佐渡一広        |
| 13:45～14:30 | プログラム点検書・審査報告書        | 講師：埴 雅典        |
| 14:30～15:15 | 審査の手引き（前半）            | 講師：甲斐宗徳        |
| 15:15～15:25 | 休憩                    |                |

15:25~15:55 審査の手引き (後半) 講師:小西博雄  
 15:55~16:10 審査チームの構成と倫理規定 講師:小西博雄  
 16:10~16:50 認定・審査に関する質疑応答 司会:相知政司  
 16:50~17:00 休憩  
 17:00~17:45 受審に関する留意点 講師:藤田英明  
 17:45~18:30 受審に関する質疑応答 司会:吉田明正  
 18:30 解散  
 注)都合によりスケジュールが変更となる場合がありますので  
 御了承下さい。

●MWE 2012 (2012 Microwave Workshops and Exhibition)

日本産業新生—ここに生きてるマイクロ波技術—

[マイクロウェーブワークショップ]

日時 平成24年11月28日(水) 10:50~16:50  
 29日(木) 10:40~16:50  
 30日(金) 10:40~16:50

会場 パシフィコ横浜展示ホールD (横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料

ワークショップダイジェスト代:一般:5,000円, 学生:2,000円

事前登録不要. 来場時に会場受付にて御登録下さい.

プログラムの詳細は <http://www.apmc-mwe.org/> で御確認下さい.

11月28日(水) [午前]

- (1) 開会式セレモニー
- (2) 基調講演「遥かなるデジタルの海を越えて—未来ある若手エンジニアに捧げるバラード—」

山川 烈 (フジシステム研)

[午後]

- (3) 基礎講座「無線通信で使われるデジタル信号処理技術—RF サンプリング技術の基礎—」

荒木純道 (東工大)・森下陽平 (パナソニック)・  
 村口正弘 (東京理科大)

ワークショップ:「無線電力伝送—ビジネス:現状と将来展望—」,「安全・安心な社会のための新しい衛星通信技術とそれを支えるデバイス—地上衛星共用携帯電話システムの研究開発—」,「周波数高度利用技術の最新動向—新たな無線サービスに向けたホワイトスペース有効利用技術—」,「高周波回路設計のための基板材料評価技術」

11月29日(木) [午前]

- (1) パネルセッション:「新分野へ羽ばたくマイクロ波—期待と要望—」

ワークショップ:「Si 集積回路上における電圧制御発振器 (VCO) 技術の歴史と動向」,「平面回路設計の諸問題」

[午後]

- (2) 基礎講座「マイクロ波トランジスタの基礎」

大野泰夫 (徳島大)

ワークショップ:「高周波回路設計における回路の小型化, 広帯域化」,「高周波設計におけるシミュレータ活用の勘所 I, II」,「電気学会「革新的電磁波利用技術とその応用展開」調査専門委員会協賛特別企画: Smart City

Workshop 2012 in Singapore 報告]

[ワークショップ終了後]

- (3) IEEE MTT-S Japan Young Engineer Award 授与式  
 11月30日(金) [午前]

- (1) 基礎講座「無線機器設計の基礎」

田中 聡 (村田製作所)・伊東健治 (金沢工大)

ワークショップ:「高出力増幅器の最新設計法—X パラメータによる設計技術—」,「実製品に活かすアンテナ設計技術」

[午後]

- (2) 基礎講座「続・無線通信方式の基礎」

久保田周治 (芝浦工大)

ワークショップ:「ベクトルネットワーク測定の落とし穴」,「電力・情報通信融合時代の通信技術—PLC と Smart Meter が開く有線無線融合技術—」,「展示委員会連携企画:ここまで出来る!! 最新ネットアナリレーション」,「次世代トランジスタ動向」

[マイクロウェーブ展 2012]

日時:平成24年11月29日(水), 30日(金) 10:00~17:30 (最終日のみ17:00終了)

会場:パシフィコ横浜 展示ホールD (横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料/事前登録不要. 来場時に会場受付にて御登録下さい.

各種高周波・マイクロ波関連製品 (材料・基板, 半導体素子・部品, 通信装置・コンポーネント, 測定装置・加工装置, ソフトウェア・シミュレータ, エンジニアリング・製造受託等) の展示, マイクロ波電磁界シミュレータの変遷の特別企画展示, マイクロ波の歴史展示, 大学・高等専門学校における研究活動や産学連携への取り組みなどを紹介する大学展示も併設. 出展社による出展企業セミナーと特別企画セミナーも展示会場内にて同時開催.

問合せ先 MWE 2012 事務局 (リアルコミュニケーションズ内)

TEL [047] 309-3616, FAX [047] 309-3617

mweapmc@io.ocn.ne.jp

<http://www.apmc-mwe.org/>

主催 電子情報通信学会 APMC 国内委員会

後援 総務省

協賛 電子情報通信学会; マイクロ波研究専門委員会/エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会, IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter, 日本電磁波エネルギー応用学会, エレクトロニクス実装学会, 電気学会「革新的電磁波利用技術とその応用展開」調査専門委員会

——HCG シンポジウム 2012

~新たな流れを作り出すパワーを~

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーションズグループ (HCG) では, HCG シンポジウム 2012 を熊本にて開催致します. 本シンポジウムでは, 口頭発表に加えて深く議論するためのデモやポスターによるインタラクティブ発表もご紹介します. 多くの方に御発表, 御議論頂くことで, 「人を中心に据えた」情報通信技術の新たな研究のシーズを生み出す場, これからの時代の流れを新たに作り出すパワーを生み出す場となるのが本シンポジウムの目標です. 皆様, 奮って御参加下さい.



招待講演には、京都大学霊長類研究所の友永雅己先生に「海の  
ところ、森のところ—ところの起源に迫る比較認知科学—」と題  
して御講演頂きます。更に、ヒューマンコミュニケーション基礎  
研究会 (HCS 研究会)、マルチメディア・仮想環境基礎研究会  
(MVE 研究会)、未来世代から見たコミュニケーション科学の魅  
力と学習意欲向上研究会 (CML 研究会) による研究会企画セッ  
ションを予定しており、活発な議論が行われると期待しており  
ます。HCG は、フィールドやアプローチを異にする多彩なコミュ  
ニティとの連携により新しいことを生み出す場となることを目標  
としております。幅広い分野からの多数の参加をお待ちしており  
ます。

HCG 運営委員長 武川直樹 (東京電機大)

実行委員長 黒岩真吾 (千葉大)

副実行委員長 湯浅将英 (東京電機大),  
大塚真吾 (神奈川工大)

日 時 平成 24 年 12 月 10 日 (月) 9:40~19:00

12 月 11 日 (火) 9:10~19:00

12 月 12 日 (水) 9:30~14:45

会 場 くまもと森都心プラザ (熊本市)

HCG シンポジウム 2012 ホームページ

<http://2012.hcg-symposium.org/>

参加費 (予定) (CD-ROM 論文集代込み) (※事前申込締切:  
11 月 23 日 (金))

一般: [事前申込] 6,000 円, [当日] 7,000 円

学生: [事前申込] 3,000 円, [当日] 4,000 円

懇親会 12 月 11 日 (火) 19:00~

懇親会費 (予定) (※事前申込締切: 11 月 23 日 (金))

一般: [事前申込] 4,000 円, [当日] 5,000 円

学生: [事前申込] 無料, [当日] 5,000 円

ヒューマンコミュニケーション賞の授賞式も行います。

#### 【情報保障の御案内】

情報保障につきましては準備の都合がございますので事前にお  
申込み下さい。PC 要約筆記及び手話通訳については 11 月 12 日  
(月) までに聴講を希望される発表を具体的にお知らせ下さい。  
インタラクティブ発表、招待講演、懇親会などの全体行事につき  
ましても、可能な限り対応させていただきますので、参加の御予定を  
事前にお知らせ下さい。特に点字資料 (全体プログラム) を御希  
望の方はお早めにお知らせ下さい。なお、論文集は PDF (電子  
データ) で配付します。その他、車椅子での御参加など、お手伝  
いが必要な方は、事前にお知らせ下さい。

情報保障に関するお問合せ [contact@hcg-symposium.org](mailto:contact@hcg-symposium.org)

#### ■招待講演、研究会企画セッション

招待講演 12 月 10 日 (月) 16:00~

「海のところ、森のところ

—ところの起源に迫る比較認知科学— 友永雅己 (京大)

#### 研究会企画セッション

#### ●HCS 研究会 (ヒューマンコミュニケーション基礎第一種研究 会)

12 月 10 日 (月) 17:00~

企画タイトル「コミュニケーションの進化と未来: 霊長類から  
ジェミノイドまで」

ジェミノイド研究の小川浩平氏 (阪大)、コミュニケーション  
ロボットを用いたユニークな取組みで知られる高橋英之氏 (玉川  
大) の 2 名が人-モノのコミュニケーションに関する研究を紹介  
します。更にディスカッサントとして、京都大学霊長類研究所の  
友永雅己氏、及び心理臨床面接や作業療法におけるコミュニケー

ション研究を行っている長岡千賀氏 (京大) が参加し、情報コ  
ミュニケーションシステムの将来像を議論します。

#### ●MVE 研究会 (マルチメディア・仮想環境基礎第一種研究会)

12 月 11 日 (火) 13:30~

企画タイトル「マルチスクリーン連携技術の現状と未来」

スマートフォン、タブレット、スマートテレビ、デジタルサ  
イネージ等、我々の生活空間にはスクリーンを備えた端末が多数  
普及しています。この現状を踏まえて、マルチスクリーン連携技  
術の現状と未来を議論します。(苗村健氏 (東大)、有安香子氏  
(NHK)、瀬古俊一氏 (NTT)、山口 郎氏 (OKI) らの講演を予  
定)

#### ●CML 研究会 (未来世代から見たコミュニケーション科学の魅 力と学習意欲向上第三種研究会) 12 月 12 日 (水) 13:00~

企画タイトル「未来世代に学ぶ—被災地の高校生との交流を通  
じて学んだこと、それを学会の未来につなぐ」

CML 研究会のこれまでの活動報告と基調講演を行います。引  
き続き、パネリスト (小粥幹夫氏、持田侑宏氏、日比野雅夫氏、  
他) と参加者らとともに CML の今後の活動について広く意見を  
求め討論します。

■プログラム (最新の情報は HP <http://2012.hcg-symposium.org/> を御確認下さい)

#### ●12 月 10 日 (月) 受付 (9:30~)

オープニング (9:45~9:50)

午前 目と認知 (9:50~11:30)

(I-1-1) 電動車椅子乗車時を想定した眼球運動による眼電位変化  
の解析 ○中西正樹・満倉靖恵 (慶大)

(I-1-2) 異なる視覚情報処理レベルにおける跳躍眼球運動前後の  
刺激変化閾値の違い ○伊波 慧・金子寛彦 (東工大)

(I-1-3) 異なる印象判断時の顔画像観察における眼球運動比較—  
停留点と停留時間の分析— ○丸山阿弓・松山 歩・

中村夏子・稲葉善典・伊師華江 (仙台高専)・

行場次朗 (東北大)・赤松 茂 (法政大)

(I-1-4) 映像視聴時における視聴者の瞳孔と基礎律動情報の関係  
分析に関する一検討 ○川村愛莉・菅沼 陸・

亀山 渉 (早大)

午前 対話インタフェース (9:50~11:30)

(II-1-1) 共同注視状況における複数人物頭部カメラの位置姿勢  
推定 ○高瀬恵三郎・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)

(II-1-2) ユーザをほめるコンピューターコンピュータのメッ  
セージがユーザの感情と行動に与える効果—

○三浦郷史・入戸野 宏 (広島大)

(II-1-3) ゲーミフィケーションを用いた対話エージェントのた  
めの学習データ獲得 ○岩田直之 (名大)・

鳥海不二夫 (東大)・平山高嗣・榎堀 優 (名大)・

稲葉通将 (広島市大)・間瀬健二 (名大)

(II-1-4) 音源方向を提示する腕装着型機器の開発と複数人対話  
支援への応用 ○金子佳裕 (筑波大)・

鈴木健嗣 (筑波大/JST)

午前 障がい者支援 (9:50~11:30)

(III-1-1) 認知症の人を支援する経験拡張行動シミュレータの実  
現に向けて ○藤田真浩・長尾貴正 (静岡大)・

上野秀樹 (海上療養所)・石川翔吾・竹林洋一 (静岡大)

(III-1-2) 臨床療養現場における中途視覚障害者向け電子カルテ  
の開発 ○中村圭佑・鈴木香奈江・江崎修史・

伊藤和之 (国立障害者リハビリテーションセンター)

(III-1-3) 聴覚障害者の講義受講支援のための卓上投影映像によ

る情報保障の検討 ○若月大輔・内藤一郎(筑波技術大)・塩野目剛亮(東北大)・河野純大・加藤伸子・西岡知之・皆川洋喜・村上裕史(筑波技術大)

(III-1-4) 画像処理による口文字盤の読み取り支援の提案  
伊藤史人(一橋大)

午後 タッチインタフェース(12:45~14:25)

(I-2-1) スマートフォンにおけるゲームパッドを意識したキー操作の分析 ○山田健一郎・野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

(I-2-2) 運動障害者のタッチパネル操作解析  
○岩崎 優・廣富哲也(島根大)

(I-2-3) 手の形状を識別するマルチタッチテーブルでのインタラクティブデザイン ○竹内拓馬・前田義信・宮川道夫(新潟大)

(I-2-4) タッチ動作時の行動的特徴量を用いたリズム認証手法  
○野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

午後 サービスとアニメーション(12:45~14:25)

(II-2-1) 環境に基づくユーザエクスペリエンスデザイン  
○大野健彦・中谷桃子・片桐有理佳(NTT)

(II-2-2) 例文モーションの編集・合成による手話アニメーションの生成 ○井上誠喜・金子浩之・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行(NHK)・長嶋祐二(工学院大)

(II-2-3) ユーザニーズに合致した新規サービスのデザイン—日本とデンマークにおけるデザインワークショップ実践事例—  
○中谷桃子(NTT)・安岡美佳(IT Univ. of Copenhagen)・大野健彦(NTT)

午後 コンピュータビジョン(12:45~14:25)

(III-2-1) 対象物の多重スリット表現による環境カメラ観測での人物存在の可視化 ○中野一成・亀田能成・大田友一(筑波大)

(III-2-2) 多重化隠蔽タグ技術 UbiCode を使ったデジタルサイネージのインタラクティブ化によるコミュニケーション支援  
○岩橋翔仁・小出雄空明・大塚真吾・白井暁彦(神奈川工大)

(III-2-3) 周辺環境を考慮したカラー手袋による手指形状の認識実験とその評価 ○菅谷隆浩・加藤正樹・鈴木孝幸・西村広光・田中 博(神奈川工大)

(III-2-4) 人の視界を表示するウォークスルーシステム  
○渡邊俊哉・渋沢 進(茨城大)

午後 レコメンデーション(14:30~15:45)

(I-3-1) 実空間とネットワークを活用した相互協力・支援環境の実現 ○許 又双・村瀬結衣・杉浦一徳(慶大)

(I-3-2) 利用者のプロフィールを用いた個性を考慮した楽曲の印象推定 ○岩月靖典・酒向慎司・北村 正(名工大)

(I-3-3) インテントの時系列変化を考慮したボランティアマッチング支援手法 ○片岡泰之・瀬古俊一・青木良輔・橋本 遼・井原雅行・渡辺昌洋・渡部智樹・小林 透(NTT)

午後 視覚情報(14:30~15:45)

(II-3-1) マルチタッチスクリーンを用いた視覚障がい者向け文字入力方式 ○青木良輔・瀬古俊一・橋本 遼・片岡泰之・井原雅行・渡辺昌洋・小林 透(NTT)

(II-3-2) 指先カメラを用いた視覚障害者のためのタッチパネル操作支援システムにおけるカラーバーコード認識処理の検討  
○山脇 彰・芹川聖一(九工大)

(II-3-3) コンピュータ操作を視覚化する支援ツール SZ KIT の効果—聴覚障害学生の授業理解度を通じた評価—  
○鈴木拓弥・若月大輔・小林 真(筑波技術大)

午後 集団行動(14:30~15:45)

(III-3-1) 集団行動解析のための歩容意図コーパス  
○波部 斉(近畿大)・木戸出正継(近畿大/奈良先端大)・鷺見和彦(青学大)・八木康史・満上育久・梶原光平(阪大)・青木菜々美(青学大)・園部信隆(近畿大)

(III-3-2) 協調作業における社会的スキルの重要性—ネットワークのトラブルシューティングを題材として—  
○高山千尋・大野健彦(NTT)

(III-3-3) 人工物演劇プロジェクト ○安藤敏彦・松山 薫・鈴木静香(仙台高専)

午後 招待講演(16:00~17:00)  
「海のこころ, 森のこころ—こころの起源に迫る比較認知科学—」  
友永雅己(京大)

午後 企画セッション(17:00~19:00)  
[研究会企画セッション](HCS研究会)  
「コミュニケーションの進化と未来: 霊長類からジェミノイドまで」  
●12月11日(火) 受付(9:00~)

午前 ヒューマンセンシング(9:10~10:50)

(I-4-1) 慣性センサ内蔵端末と超音波センサを用いた屋内測位プラットフォームの基本検討 ○秋山征己・白井宏幸・屋良朝克・鷹野孝典・五百歳重典・田中 博(神奈川工大)

(I-4-2) 筋電位計測と Kinect センサによる3次元姿勢計測を用いたリハビリ支援システムの設計 ○朝倉 僚・近藤一晃・中村裕一(京大)・秋田純一(金沢大)・戸田真志(熊本大)・櫻沢 繁(はこだて未来大)

(I-4-3) ウェアラブル呼吸センシングの研究開発  
○施 嫻(神戸大)・川原靖弘(放送大)・片桐祥雅(NICT)・羅 志偉(神戸大)

(I-4-4) イメージセンサを用いたワイヤ式3次元位置計測機構の精度改善に関する一検討 ○和久井祐太・村山 淳・平田幸広(諏訪東京理科大)・佐藤 誠(東工大)・原田哲也(東京理科大)

午前 先進的インタラクション(9:10~10:50)

(II-4-1) 赤外線画像認識によりユーザ位置を識別するテーブルトップシステム ○須藤翔太・渋沢 進(茨城大)

(II-4-2) スマートフォンにおけるリズム認証手法の検討  
○市村亮太・野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

(II-4-3) Bluetooth を用いた SPIDAR-tablet のための無線力覚フレームの開発 ○浜島貴幸(東京理科大)・田村理乃(東工大)・村山 淳(東京理科大)・平田幸広(諏訪東京理科大)・佐藤 誠(東工大)・原田哲也(東京理科大)

(II-4-4) VDT 作業支援システムのためのマウスカーソルの制御方法の検討 ○加藤正樹・小堀達也・鈴木孝幸・五百歳重典・田中 博(神奈川工大)

午前 リハビリテーション(9:10~10:50)

(III-4-1) ディスレクシア児のための音韻訓練ソフトの開発  
○松山祐希・高丸公斗・上羽一葵・縄手雅彦(島根大)

(III-4-2) ディスレクシア児に対する漢字訓練手法の検討  
○上羽一葵・高丸公斗・縄手雅彦(島根大)

(III-4-3) 日本語・漢字を考慮した視覚認知発達検査を用いた,

- 視覚認知に弱さをもつ児童による比較検証  
○五十嵐敦志 (工学院大)・築田明教・川端秀仁 (かほく眼科)・長嶋祐二 (工学院大)
- (III-4-4) 食生活ナビゲーションによる高次脳機能障害者の自立支援  
○佐野陸夫・宮脇健三郎 (阪工大)・光森洋美・松井元子・大谷貴美子 (京都市立大)・米村俊一 (芝浦工大)・大出道子・廣畑史子 (大阪府立障がい者自立センター)
- 午前 距離画像処理 (11:00~12:15)
- (I-5-1) 距離画像に基づく表情表出時の動態解析  
○伊勢崎隆司 (筑波大)・鈴木健嗣 (筑波大/JST)
- (I-5-2) 動作認識のためのカラーとデプス情報を用いた時空間特徴の比較評価  
○福岡龍大・川本一彦 (千葉大)
- (I-5-3) 距離画像を用いた動きのある指文字の非接触認識手法の検討  
○三宅太一・若月大輔・内藤一郎 (筑波技術大)
- 午前 知覚と意図 (11:00~12:15)
- (II-5-1) 観察による意図推定過程の解明  
○渡瀬 傑・竹内勇剛 (静岡大)
- (II-5-2) ピッチの回転運動知覚と前後の並進加速運動知覚のための、前庭・体性感覚情報と視覚情報の統合特性  
○笠原悠司・金子寛彦 (東工大)
- (II-5-3) 感情移入による和音に対する事象関連電位の変化  
○川原靖弘 (放送大)・片桐祥雅 (NICT)
- 午前 Web とデザイン (11:00~12:15)
- (III-5-1) WANTS の実現促進を目的とするライフログの構築—食べ物をはじめとするインタフェース—  
○陳 奕親・村瀬結衣・杉浦一徳 (慶大)
- (III-5-2) 課題提出を支援するリマインダの開発—リマインド頻度の変化による反応差の検証—  
○谷村 祐・西田暁季・納富一宏 (神奈川工大)
- (III-5-3) ウェブアクセシビリティの配慮度合いに関連するデザイン方法の検討  
○渡辺昌洋・橋本 遼・森田敬樹・浅野陽子 (NTT)
- 午後 企画セッション (13:30~15:10)
- [研究会企画セッション] (MVE 研究会)  
「マルチスクリーン連携技術の現状と未来」
- 午後 脳と音 (13:30~15:10)
- (II-6-1) 脳波解析による味覚の周波数判別手法の提案  
○多和田敬介・高山 慧・満倉靖恵 (慶大)
- (II-6-2) 背景音のリズムの規則性とテンポが行動のペースに与える影響  
○栗林龍馬・入戸野 宏 (広島大)
- (II-6-3) 認識対象区間を考慮した音声からの印象認識  
○内田正洋・篠崎隆宏・堀内靖雄・黒岩眞吾 (千葉大)
- (II-6-4) 黙声認識における重心推移法に基づく差分推移を活用した発声時筋活動変化の抽出手法  
○永井秀利・金井田早紀・宮武一志・中村貞吾 (九工大)
- 午後 インタラクティブ発表概要説明 (15:30~16:10)
- 午後 インタラクティブ発表 (ホワイエ) (16:10~18:00)
- (IV-1-1) 精油吸入による除痛の深部脳機能メカニズム  
○坊垣友美 (愛知医科大)・片桐祥雅 (NICT)・宇佐美 眞 (神戸大)
- (IV-1-2) ウェアラブルマルチチャンネル EEG システムによる運動機能評価とその臨床応用  
○片桐祥雅 (NICT)・植谷欣也・川又敏男 (神戸大)
- (IV-1-3) クラウド型ウェアラブル EEG/ECG モニタリングによるヘルスケアネットワーク  
片桐祥雅 (NICT)
- (IV-1-4) アノテーションされた会話映像を用いた人の振舞いとコミュニケーション機能の分析  
○徳永弘子・武川直樹・木村 敦・湯浅将英 (東京電機大)
- (I-7-3) 複数人対話中の共感/反感についての外部観察者集団による解釈の分布の推定  
○熊野史朗・大塚和弘・松田昌史・石井 亮・大和淳司 (NTT)
- (I-7-4) 対話型タブーサーチによる香りの生成手法の改良  
○福本 誠・河合啓二 (福岡工大)・井上 誠 (秋田高専)・今井順一 (千葉工大)
- (I-7-5) ポスターセッションの分析のための不特定複数人物の頭部形状と姿勢のオンライン自動推定  
○吉本廣雅・中村裕一 (京大)
- (II-3-1) マルチタッチスクリーンを用いた視覚障がい者向け文字入力方式  
○青木良輔・瀬古俊一・橋本 遼・片岡泰之・井原雅行・渡辺昌洋・小林 透 (NTT)
- (III-4-4) 食生活ナビゲーションによる高次脳機能障害者の自立支援  
○佐野陸夫・宮脇健三郎 (阪工大)・光森洋美・松井元子・大谷貴美子 (京都市立大)・米村俊一 (芝浦工大)・大出道子・廣畑史子 (大阪府立障がい者自立センター)
- (III-7-5) かわいい人工物に関する系統的研究 (第 14 報) —かわいい質感に関する触素材を用いた基礎的検討—  
○大倉典子・小松 剛・大澤俊太 (芝浦工大)・坂本真樹 (電通大)
- (IV-2-5) 非直角のトリックを用いた不可能立体の 3 次元モデル作成システム  
○杜 紹春・松田浩一 (岩手県立大)
- (IV-2-6) 多数の表情顔の 3D 形状に対する主成分分析に基づいた新規人物の表情生成の試み  
○天木穂江・渡邊ちさ・永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-7) 表情表出時の顔 3 次元形状の動的変化を記述する低次元パラメータの妥当性評価—モーションキャプチャから得られる時系列データの主成分分析—  
○永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-8) 加齢変化の影響を受けやすい顔画像の Gabor 特徴を用いた年齢層推定  
○菅田幸希・浅水宏文・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-9) 咽喉マイクロフォンを用いた音波分析に基づく無拘束咳嗽モニタリングシステム  
○道幸成久 (阪電通大)・辻村 肇 (阪電通大/介護老人保健施設 ケアセンター蒲生野)・松村雅史 (阪電通大)
- (IV-2-10) 視覚障害者へのタブレット端末の操作方法の教示—全盲者向け講習会を通じて—  
○松坂治男・坂尻正次 (筑波技術大)・三浦貴大 (東大)・巽 久行・小野 東 (筑波技術大)
- (IV-2-11) タブレット PC を用いた聴覚障がい者・健聴者間コミュニケーション支援システムの開発  
○澤田由貴子・木村 勉 (豊田高専)・神田和幸 (中京大)
- (IV-2-12) 奥行き情報が視覚的注意に与える影響—オブジェクト置き換えマスキング実験を用いて—  
○井ノ上桃子・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (IV-2-13) 奥行き情報が視覚的注意に与える影響—高速逐次視覚呈示 (RSVP) 課題を用いて—  
○坂元里菜・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (IV-2-14) 医療用手話単語データベースの構築  
○渡辺桂子・長嶋祐二 (工学院大)・金子浩之・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・井上誠喜・清水俊宏

- 比留間伸行 (NHK)
- (IV-2-15) レポート提出を確実にするリマインドアプリの開発  
○西田滉季・谷村 祐・納富一宏 (神奈川工大)
- (IV-2-16) Twitter を用いたスポーツ試合中のイベント検出に関する検討  
○富田大志 (名大)・道満恵介 (中京大)・井手一郎・出口大輔・村瀬 洋 (名大)
- (IV-2-17) 顔の示差性は表情によって変化するのか? 一再認課題を用いた検討—  
○高橋 望・山田 寛 (日大)
- (IV-2-18) 発話速度変換システムにおける話者印象を補正する基本周波数制御  
○池原仙一・斎藤博人・武川直樹 (東京電機大)
- (I-1-3) 異なる印象判断時の顔画像観察における眼球運動比較—停留点と停留時間の分析—  
○丸山阿弓・松山 歩・中村夏子・稲葉善典 (法政大)・伊師華江 (仙台高専)・行場次朗 (東北大)・赤松 茂 (法政大)
- (I-3-1) 実空間とネットワークを活用した相互協力・支援環境の実現  
○許 又双・村瀬結衣・杉浦一徳 (慶大)
- (I-4-2) 筋電位計測と kinect センサによる 3 次元姿勢計測を用いたリハビリ支援システムの設計  
○朝倉 僚・近藤一晃・中村裕一 (京大)・秋田純一 (金沢大)・戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (はこだて未来大)
- (II-1-1) 共同注視状況における複数人物頭部カメラの位置姿勢推定  
○高瀬恵三郎・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)
- (II-1-2) ユーザをほめるコンピューターコンピューターのメッセージがユーザの感情と行動に与える効果—  
○三浦郷史・入野 宏 (広島大)
- (II-1-3) ゲーミフィケーションを用いた対話エージェントのための学習データ獲得  
○岩田直之 (名大)・鳥海不二夫 (東大)・平山高嗣・榎堀 優 (名大)・稲葉通将 (広島市大)・間瀬健二 (名大)
- (II-5-1) 観察による意図推定過程の解明  
○渡瀬 傑・竹内勇剛 (静岡大)
- (II-6-2) 背景音のリズムの規則性とテンポが行動のペースに与える影響  
○栗林龍馬・入野 宏 (広島大)
- (III-1-2) 臨床療養現場における中途視覚障害者向け電子カルテの開発  
○中村圭佑・鈴木香奈江・江崎修央 (鳥羽商船高専)・伊藤和之 (国立障害者リハビリテーションセンター)
- (III-2-1) 対象物の多重スリット表現による環境カメラ観測での人物存在の可視化  
○中野一成・亀田能成・大田友一 (筑波大)
- 午後 懇親会 (19:00~)
- 12月12日(水) 受付 (9:00~)
- 午前 ヒューマンコミュニケーション (9:30~12:00)
- (I-7-1) 広汎性発達障害児の意志受容を支援するコミュニケーションエイド  
○廣富哲也・稲村 駿・田中教子 (鳥根大)
- (I-7-2) 意思伝達装置の遠隔支援ネットワーク構築の試み  
伊藤史人 (一橋大)
- (I-7-3) 複数人対話中の共感/反感についての外部観察者集団による解釈の分布の推定  
○熊野史朗・大塚和弘・松田昌史・石井 亮・大和淳司 (NTT)
- (I-7-4) 対話型タブーサーチによる香りの生成手法の改良  
○福本 誠・河合啓二・井上 誠 (秋田高専)・今井順一 (千葉工大)
- (I-7-5) ポスターセッションの分析のための不特定複数人物の頭部形状と姿勢のオンライン自動推定  
○吉本廣雅・

- 中村裕一 (京大)
- (I-7-6) 対面コミュニケーションが新奇食物受容に及ぼす効果  
○木村 敦 (東京電機大)・酒造正樹 (神奈川大)・武川直樹・佐々木寛紀 (東京電機大)・和田有史 (食総研)
- 午前 ユーザインタフェース (9:30~12:00)
- (II-7-1) 実践から見えたラピッドプロトタイプリングの可能性とその難しさ  
○草野孔希・大野健彦・中谷桃子 (NTT)
- (II-7-2) SF 映画からの近未来 UI に関する考察とその効果  
○飯尾 淳 (三菱総研)・飯塚重善 (神奈川大)・松原幸行 (キノ)
- (II-7-3) 大型公共ディスプレイ上へのプライベート情報提示方法の検討  
○飯塚重善 (神奈川大)・内藤 航・郷 健太郎 (山梨大)
- (II-7-4) PCCS に基づく自動配色調整ツール  
○柳田拓人 (静岡大)・岡嶋克典 (横浜国大)・三村秀典 (静岡大)
- (II-7-5) 色覚特性と色の持つ意味を考慮した再配色提案に関する検討  
○齋藤晴美・渡辺昌洋・浅野陽子 (NTT)
- (II-7-6) ドライバの意図入力インタフェースと GPS 軌跡からの意図推定手法  
○岩井将行・清水和人・瀬崎 薫 (東大)
- 午前 感性 (9:30~12:00)
- (III-7-1) 流暢な発話を実現する深部脳活動  
○今井絵美子 (神戸大)・片桐祥雅 (NICT)・川又敏男 (神戸大)
- (III-7-2) 生理心理計測による 3DTV 視聴時の感情状態の評価  
○阪本清美・坂下誠司 (パナソニック)・山下久仁子・岡田 明 (阪市大)
- (III-7-3) ポジティブ気分による拡散的創造性の促進  
○山田陽平 (名大/産総研)・永井聖剛 (産総研)
- (III-7-4) 表出行動・生理反応を利用した話者の感情表出スタイルの分類  
○有本泰子 (科学技術振興機構/理研)・岡ノ谷一夫 (東大/科学技術振興機構/理研)
- (III-7-5) かわいい人工物に関する系統的研究 (第 14 報) —かわい質感に関する触素材を用いた基礎的検討—  
○大倉典子・小松 剛・大澤俊太 (芝浦工大)・坂本真樹 (電通大)
- (III-7-6) 「話されたことば」と「書かれたことば」における日本語の情報伝達  
神山みや子 (キャブジョン・ベガス)
- 午後 企画セッション (13:00~14:30)  
[研究会企画セッション] (CML 研究会)  
「未来世代に学ぶ—被災地の高校生との交流を通じて学んだこと、それを学会の未来につなぐ」
- 午後 表彰・クロージング (14:30~14:45)
- 問合先 contact@hcg-symposium.org
- 主 催 ヒューマンコミュニケーショングループ
- 協 賛 映像情報メディア学会, 計測自動制御学会, 情報処理学会, 日本顔学会, 日本音響学会, 日本認知科学学会, 日本認知心理学会, 日本バーチャルリアリティ学会, ヒューマンインタフェース学会

—本 会 が 協 賛 等 の も の—

(※は参加費割引あり)

情報学による未来社会のデザイン～健全でスマートな社会システムに向けて～第1回大量データにもとづく未来社会のデザイン

期 日 平成24年11月8日(木)  
会 場 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)  
問合先 godosympo@info.jst.go.jp

短期集中セミナー「Exciting Coding!—IT スペシャリストが語るシステム開発の面白さ—」

期 日 平成24年11月14日(水)  
会 場 楽天タワー(東京都品川区)  
問合先 情報処理学会事業部門  
TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375  
jigyo@ipsj.or.jp

Electronic Design and Solution Fair 2012

期 日 平成24年11月14日(水)～16日(金)  
会 場 パシフィコ横浜(横浜市)  
問合先 日本エレクトロニクスショー協会 担当 金子  
TEL [03] 6212-5233, FAX [03] 6212-5226  
kaneko@jesa.or.jp

第32回医療情報学連合大会(第13回日本医療情報学会学術大会)

期 日 平成24年11月15日(木)～17日(土)  
会 場 朱鷺メッセ(新潟市)  
問合先 同大会事務局(新宣 朱鷺メッセ営業所内)  
TEL [025] 243-7040, FAX [025] 243-7041  
jcmi2012@shinsen.biz

講習会：とことんわかる自動車のモデリングと制御 2012 (※)

期 日 平成24年11月16日(金)  
会 場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)  
問合先 日本機械学会学会運営部門総務グループ 担当 大黒  
TEL [03] 5360-3500, FAX [03] 5360-3508  
daikoku@jsme.or.jp

第9回技術者のための技術者倫理セミナー—事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント—

期 日 平成24年11月17日(土)  
会 場 日本技術士会(東京都港区)  
問合先 日本機械学会 担当 曾根原  
TEL [03] 5360-3500, FAX [03] 5360-3508  
sonehara@jsme.or.jp

講習会「魅力を設計する」—成熟から革新へ— (※)

期 日 平成24年11月30日(金)  
会 場 東京大学工学部(東京都文京区)  
問合先 日本機械学会設計工学・システム部門 担当 田中  
TEL [03] 5360-3500, FAX [03] 5360-3508  
tanaka@jsme.or.jp

日本人間工学会関東支部第42回大会「共生社会を拓く人間工学」(※)

期 日 平成24年12月1日(土), 2日(日)  
会 場 埼玉県立大学(越谷市)  
問合先 日本人間工学会 同大会運営事務局(ドーム内)  
担当 水垣  
TEL [03] 5510-7923, FAX [03] 5510-7922  
jeskanto42@do-mo.jp

第10回最適化シンポジウム 2012 (OPTIS 2012) (※)

期 日 平成24年12月6日(木), 7日(金)  
会 場 神戸市産業振興センター(神戸市)  
問合先 日本機械学会 担当 川島  
TEL [03] 5360-3501, FAX [03] 5360-3509  
kawashima@jsme.or.jp

「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第1回」学習・教育到達目標設定法とその達成度評価法(エンジニアリング・デザイン能力育成科目を対象として)

期 日 平成24年12月8日(土)  
会 場 芝浦工業大学豊洲校舎(東京都江東区)  
問合先 日本技術者教育認定機構 事務局 石井  
TEL [03] 5439-5031, FAX [03] 5439-5033  
ishii@jabee.org http://www.jabee.org/

「2012年度 画像4学会合同研究会」画像形成技術が拓くフレキシブル・プリントエレクトロニクス(※)

期 日 平成24年12月10日(月)  
会 場 オリピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)  
問合先 画像4学会合同研究会事務局(東京工芸大学内)  
TEL [03] 3373-0724, FAX [03] 3299-5887  
spstj@pht.t-kougei.ac.jp

理研シンポジウム「塗布型有機電子デバイス開発の新展開」

期 日 平成24年12月11日(火)  
会 場 理化学研究所大河内記念ホール(和光市)  
問合先 理化学研究所有機電子工学研究チーム  
加瀬 究, 鈴木美穂  
TEL [048] 467-5499, FAX [048] 467-5689  
kiwamu@riken.jp smiho@riken.jp

エコデザイン 2012 ジャパンシンポジウム: エコデザイン, ローカルからグローバルへ

期 日 平成24年12月11日(火), 12日(水)  
会 場 SEMI ジャパン大島オフィス(東京都千代田区)  
問合先 同シンポジウム事務局(エコデザイン推進機構)  
ecodesign2012@secretariat@ecodenet.com

第30回プラズマプロセス研究会(※)

期 日 平成25年1月21日(月)～23日(水)  
会 場 アクティシティ浜松(浜松市)  
問合先 同研究会現地実行委員会委員長 永津雅章(静岡大学創造科学技術大学院)  
TEL & FAX [053] 478-1081  
spp30@ipc.shizuoka.ac.jp

第 39 回冬期講習会：光と磁気—基礎から応用まで— (※)  
期 日 平成 25 年 1 月 24 日 (木), 25 日 (金)  
会 場 東京大学本郷キャンパス山上会館 (東京都文京区)  
問合先 応用物理学会分科会担当 上村  
divisions@jsap.or.jp

インタラクション 2013  
期 日 平成 25 年 2 月 28 日 (木)~3 月 2 日 (土)  
会 場 日本科学未来館 (東京都江東区)  
問合先 contact2013@interaction-ipsj.org

日本地球惑星科学連合 2013 年大会  
期 日 平成 25 年 5 月 19 日 (日)~24 日 (金)  
会 場 幕張メッセ (千葉市)  
問合先 日本地球惑星科学連合事務局  
TEL [03] 6914-2080, FAX [03] 6914-2088  
office@jpgu.org <http://www.jpgu.org/meeting/>

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第 5 回国際デザイン学会連合国際会議 (※)  
期 日 2013 年 8 月 26 日 (月)~30 日 (金)  
会 場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (東京都江東区)  
問合先 同国際会議組織運営委員会  
担当 古屋 繁 (芝浦工業大学内)  
TEL [03] 6722-2774, FAX [03] 6722-2602  
info@iasdr2013.jp



複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication  
Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.  
Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.  
Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail:info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

● ..... 論文賞候補論文推薦について ..... ●

\*\*\*\*\* Nomination guidelines for the 2012 Best Paper Award of IEICE \*\*\*\*\*

平成 24 年度論文賞候補論文の推薦を求めます。論文賞候補論文の選定は各ソサイエティごとに行います。下記選定条件及び関係規程を御参照の上、御推薦されることを希望致します。

論文賞候補の推薦にあたっては、推薦する論文の掲載年月に特に御注意下さい。

論文賞選定条件及び規程

1. 選定範囲及び推薦数  
平成 23 年 10 月から平成 24 年 9 月までの間に、本会論文誌に発表された論文のうちから 1 編。ただし、推薦する論文は、所属ソサイエティに対応する論文誌から選定すること。
2. 推薦用紙  
所属ソサイエティの推薦用紙を切り取り、所定の事項をもなく記入して本会総務課宛て郵送のこと。
3. 推薦資格及び推薦件数  
本会ソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦締切期日  
平成 24 年 12 月 1 日（土）
5. 選奨規程 右記参照

第 4 章 論文賞

- 第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。
- 第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。
- 第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差し支えない。

1. A member can nominate one best paper in IEICE Transactions of the society, which the member belongs to.
2. The paper must be published from October 2011 to September 2012.
3. The nomination deadline is December 1, 2012.

(以降の推薦用紙を御利用の上、御推薦下さい)

切 取 線

A

基礎・境界ソサイエティ 平成 24 年度論文賞候補論文推薦用紙  
Engineering Sciences Society Nomination of the 2012 Best Paper Award of IEICE

論文名 Title			
著者名 Author(s)			
掲載年月号 (論文誌○で囲む) Published date	平成	年	月号
	( A	・	EA )
推薦理由 Reason for nomination	<hr/> <hr/> <hr/>		
推薦者 Nominator	氏名 Name	(会員番号: Membership Number )	
	勤務先・所属名		
基礎・境界 ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、基礎・境界ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。論文賞候補の推薦は本用紙に限ります（コピーしたものは受け付けません）。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部  
Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers  
Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

C

エレクトロニクスソサイエティ 平成 24 年度論文賞候補論文推薦用紙  
 Electronics Society Nomination of the 2012 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title	
著 者 名 Author(s)	
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成 年 月号 ( C ・ EC )
推 薦 理 由 Reason for nomination	
推 薦 者 Nominator	氏 名 (会員番号: ) Name Membership Number
	勤務先・所属名
エレクトロニクス ソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。  
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部  
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers  
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

..... 切 取 線 .....

D

情報・システムソサイエティ 平成 24 年度論文賞候補論文推薦用紙  
 Information and Systems Society Nomination of the 2012 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title	
著 者 名 Author(s)	
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成 年 月号 ( D ・ ED )
推 薦 理 由 Reason for nomination	
推 薦 者 Nominator	氏 名 (会員番号: ) Name Membership Number
	勤務先・所属名
情報・システム ソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、情報・システムソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。  
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部  
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers  
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN



● …… 平成 24 年度エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 候補論文推薦について …… ●

エレクトロニクスソサイエティ論文賞選定委員会  
委員長 八坂 洋

エレクトロニクスソサイエティでは平成 22 年度より、本部論文賞とは別に、エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞（以下招待論文賞と略記）を新設致しております。エレクトロニクスソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。招待論文賞は和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文を対象とし、特に優秀な論文 1 編を選び、その著者に贈呈します。

招待論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

1. 選定範囲及び推薦数

選定範囲は平成 23 年 10 月から平成 24 年 9 月までで、その間に和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文のうちから 1 編を選定し、推薦すること。

2. 推薦用紙

下記の推薦用紙を切り取り、所定の事項をもれなく記入して学会事務局（〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課）宛て郵送のこと。

3. 推薦資格及び推薦数

エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編

4. 推薦締切期日

平成 24 年 12 月 1 日（土）必着

5. 選奨規程

<http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/kitei2.php> 参照

…………… 切 取 線 ……………

エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 平成 24 年度候補論文推薦用紙

論文種別	招待論文・解説論文（いずれか一つに○印をつける）		
論文名			
著者名			
掲載年月号 （論文誌○で囲む）	平成	年	月号 ( C ・ EC )
推薦理由			
推薦者	氏名	( 会員番号 : )	
	勤務先・所属名		
エレクトロニクス ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

- ・ 推薦理由を記載して下さい。
- ・ 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります（コピーしたものは受け付けません）。

## ●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

## ——小野音響学研究助成（平成 25 年度）——

助成対象 大学，研究機関等に所属して音響学の研究に携わっている若手研究者（応募時の年齢が 40 歳程度までとし，学生は除く）。

助成金額 1 件 100 万円以内，件数 5 件程度

応募締切日 平成 25 年 1 月 10 日（木）（必着）

問合先 三菱 UFJ 信託銀行リテール受託業務部 公益信託グループ 渡邊

TEL [03] 6250-3260, FAX [03] 6214-6253

## ●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後，事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後，数日たっても受領の連絡がない場合は，事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

## ——教官・教員募集——

## ●富山県立大学

公募人員 工学部情報システム工学科 教授または准教授 1 名  
専門分野 計算論，ソフトウェア基礎分野（データマイニング理論，アルゴリズム設計，計算複雑度，ソフトウェア基礎，組合せ最適化，数理計画法の関連分野）

応募資格 博士の学位を有する方

応募締切 平成 24 年 11 月 9 日（金）必着

問合先 情報システム工学科主任教授 太田 聡

TEL [0766] 56-7500, ohta@pu-toyama.ac.jp

詳細 <http://www.pu-toyama.ac.jp/siryou/koubo.html>

## ●熊本大学

公募人員 大学院先導機構 テニユアトラック教員 助教 1 名  
専門分野 知覚情報処理分野（生体信号処理，知能ロボティクス，バーチャルリアリティ，情報センシング，ヒューマンインタフェース，環境動態解析など）

着任時期 平成 25 年 1 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 11 月 13 日（火）必着

問合先 内村圭一，TEL [096] 342-3638（直通）

uchimura@cs.kumamoto-u.ac.jp

詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

## ●埼玉工業大学

公募人員 工学部情報システム学科 専任講師 1 名  
専門分野 スマートグリッド，電気機器，電動機応用，電気自動車，電力工学，パワーエレクトロニクスなど

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 11 月 20 日（火）必着

問合先 情報システム学科教授 吉澤浩和

yoshiz\_h@sit.ac.jp

詳細 <http://www.sit.ac.jp/general/recruit/120808.html>

## ●埼玉工業大学

公募人員 専任講師 1 名

専門分野 スマートフォンのアプリケーション開発，ソーシャルネットワーク，クラウド技術，新しいプログラミングパラダイム

担当講義 情報システム概論，応用プログラム言語，展開情報処理実験等

応募締切 平成 24 年 11 月 20 日（火）必着

問合先 〒369-0293 深谷市普濟寺 1690

埼玉工業大学工学部情報システム学科長 曹 建庭

TEL [048] 585-2521(代), cao@sit.ac.jp

## ●山形大学

公募人員 大学院理工学研究科 准教授 2 名

専門分野 情報科学全般

応募資格 博士の学位を有し，教育・研究に熱意のあること

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 11 月 21 日（水）必着

問合先 〒992-8510 米沢市城南 4 丁目 3-16

山形大学工学部情報科学専攻長 平中幸雄

TEL [0238] 26-3322, zioi@yz.yamagata-u.ac.jp

詳細 <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/openposi/>

## ●群馬大学

公募人員 大学院工学研究科電気電子工学専攻 助教 1 名

専門分野 光エレクトロニクス

応募資格 博士の学位を有しているか平成 25 年 3 月末までに取得見込みで，教育・研究に対して熱意があり，電気電子工学科の講義や実験を担当できる方

着任時期 決定後，できるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 11 月 22 日（木）必着

問合先 電気電子工学専攻長 石川赴夫

TEL [0277] 30-1742, ishi@el.gunma-u.ac.jp

詳細 <http://www.el.gunma-u.ac.jp/Koubo/index.html>

## ●愛媛大学

公募人員 電気電子工学科 助教 1 名（任期制）

専門分野 電気エネルギー工学（主にプラズマ工学，電気応用）

応募資格 博士の学位を有し，研究と教育に熱意のある方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 11 月 30 日（金）必着

問合先 大学院理工学研究科電子情報工学専攻

電気電子工学コース長 津田光一

TEL [089] 927-9778, FAX [089] 927-9791

chair@ee.ehime-u.ac.jp

詳細 <http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>の「教員公募」

## ●愛媛大学

公募人員 電気電子工学科 准教授または講師 1 名（任期なし）

専門分野 電子物性デバイス工学（主に半導体量子デバイス）

応募資格 博士の学位を有し，研究と教育に熱意のある方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 11 月 30 日（金）必着

問合先 大学院理工学研究科電子情報工学専攻

電気電子工学コース長 津田光一

TEL [089] 927-9778, FAX [089] 927-9791

chair@ee.ehime-u.ac.jp

詳細 <http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>の「教員公募」

### ●電気通信大学

公募人員 テニユア・トラック助教（常勤）1名

専門分野 電波天文学と工学の境界領域で研究教育を担える教員を募集する。天文学・天体物理学に関する研究で実績があること。また、観測に必要な機器の開発にも関与できるレベルの電気・電子回路分野の能力を有することが望ましい

応募締切 平成24年11月30日（金）16時必着

問合先 情報・通信工学専攻教授 柳澤正久

yanagi@uec.ac.jp

詳細 [http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad\\_20120828.pdf](http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20120828.pdf)

### ●電気通信大学

公募人員 大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻教授または准教授1名

専門分野 データ工学分野（データモデル、NoSQL型DB、並列・分散DB、ストリームデータ処理、データマイニング、Web・SNSマイニング、ビッグデータ、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、セキュリティ・プライバシー、情報可視化など）

応募締切 平成24年12月3日（月）必着

問合先 情報・通信工学専攻 沼尾雅之, numao@cs.uec.ac.jp

詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

### ●長岡技術科学大学

公募人員 准教授または講師1名（常勤 任期なし）

所属 電気系情報通信システム工学講座

専門分野 デジタル信号処理、音響信号処理、生体情報工学

応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方で上記分野の教育・研究に情熱を有する方

提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/教員公募欄参照>

着任時期 平成25年4月1日以降できるだけ早い時期

応募締切 平成24年11月30日（金）必着「簡易書留」

問合先 電気系長 大石 潔, TEL [0258] 47-9525

ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

### ●函館工業高等専門学校

公募人員 生産システム工学科 准教授または助教1名

専門分野 電気機器工学分野

担当科目 電気機器、電気磁気学、工学実験など

応募資格 博士の学位か技術士の資格を有し（または採用予定日までに取得見込み）、高専教育への理解と熱意のある方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年11月30日（金）必着

問合先 電気電子工学科主任 森田 孝

TEL [0138] 59-6425, morita@hakodate-ct.ac.jp

詳細 <http://www.hakodate-ct.ac.jp/>

### ●八戸工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 助教1名

専門分野 電気電子工学・電気材料全般（特に、エネルギー変換、パワーエレクトロニクス、磁気応用、センサ、集積回路、その他関連分野）

応募締切 平成24年11月30日（金）必着

問合先 電気情報工学科長 久慈憲夫

TEL [0178] 27-7288, kuji-e@hachinohe-ct.ac.jp

詳細 <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

### ●神奈川工科大学

公募人員 ホームエレクトロニクス開発学科 助教1名（任期制）

専門分野 ネットワーク家電（ホームネットワーク、HEMSなど）

担当科目 電気電子情報系基礎科目の演習、プロジェクト科目等

応募資格 博士の学位を有し（取得見込可）、教育研究に熱心な方

着任時期 平成25年4月1日以後のなるべく早い時期

応募締切 平成24年12月1日（土）必着

問合先 ホームエレクトロニクス開発学科教授 奥村万規子

home2012@he.kanagawa-it.ac.jp

詳細 <http://www.kait.jp/recruit/>

### ●筑波大学

公募人員 特任助教1名（任期3年、5年まで延長可）

専門分野 情報工学・情報科学

職務・要件等 情報学群情報メディア創成学類における授業、演習、実習等に関わる情報処理教育環境の整備に従事。コンピュータリテラシ実習等の授業科目を担当。博士の学位を有すること（取得見込みを含む）

着任予定日 平成25年4月1日

応募締切 平成24年12月1日（土）必着

問合先 図書館情報メディア系 杉本重雄

sugimoto@slis.tsukuba.ac.jp

### ●豊橋技術科学大学

公募人員 工学部情報・知能工学系 助教1名

専門分野 社会的ロボティクス、ヒューマン・ロボットインタラクション（HRI）、ヒューマン・エージェントインタラクション（HAI）とその応用分野

応募締切 平成24年12月7日（金）必着

問合先 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学情報・知能工学系教授 岡田美智男

TEL [0532] 44-6886, okada@tut.jp

詳細 研究者人材データベース JREC-INの求人情報検索で助教の公募の記事を御確認下さい

### ●阿南工業高等専門学校

公募人員 電気電子工学科 助教2名

専門分野 電気エネルギー工学、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年12月19日（水）必着

問合先 電気電子工学科 砂原米彦

TEL [0884] 23-7205, sunahara@anan-nct.ac.jp

詳細 本学のホームページを参照

### ●富山大学

職名 助教1名（任期5年：審査を経て再任可）

所属 大学院理工学研究部（電気電子システム工学科担当）

研究分野・専門分野 知能ロボティクス（進化ロボティクス、機械学習、強化学習、マルチロボットシステムなど）

採用予定年月日 採用決定後できるだけ早い時期（平成25年4

月1日以降)  
 応募締切 平成24年12月21日(金)必着  
 問合先 大学院理工学研究部教授 中島一樹  
 TEL [076] 445-6720, kazukin@eng.u-toyama.ac.jp  
 詳細情報 <http://www.u-toyama.ac.jp/employ/index.html>

●弘前大学

公募人員 理工学研究科(理工学部電子情報工学科併任)教授1名  
 専門分野 コンピュータサイエンス, コンピュータエンジニアリング  
 応募資格 博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方  
 着任時期 平成25年7月1日以降のできるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年12月25日(火)必着  
 問合先 大学院理工学研究科 小野口一則  
 TEL [0172] 39-3668, onoguchi@eit.hirosaki-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html>

●弘前大学

公募人員 理工学研究科(理工学部電子情報工学科併任)教授1名  
 専門分野 グリーンエレクトロニクス, インテリジェントパワー, 通信システムのいずれかを専門とする方  
 応募資格 博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方  
 着任時期 平成25年7月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年12月25日(火)必着  
 問合先 大学院理工学研究科 小野口一則  
 TEL [0172] 39-3668, onoguchi@eit.hirosaki-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html>

●高知工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 教授または准教授1名  
 専門分野 電力・エネルギーまたは制御工学  
 担当科目 エネルギーシステム工学, 制御工学, 電気回路等  
 応募資格 博士の学位を有する方  
 学生の教育・指導に熱心で, 研究と両立可能な方  
 着任時期 平成25年4月1日  
 応募締切 平成25年1月7日(月)必着  
 問合先 電気情報工学科科長 今井一雅  
 imai@ee.kochi-ct.ac.jp  
 詳細 <http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 1月号掲載分 平成24年11月16日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——2013年フェロー候補者推薦公募について——

2013年フェロー候補者推薦の時期になりましたのでお知らせ致します。

フェロー制度は本会規則第2条「学問・技術または関連する事業に関して顕著な貢献が認められ、本会への貢献が大きいシニア会員（ただし、平成27年までは、正員を対象とすることができる）に対してフェローの称号を贈呈する」に会員制度の一貫として定められております。

つきましては、2013年フェロー候補者推薦の公募を致しますので、ふさわしい方を御推薦頂きますようお願い致します。

フェロー候補者推薦締切日 平成25年1月31日（木）

なお、推薦に関する詳細につきましては本会ホームページ（<http://www.ieice.org/jpn/fellow/suisen.html>）を御参照下さい。

送付先 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

一般社団法人電子情報通信学会各ソサイエティフェロー推薦委員会宛て

——「子供の科学教室基金」の募金活動に  
御協力をお願い致します——

本会では10数年間にわたり、会員の先生方にボランティアで講師となって頂き、先端の科学について分かりやすく話して頂く会を企画し、小・中・高校生を対象に同科学教室を開催して参りました。その結果、延べ18,900名を超す参加者があり、毎回書いて頂くアンケートでも非常によい感想を頂いております。

この青少年の啓発活動を定着させていくために、平成14年度からこの活動が本来、御賛同の方の御支援により実施すべきものと考え、理事会の承認を得て、会費請求時に個別会員、維持員の皆様から「子供の科学教室基金」として御寄付を募ることに致しました。御寄付は基金に繰り入れ、用途を明確にして有効活用させて頂いております。

会員の皆様に御賛同を頂くとともに、御協力をお願い申し上げます。

募金額は1口1,000円とさせて頂いておりますが、口数に制限はありません。

なお、募金用の振込用紙は、11月末ごろ、会員の皆様にお送り致します平成25年度会費の振込用紙に同封させて頂きますので、何とぞ御協力下さいませようお願い申し上げます。

——電子情報通信学会東京支部教育イベントの  
公募について——

電子情報通信学会東京支部では、本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励および普及事業」として、我が国の未来を担う子どもたちに自然科学、特に電子情報通信分野や関連分野の科学技術のおもしろさ、すばらしさを実感、体感してもらえるイベントを企画することにより、「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています。そのため、これまでも東京支部が主催する各種教育イベントを企

画、実施してきました。

更にその活動を広げることを目的として、本学会東京支部会員から、一般の小、中、高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します。企画・イベントの実施に際しては、東京支部が共同主催し、そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています。

なお、応募要領の詳細につきましては、東京支部ホームページ（<http://www.ieice.org/tokyo/koubokyouikuibento.html>）を御覧下さい。

——和文論文誌C 随時公開開始のお知らせ——

和文論文誌C 編集委員会

和文論文誌C 編集委員会では、論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2013年1月号掲載分からオンライン版の論文の随時公開を開始することとしましたのでお知らせ致します。

採録された論文は、通常の編集組版作業を行い、掲載準備が整い次第、冊子版に先行してオンライン上で随時公開してまいります。

なお、冊子版は従来どおり毎月1回発行致します。

※本会論文誌においては、オンライン版が公開された日を公知日としておりますので御注意下さい。

——平成24年11月号及び12月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

11月号 [英文] \*Signal Design and its Applications in Communications

\*Smart Multimedia & Communication Systems

12月号 [英文] \*Information Theory and Its Applications

\*VLSI Design and CAD Algorithms

(通信ソサイエティ)

11月号 [和文] ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文

11月号 [英文] Satellite Communication Technologies in Conjunction with Main Topics of JC-SAT2011

12月号 [英文] Coding and Coding Theory-Based Signal Processing for Wireless Communications

(エレクトロニクスソサイエティ)

11月号 [和文] 高密度実装を牽引する材料技術とヘテロインテグレーション

11月号 [英文] Electronic Displays

12月号 [和文] マイクロ波論文 (大学発)

(情報・システムソサイエティ)

12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

—Special Section on Recent Progress in  
Nonlinear Theory and Its Applications—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in October, 2013. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of nonlinear theory and its applications.

The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas :

Chaos and Bifurcations	Chaotic Neural Networks
Circuits and Systems	Oscillations
Cellular Neural Networks	Self-Validating Numerics
Synchronization	Learning and Memory
Modeling and Simulations	Coupled Oscillators
Prediction and Identification	Large-Scale Networks
Communications	Image and Signal Processing
Analog and Digital ICs	Chua's Circuits
Neuro Dynamics	Distributed Networks
Control	Evolutionary Computation
Power Systems	Complex Systems
Optimization	Robotics
Fractals	Fuzzy
Optics	Solitons
Biocybernetics	Chemistry
Applied Mathematics	Economics
Physics	Biomedical Data Processing
Biomedical Engineering	Bioinformatics
Complex Networks	Computational Neuroscience
Social Dynamics	

The submitted papers are edited by the Editorial Committee of the Special Section. The deadline of the paper submission is January 10, 2013.

Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below :

- (1) Prepare manuscripts according to the guidelines described in the web page :  
<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>  
The LATEX style file and template file can be downloaded from this page.  
Papers do not usually exceed 30 pages of an A4-sized PDF file.
- (2) Submit manuscripts through the IEICE paper submission system at :  
[https://review.ieice.org/regist\\_common\\_e.aspx?society=NOLTA](https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA)  
Authors should choose "[Special-EN] Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".
- (3) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement"

and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address :  
Hiroo Sekiya  
Graduate School of Advanced Integration Science,  
Chiba University,  
Yayoi-cho 1-33, Inage-ku, Chiba, 263-8522, Japan  
E-mail : [sekiya@faculty.chiba-u.jp](mailto:sekiya@faculty.chiba-u.jp)  
FAX : +81-43-290-3258 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges until 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE : 60,000 JPY  
Otherwise : 65,000 JPY

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" January 10, 2013.

We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript.

For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following site :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership :

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

- Guest Editors :  
Claudio Mirasso (Universitat de les Illes Balears)  
Tohru Ikeguchi (Saitama University)
- Guest Associate Editors :  
Yanne Chembo (FEMTO-ST Institute)  
Ingo Fischer (IFISC, Consejo Superior de Investigaciones Cientificas)  
Daniele Fournier (INSA-DGEL)  
Hisato Fujisaka (Hiroshima City University)  
Jordi Garcia-Ojalvo (Universitat Politècnica de Catalunya)  
Mikio Hasegawa (Tokyo University of Science)  
Masayuki Kimura (Shiga Prefecture University)  
Hiroyuki Kitajima (Kagawa University)  
Kunihiko Mitsubori (Takushoku University)  
Hiroya Nakao (Tokyo Institute of Technology)  
Marco Storace (University of Genova)  
Satoshi Sunada (Kanazawa University)  
Yoshihiko Susuki (Kyoto University)  
Peter Szolgay (Hungarian Academy of Sciences)  
Ljiljana Trajkovic (Simon Fraser University)  
Akio Tsuneda (Kumamoto University)  
Atsushi Uchida (Saitama University)  
Kazuyuki Yoshimura (NTT Communication Science Laboratories)
- Associate Editors of NOLTA, IEICE :  
Shinji Doi (Kyoto University)  
Orla Feely (University College Dublin)  
Yoshihiko Horio (Tokyo Denki University)

Takehiko Horita (Osaka Prefecture University)  
Heinz Koepl (EPFL)  
Keiji Konishi (Osaka Prefecture University)  
Fabio Pareschi (University of Ferrara)  
Isao Tokuda (Ritsumeikan University)  
Hiroyuki Torikai (Osaka University)  
Chi K. Tse (Hong Kong Polytechnic University)  
Chai Wah Wu (IBM T.J. Watson Research Center)  
• Secretaries of the Special Section :  
Hiroo Sekiya (Chiba University)

——スマート通信・マルチメディアシステム  
小特集 (英文論文誌 A) 論文募集——  
スマート通信・マルチメディアシステム  
小特集編集委員会

英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences では、スマート通信・マルチメディアシステム小特集 (Special Section on Smart Multimedia & Communication Systems) を 2013 年 11 月号に掲載します。電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究専門委員会 (委員長 尾上孝雄) は、特にアジア圏における通信システム分野、マルチメディアシステム分野を対象として、2012 年 9 月に 2012 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia (SISA 2012) を開催致しました。本ワークショップで発表された質の高い優秀な論文を中心として、広く多方面から関連の最新研究成果を集積することにより、当該分野の更なる発展に貢献することを目的としています。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので、奮って御投稿下さい。

#### 1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野

スマート無線通信システム/コグニティブ通信システム/知的ソフトウェア無線/マルチメディア無線通信/OFDM システム/CDMA システム/知的通信システム/UWB 通信/知的モバイルシステム/電力線通信/RFID/音声信号処理と符号化/画像信号処理と符号化/画像通信技術/音響信号処理/セキュア信号処理/知的マルチメディア信号処理

#### 2. 論文の執筆と取扱い

原則として、PAPER は刷り上がり 8 ページ以内、LETTER は 2 ページ以内とします。論文スタイルなどの詳細については、Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。本小特集では、論文スタイルから著しく逸脱したものやページ数を超過したものは、そのことを理由に採録しないことがあります。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合、論文別刷りを購入して頂くことになりますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 3. 論文投稿要領

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

- (1) オンライン投稿システム [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) により、2013 年 1 月 21 日 (月) までに御登録・御投稿下さい。その際、“Type of Issue (Section)/Category

of Transactions”の項目で、“[Special-EA] Smart Multimedia & Communication Systems”を選択して下さい。“[Regular-EA] Fundamentals”や他の特集を選択しないように御注意下さい。

- (2) “Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”に必要事項を御記入の上、2013 年 1 月 25 日 (金) までに、下記宛て送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

送付先：吉澤真吾

〒090-8507 北見市公園町 165

北見工業大学工学部電気電子工学科

TEL & FAX [0157] 26-9284

E-mail : yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

#### 4. 小特集編集委員会

委員長 伊藤良生 (鳥取大), 末竹規哲 (山口大)

幹事 吉澤真吾 (北見工大), 笹岡直人 (鳥取大)

委員 浅野 晃 (関西大), 尾上孝雄 (阪大), 田口 亮 (東京都市大), 棟安実治 (関西大), 黒崎正行 (九工大), 川村 新 (阪大), 目黒光彦 (日大), 舟木慶一 (琉球大), 尾知 博 (九工大), 岡田 実 (奈良先端大), 眞田幸俊 (慶大), 田中宏和 (東芝), 波多浩昭 (NTT コミュニケーションズ), 金森康和 (愛知県立大), 筒井 弘 (京大), 木村誠聡 (神奈川工大), 武田茂樹 (茨城大), 黒木祥光 (久留米高専), Kosin Chamnongthai (KMUTT, Thailand)

——光応用電磁界計測技術の最新動向小特集  
(和文論文誌 B) 論文募集——

光応用電磁界計測技術の最新動向小特集編集委員会

光技術を用いた電磁界計測の研究・開発が行われています。これは、光ファイバを用いた信号伝送による高絶縁性や低損失性、電波領域の 100 倍以上の広帯域性、誘電体光学素子の利用による低じょう乱性などの特徴に着目したものです。

また最近では、近接場領域や THz 帯域での電磁界計測にも適用範囲が広がっています。一方で、近年の電波利用の高度化により情報のマルチメディア化、通信や放送のプロードバンド化・ユビキタス化、及び計測の遠隔・自動化などの恩恵を受けていますが、その反面、電子機器の高性能化により不要電磁エネルギーの発生や機器相互間の影響のメカニズムが複雑化し、その解析と抑制を目的に光を用いた電磁界計測技術が期待されております。

以上のような現状を踏まえて、本小特集 (平成 26 年 3 月号) では、最新の光応用電磁界計測の理論や光応用電磁界技術を用いた計測などを軸に様々な視点から論文を募集し、新たな研究成果を発掘することを目的に小特集を企画致しました。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

#### 1. 対象分野

光技術を用いた電磁界計測に関する分野全て

マイクロ波フォトニクス, 光ファイバ応用工学, 光エレクトロニクス, マイクロ波工学, センサ工学, アンテナ計測, 環境電磁計測, 電子回路計測, 電気回路計測, 電力システム監視, THz 帯計測, プラズマ計測, イメージング, レーダ電磁界計測システム, 光計測システム, 環境電磁計測システム, 光源, プローブ・

センサ、遠隔計測システム、光ファイバシステム光信号伝送技術、信号復元技術、走査機械制御技術、画像処理技術など

## 2. 論文の執筆と取扱い

- 通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html) を御参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 主なスケジュール

投稿締切：平成25年6月10日（月）厳守

最終判定予定：平成25年11月中旬

発行月：平成26年3月号

## 4. 投稿方法

### (A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

### (B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

**【注意】** 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

E-mail : wabun-b@ieice.org FAX [03] 3433-6616

## 5. 小特集編集委員会

委員長 陳 強（東北大）

編集幹事 大西輝夫（NTTドコモ）

編集委員 黒川 悟（産総研）、村田博司（阪大）、藤井 隆（電中研）、深沢 徹（三菱電機）、岩波瑞樹（NEC）

## 6. 問合せ先

大西輝夫（株）NTTドコモ 先進技術研究所

〒239-8536 横須賀市光の丘3-6

TEL [046] 840-6230

E-mail : teruo.onishi@m.ieice.org

## ——マイクロ波・ミリ波システムのための

### 最新技術小特集（英文論文誌C）論文募集——

マイクロ波・ミリ波システムのための  
最新技術小特集編集委員会

社会生活におけるICTの普及に伴い日常生活での情報通信機器の活用が不可欠となりつつある一方、より高度なサービスを安心・安全に安定して提供可能とするための技術革新が求められています。これは、スマートフォンの普及に起因する通信容量増

大、スマートグリッドによるエネルギー効率の向上、セキュリティ強化やヘルスケア意識の増進、災害時の迅速な通信インフラの復旧等、多岐にわたる場面での対応において見受けられるものであり、この中において無線通信や電波を活用したシステムを構成する最新の技術やサービスは大きな役割を果たすものです。そこで、無線通信で利用されるマイクロ波帯をより有効に活用するための技術、より高い周波数帯の利用を可能とする技術、電波を活用したセンサやイメージング技術及びエネルギー応用技術などに関連したマイクロ波及びミリ波帯での最新の研究成果を俯瞰しこれらの技術の更なる発展に寄与することを目的として本小特集（平成25年10月号）を企画しました。奮って御投稿下さるようお願い致します。

## 1. 対象分野

以下に示しますマイクロ波及びミリ波帯のトピックスが主な対象分野ですが、これらに限定するものではありません。

- 受動素子、能動素子
- 能動回路（発振器、通倍器、分周器、混合器、増幅器など）
- 受動回路（フィルタ、共振器、ハイブリッド、メタマテリアルなど）
- ミリ波／マイクロ波センサ技術やイメージング技術
- マイクロ波エネルギー応用技術
- アンテナ及びその集積化技術
- 実装技術及びRF用基板技術
- シミュレーション技術
- IC及びRFモジュール評価技術

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりPAPER 8ページ、BRIEF PAPER 4ページ以内（厳守）とします。

詳細はInformation for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

## 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順1：[https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で、[Special-EC] Special Section on Emerging Technologies and Applications for Microwave and Millimeter-wave Systems を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2：著作権譲渡承諾書（Copyright Transfer and Page Charge Agreement）と仮登録確認用紙（Confirmation Sheet of Manuscript Registration）を下記まで電子メール（推奨）あるいはFAX、郵便にて送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成25年2月15日（金）必着

## 5. 問合せ先及び書類送付先

幹事 加屋野博幸

（株）東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286

E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

## 6. 小特集編集委員会

ゲストエディタ：中津川征士（NTT）



幹事：加屋野博幸（東芝）

委員：伊山義忠（熊本高専），ウリントヤ（豊橋技科大），河合正（兵庫県立大），金ミンソク（東工大），柴田幸司（戸工大），關谷尚人（山梨大），中谷俊文（パナソニック），中村宝弘（日立），西川健二郎（鹿児島大），長谷川弘治（室蘭工大），枚田明彦（NTT）

#### 7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

#### 8. 付記

＊論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

＊投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

### ——システム開発論文特集

#### （和文論文誌 D）論文募集——

#### システム開発論文特集編集委員会

情報・システムソサイエティ和文論文誌では、既存技術の組合せであってもイノベーションとして新たな価値を生み出すシステム開発の重要性に焦点を当てるため、「システム開発論文特集」（平成 25 年 10 月号）を企画致しました。言うまでもなく学会活動において要素技術や理論の研究とそれらをベースとしたシステムの開発は、車輪の両輪です。各要素技術はそれらを組み合わせで社会の要請に応える実システムとして具現化してこそ、その真価を発揮します。実システムの構築・運用で蓄積されたノウハウや利用者からのフィードバックは要素技術や理論の研究にとっても貴重な知見となります。本会では、ソフトウェア・ハードウェアを問わず企業・大学・官公庁研究機関において行われたシステム開発に関する成果をまとめた論文を「システム開発論文」と定義し、それが部分的に公知となったシステムに関するものであっても、学術論文として積極的に受け付けています。本特集を通じて、システム開発論文の位置付けを更に多くの会員の皆様に知って頂き、今後システム開発論文の投稿が更に活発化する契機となることを期待しております。是非この機会にシステムの開発に関する考察と技術的実践を取りまとめ、奮って御投稿下さいますようお願い申し上げます。

#### 1. 対象分野

情報・システム技術全般（和文論文誌 D が対象とする全技術分野、ハードウェア・ソフトウェアを問いません。）

#### 2. 論文の執筆と取扱い

・本特集では情報システム技術に関するシステム開発論文を受け付けます。ただし、システム開発論文の内容は幅広く捉えるものとします。査読は情報・システムソサイエティ和文論文誌のシステム開発論文基準に従います。

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。詳細は「投稿のしおり」を御参照下さい。

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)

・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、採録論文数が多い場合は、一般論文として掲載する場合があることを御了

承下さい。

#### 3. 投稿締切日 平成 25 年 1 月 11 日（金）厳守

#### 4. 投稿方法

##### (A) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification Registration completion）が送信されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿（ファイルアップロード）」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

##### (B) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-dl@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「システム開発論文特集」を朱記して下さい。

#### 5. 問合せ先

山田武士 NTT コミュニケーション科学基礎研究所

TEL [0774] 93-5100, FAX [0774] 93-5105

E-mail : yamada.tak@lab.ntt.co.jp

#### 6. 特集編集委員会

委員長：山田武士（NTT）

幹事：峯松信明（東大），山口 修（東芝），和田親宗（九工大）

委員：和文論文誌 D 編集委員

#### 7. 参考文献

以下も投稿の参考として御活用下さい。

「システム開発論文の今後に向けて」電子情報通信学会誌 平成 22 年 12 月号

「システム開発論文特集号を発行して」情報・システムソサイエティ誌第 15 巻第 3 号（平成 22 年 11 月）

## 論文特集論文募集カレンダー

### ◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
情報理論とその応用小特集	・25年2月8日(金) ・英文誌 A 25年12月号	野村 亮：専修大学ネットワーク情報学部 TEL [044] 911-1261, FAX [044] 900-7813 E-mail: nomu@senshu-u.jp	10月号	A分冊 10～12月号 EA分冊 10～12月号
VLSI設計とCADアルゴリズム小特集	・25年3月14日(木) ・英文誌 A 25年12月号	瀬戸謙修：東京都市大学工学部電気電子工学科 TEL [03] 5707-0104 (2801), FAX [03] 5707-1229 E-mail: kseto@tcu.ac.jp	10月号	A分冊 10～12月号 EA分冊 10～12月号
Special Section on Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications	・25年1月10日(木) ・NOLTA 25年10月号	Hiroo Sekiya：Graduate School of Advanced Integration Science, Chiba University FAX [043] 290-3258 E-mail: sekiya@faculty.chiba-u.jp	11月号	
スマート通信・マルチメディアシステム小特集	・25年1月25日(金) ・英文誌 A 25年11月号	吉澤真吾：北見工業大学工学部電気電子工学科 TEL [0157] 26-9284, FAX [0157] 26-9284 E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp	11月号	A分冊 11～1月号 EA分冊 11～1月号

### ◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集	・25年1月7日(月) ・和文誌 B 25年9月号	笹森崇行：秋田県立大学システム科学技術学部 TEL [0184] 27-2103, FAX [0184] 27-2212 E-mail: sasa@akita-pu.ac.jp	8月号	B分冊 8～10月号
持続的な発展を可能とするインターネットアーキテクチャ、プロトコル、管理手法小特集	・24年11月7日(水) ・英文誌 B 25年7月号	秋山豊和：京都産業大学コンピュータ理工学部 TEL [075] 705-1531, FAX [075] 705-1531 E-mail: ia-eb-1307-submit@inl.ics.keio.ac.jp	8月号	B分冊 8～10月号 EB分冊 8～10月号
人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集	・24年11月20日(火) ・和文誌 B 25年8月号	末田欣子：日本電信電話(株)ネットワーク基盤技術研究所 TEL [0422] 59-3036, FAX [0422] 59-6364 E-mail: sueda.yoshiko@lab.ntt.co.jp	9月号	B分冊 9～11月号
ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャ特集	・25年1月31日(木) ・和文誌 B 25年10月号	山井成良：岡山大学情報統括センター TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244 E-mail: yamai@cc.okayama-u.ac.jp	9月号	B分冊 9～11月号
ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術小特集	・25年1月21日(月) ・英文誌 B 25年10月号	広川二郎：東京工業大学大学院電気電子工学専攻 TEL [03] 5734-2567, FAX [03] 5734-2901 E-mail: ap_ac-isap2012ss@mail.ieice.org	10月号	B分冊 10～12月号 EB分冊 10～12月号
光応用電磁界計測技術の最新動向小特集	・25年6月10日(月) ・和文誌 B 26年3月号	大西輝夫：(株)NTT ドコモ先進技術研究所 TEL [046] 840-6230 E-mail: teruo.onishi@m.ieice.org	11月号	B分冊 11～1月号

◎エレクトロニクスサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012) 小特集	・25年1月4日(金) ・英文誌C 25年9月号	久我宣裕：横浜国立大学大学院工学研究院電気電子ネットワークコース TEL [045] 339-4279, FAX [045] 339-1157 E-mail : kuga@ynu.ac.jp	10月号	C分冊 10～12月号 EC分冊 10～12月号
マイクロ波・ミリ波システムのための最新技術小特集	・25年2月15日(金) ・英文誌C 25年10月号	加屋野博幸：(株)東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286 E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp	11月号	C分冊 11～1月号 EC分冊 11～1月号

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ディベンダブルコンピューティング小特集	・24年12月28日(火) ・英文誌D 25年9月号	土肥 正：広島大学大学院工学研究科情報工学専攻 TEL [082] 424-7698, FAX [082] 422-7025 E-mail : dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
並列分散コンピューティングとネットワーク小特集	・24年12月25日(火) ・英文誌D 25年12月号	緑川博子：成蹊大学理工学部情報科学科 TEL [0422] 37-3773, FAX [0422] 37-3871 E-mail : midori@st.seikei.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
画像符号化・映像メディア処理レター特集	・24年12月14日(金) ・和文誌D 25年9月号	井口和久：NHK放送技術研究所 TEL [03] 5494-3352, FAX [03] 5494-3197 E-mail : ie-letter@mail.ieice.org	10月号	D分冊 10～12月号
ソフトウェア基礎・応用特集	・25年2月7日(木) ・和文誌D 25年11月号	岡野浩三：大阪大学大学院情報科学研究科 E-mail : okano@ist.osaka-u.ac.jp	10月号	D分冊 10～12月号
ソフトウェアエージェントとその応用特集	・25年2月10日(日) ・和文誌D 25年12月号	栗原 聡：大阪大学産業科学研究所 TEL [06] 6879-8427, FAX [06] 6879-8428 E-mail : kurihara@sanken.osaka-u.ac.jp	10月号	D分冊 10～12月号
システム開発論文特集	・25年1月11日(金) ・和文誌D 25年10月号	山田武士：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 TEL [0774] 93-5100, FAX [0774] 93-5105 E-mail : yamada.tak@lab.ntt.co.jp	11月号	D分冊 11～1月号



# 通信ソサイエティマガジン B-plus 年間購読申込用紙 (21号~24号)

今後の特集号予定 21号(2012年6月): デジタルメディアと電子書籍  
22号(2012年9月): ホームICTの新たな展開  
23号(2012年12月): 今時のアマチュア無線  
24号(2013年3月): 標準化で世界を歩く!  
※特集号名は変更される場合があります。

## 申込及び支払方法

通信ソサイエティマガジンでは、年間購読を受け付けております。年間購読を御希望の方は、本用紙に必要な事項を記入の上、下記までファクシミリ若しくは電子メールの添付ファイル(PDF)にて学会事務局まで御送付下さい。請求書同封で冊子をお送り致します。お支払いは同封の請求書にてお願い致します。

通信ソサイエティマガジンの年間購読(4冊/年): 3,600円

申込者氏名	
見積書日付 年 月 日	請求書日付 年 月 日
納品書日付 年 月 日	
請求書宛名	
送付先 〒  (部課名, 研究室名まで御記入下さい)	
電話番号	電子メール
事務局への通信欄	

※購読を開始されましたら、文書による中止届出がない限り、次年度以降も自動的に継続されますので御注意下さい。

## 申込書送付先/連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
(社)電子情報通信学会 編集出版部 通信ソサイエティマガジン担当

# FAX: 03-3433-6616

電話: 03-3433-6692 E-mail: b-plus@ieice.org